

白馬村観光地経営計画 基礎調査編

(白馬村の現状を把握し課題を整理します。)

第5章 白馬村における観光地経営の資源と経営状況

本章では、白馬村観光を検討する上で必要となる現況の把握を行う。具体的には、まず第1節で、「観光地経営」という視点から、従来の観光振興計画で行われる地域資源や観光資源・観光施設に加えて、観光関連人材や観光関連財源等も経営資源として捉え、現状の把握、整理を行う（資源の捉え方の拡張）。また、白馬村全体としての経営状況を、地域経営に関するデータの取得状況、経営活動を行う上でのルールを整理した上で、観光客の実態（観光客数、旅行形態等）、観光産業・地域経済の実態、観光客・住民の意識、評価を把握、整理する。

なお、本内容は、各主体において把握済みのことも含まれているが、改めて白馬村村民全員で情報を共有し、現状を理解することを目的に整理を行う。

第1節 白馬村の観光地経営資源の現状

ここでは、白馬村観光の舞台であり、経営対象となる資源の現状を、基礎的な情報も含めて次の6項目から把握する。

表5-1 白馬村の観光地経営対象となる資源

1. 白馬村の人口、産業、立地・アクセス
2. 白馬村の資源、環境の基層
3. 白馬村の観光資源、観光施設、空間・景観、イベント・体験
4. 白馬村による観光情報、観光案内
5. 白馬村の観光関連組織、活動企業、人材
6. 白馬村における観光関連財源

1. 白馬村の人口、産業、立地・アクセス

白馬村において地域として観光振興に取り組む背景や基本的な村の概況等を、文献資料等をもとに整理する。

(1) 人口及び世帯数

国勢調査によると、白馬村では、昭和60年には7,919人、平成2年には8,356人と増加を続け、平成12年には9,000人を越える。しかし、平成17年の9,500人をピークに人口が減少に転じ、平成22年には9,205人となる。

性別で見ると、昭和45年以降、男女比に大きな変化は見られない。

世帯数は、平成17年の3,542世帯をピークに減少。平成12年から平成17年の増加数より平成17年から平成22年の減少数のほうが大きい。

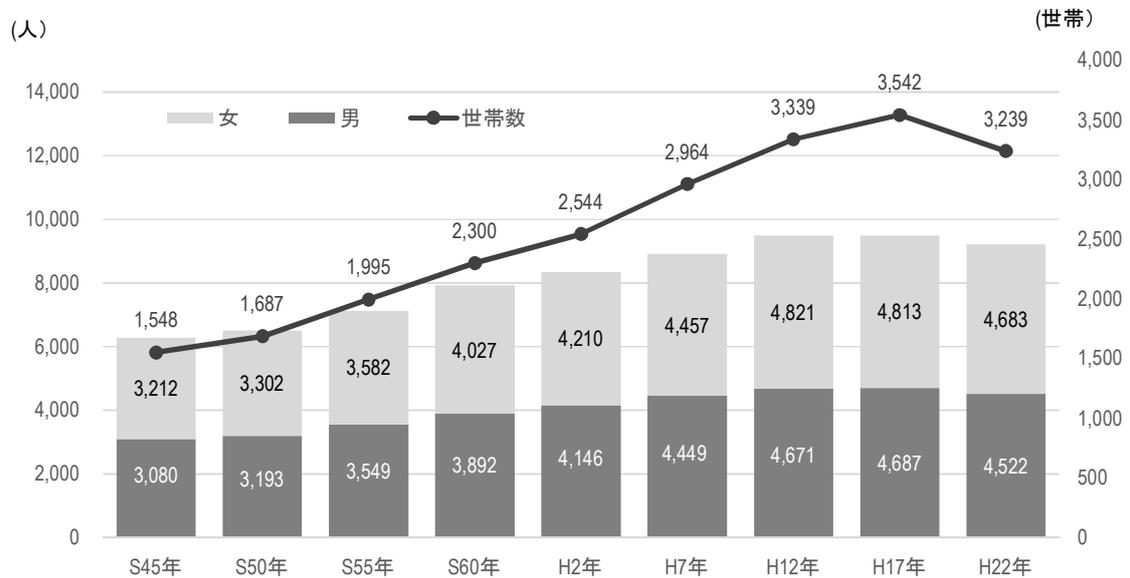


図5-1 白馬村人口及び世帯数の推移

出所：国勢調査

表5-2 白馬村人口及び世帯数の推移

年	総人口 (増減率)	男 (構成比) (増減率)	女 (構成比) (増減率)	世帯数 (増減率)
S45年	6,292 1.00	3,080 49.0% 1.00	3,212 51.0% 1.00	1,548 1.00
S50年	6,495 1.03	3,193 49.2% 1.04	3,302 50.8% 1.03	1,687 1.09
S55年	7,131 1.13	3,549 49.8% 1.15	3,582 50.2% 1.12	1,995 1.29
S60年	7,919 1.26	3,892 49.1% 1.26	4,027 50.9% 1.25	2,300 1.49
H2年	8,356 1.33	4,146 49.6% 1.35	4,210 50.4% 1.31	2,544 1.64
H7年	8,906 1.42	4,449 50.0% 1.44	4,457 50.0% 1.39	2,964 1.91
H12年	9,492 1.51	4,671 49.2% 1.52	4,821 50.8% 1.50	3,339 2.16
H17年	9,500 1.51	4,687 49.3% 1.52	4,813 50.7% 1.50	3,542 2.29
H22年	9,205 1.46	4,522 49.1% 1.47	4,683 50.9% 1.46	3,239 2.09

出所：国勢調査

(2) 産業別就業者数

国勢調査によると、白馬村の産業別就業者数は、昭和50年に4,000人を下回ることもあったが、その後、増加が続き、平成12年に5,397人となりピークを迎える。その後、就業人口は減少傾向にある。

産業別就業者数の割合は、昭和45年までは、第一次産業の割合が最も高かったものの、昭和50年に第一次産業と第三次産業の割合が逆転。その後、第三次産業就業数は増加し続け、平成7年にはその割合は70%を越えた。

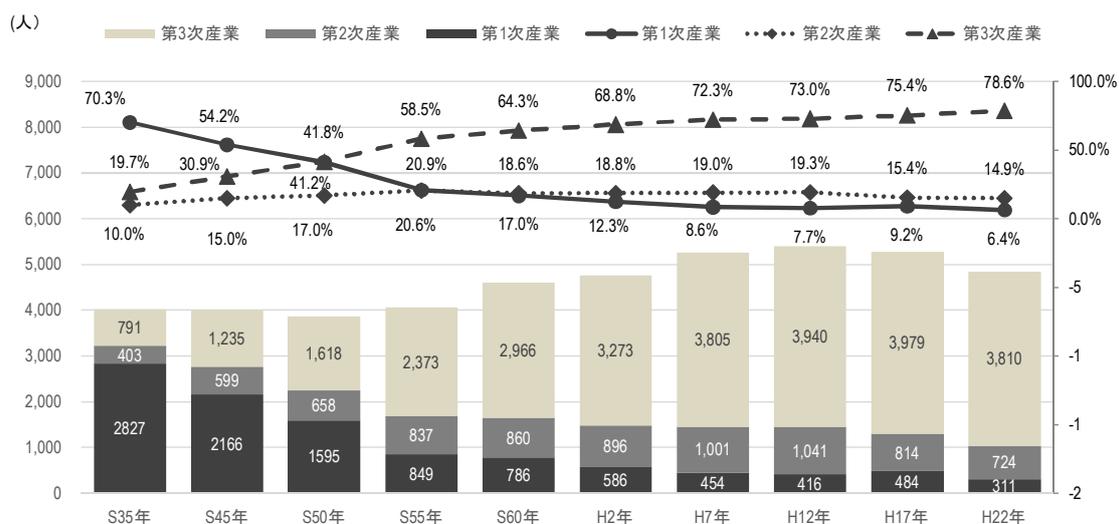


図5-2 白馬村の産業別就業者数の推移

出所：国勢調査

(注) 第一次、第二次、第三次に該当しない「その他」は、ここでは除いて整理している。下記も同様。

表5-3 白馬村の産業別就業者数の推移

年	全就業者数	(増減率)	第1次産業	(構成比)	(増減率)	第2次産業	(構成比)	(増減率)	第3次産業	(構成比)	(増減率)
S35年	4,021	1.00	2,827	70.3%	1.00	403	10.0%	1.00	791	19.7%	1.00
S45年	4,000	0.99	2,166	54.2%	0.77	599	15.0%	1.49	1,235	30.9%	1.56
S50年	3,871	0.96	1,595	41.2%	0.56	658	17.0%	1.63	1,618	41.8%	2.05
S55年	4,059	1.01	849	20.9%	0.30	837	20.6%	2.08	2,373	58.5%	3.00
S60年	4,612	1.15	786	17.0%	0.28	860	18.6%	2.13	2,966	64.3%	3.75
H2年	4,755	1.18	586	12.3%	0.21	896	18.8%	2.22	3,273	68.8%	4.14
H7年	5,260	1.31	454	8.6%	0.16	1,001	19.0%	2.48	3,805	72.3%	4.81
H12年	5,397	1.34	416	7.7%	0.15	1,041	19.3%	2.58	3,940	73.0%	4.98
H17年	5,277	1.31	484	9.2%	0.17	814	15.4%	2.02	3,979	75.4%	5.03
H22年	4,845	1.20	311	6.4%	0.11	724	14.9%	1.80	3,810	78.6%	4.82

出所：国勢調査

(3) 立地・交通アクセス

1) 立地

白馬村は、長野県の北西部に位置し、南は佐野坂峠の分水嶺で大町市と、西は北アルプス白馬連峰で富山県に接し、北は小谷村、東は大町市美麻、長野市鬼無里に隣接している。

2) 交通アクセス

●白馬村までの交通アクセス

白馬村までの交通アクセスは、公共交通機関を利用する場合、電車とバスがある。

鉄道を利用する場合、東京からは、北陸新幹線を利用すると直通で約1時間40分で来訪可能である。JR中央本線を利用すると、新宿駅から白馬駅直通で4時間かかる。名古屋からは、JR中央本線を利用すると、3時間半で来訪することが可能である。

道路を利用する場合、東京からは、関越自動車道練馬ICから上信越自動車道を通って長野ICまで約2時間20分。そこからオリンピック道路（県道33号）を經由して更に約1時間で白馬村内の各種観光施設に来訪可能である。中央自動車道八王子ICからは長野自動車道を通って安曇野ICまで2時間25分。そこから北アルプスパノラマロードを経て約1時間で白馬村内の各種観光施設に来訪することが可能である。名古屋からは、中央自動車道小牧ICから安曇野ICまで約2時間半かかる。

バスを利用する場合、長野駅からは約1時間、新宿からは約4時間かかる。

●白馬村内での交通アクセス

白馬駅からの観光地への交通アクセスは、バスやタクシー、徒歩等がある。冬季には、シャトルバスがスキー場間を走っている。



写真 5 - 1 白馬連峰

2. 白馬村の資源、環境の基層

ここでは、白馬村の経営資源を生み出した資源や環境の基層を整理する。

(1) 山岳

中部山岳国立公園は昭和 9 年 12 月に国立公園に指定された我が国を代表する山岳国立公園である。村の西側には標高 2,900m 前後の山々が連なる後立山連峰、東側には 1,500m 前後の小谷山地が位置している。西側は、白馬三山といわれる白馬岳(標高 2,932m)、杓子岳(標高 2,812m)、白馬鑓ヶ岳(標高 2,903m)をはじめ、唐松岳(標高 2,696m)、五竜岳(標高 2,814m)があり、白馬村の最高峰は白馬岳の 2,932m である。

(2) 地形（盆地）、土地利用

北アルプス白馬連峰を背にして標高約 700mの高地に位置する盆地で、周囲 65.5km、南北 16.8km、東西 15.7km。面積約 189 k m²の 6 割強が山岳地帯、河川等を占める。

中央部をフォッサマグナが走っており、この大断層地帯に白馬連峰から流れ出す河川によって扇状地が形成されている。村の南部から北部へ曲折しながら流れる姫川は、白馬村の南端佐野坂に源を発し、東西山地より流れる支流谷地川・平川・松川・楠川などと合流し、遠く日本海へ及んでいる。

西側山岳部は、北アルプス後立山連峰の北の代表格である白馬連峰が急峻な山岳美を見せながらそびえ立ち、良好な地形を利用して登山・ハイキング・スキー場等観光資源となっている。

一方、東側山地は第三紀層で、やわらかな砂岩・凝灰岩などで構成されており、一部観光開発が進んでいるが、豊かな造林地帯となっている。県境の山岳地帯を含め村全体の 90%が森林・原野で、耕地は村の中心部にわずかに 6%程度となっている

表 5-4 地目別面積

H25.1.1 現在 (単位 m²)

総数	田	畑	宅地	山林	原野	沼地	雑種地	その他
189,370,000	7,754,348	2,274,945	4,486,701	24,855,795	28,298,532	59	2,307,062	119,392,558
100.0%	4.1%	1.2%	2.4%	13.1%	14.9%	0.0%	1.2%	63.0%

資料 税務課 (その他には、山岳地帯河川を含む)

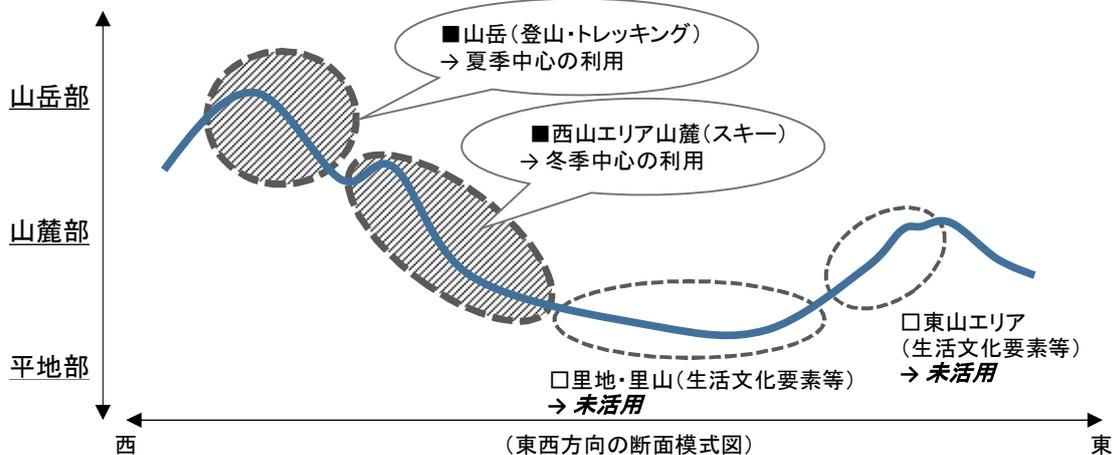


図 5-4 白馬村の断面イメージ

(3) 気候、積雪

白馬村の月別平均気温は、平成 24 年を見ると、1月のマイナス 3.6 度が最も低く、8月の 23.8 度が最も高い。盆地状をなしている地形から、夏は日中の気温は都会と変わらないものの、夜間は涼しく過ごしやすい気候となっている。

月別の最深積雪量を見ると、平成 15 年以降では、平成 17 年 2 月の 153 が最も深く、平成 21 年の 24 が最も浅い。

表 5-5 月別平均気温

年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
H15	-3.7	-2.5	-0.2	8.0	14.5	18.0	19.4	21.6	18.5	10.3	7.8	0.0
H16	-3.3	-1.5	-1.0	8.8	14.5	18.3	22.6	21.7	19.2	11.7	7.5	1.3
H17	-3.1	-2.7	-0.2	7.8	12.3	19.1	21.0	22.5	19.4	12.9	5.0	-3.4
H18	-4.4	-2.1	0.6	5.6	13.2	17.9	20.1	23.5	17.6	12.7	5.9	0.5
H19	-1.8	-0.4	1.3	6.7	13.5	17.8	19.9	23.1	20.1	11.5	4.8	0.5
H20	-3.0	-4.2	2.2	8.5	13.8	17.0	22.5	21.9	18.1	12.0	5.0	1.2
H21	-2.2	-0.6	1.5	8.2	14.2	17.9	20.6	21.6	17.3	11.4	5.9	0.4
H22	-2.8	-1.1	1.3	5.8	12.8	18.4	22.3	24.4	19.2	12.9	4.9	0.8
H23	-4.4	-2.2	-0.7	6.0	13.3	18.3	22.5	22.4	18.6	11.4	7.1	-0.6
H24	-3.6	-3.4	0.7	7.1	12.9	17.5	21.8	23.8	20.1	11.7	4.0	-1.7

出所：「白馬村村勢要覧統計資料 2013」（白馬村）

表 5-6 月別最深積雪

(cm)

年 月	前年		その年			
	11月	12月	1月	2月	3月	4月
H15	32	42	102	80	103	1
H16	0	79	103	108	73	5
H17	0	35	133	153	109	48
H18	1	142	147	127	74	8
H19	0	22	42	30	8	0
H20	1	103	102	107	121	0
H21	28	24	50	31	25	1
H22	0	76	89	103	49	9
H23	0	37	97	84	44	0
H24	0	30	64	77	43	7
H25	8	54	82	114	84	1

出所：「白馬村村勢要覧統計資料 2013」（白馬村）



写真 5-2 白馬村盆地

3. 地域資源、観光施設、空間・景観、イベント・体験、商品・サービス

ここでは、白馬村が観光地として活動するために必要となる観光資源、観光施設、空間・イベント・体験について整理する。

(1) 地域資源

白馬村には、国指定の重要文化財・天然記念物は3件、県指定の重要文化財・天然記念物が3件ある（高山植物等の自然資源、神社本殿等の文化資源、指定地区も存在）。白馬村指定の文化財は、32件。地区別で見ると嶺方が5件と最も多い。

表5-7 国・県 重要文化財・天然記念物

指定種別	指定区分	名称	指定・選定年月日	場所
重要文化財・天然記念物等	国	神明社本殿 諏訪社本殿	S24.5.30	三日市場
特別天然記念物	〃	白馬連山高山植物帯	S27.3.29	白馬連峰一帯
重要伝統的建造物群保存地区	〃	青鬼地区	H12.12.4	青鬼
天然記念物	県	八方尾根高山植物帯	S39.8.20	八方尾根一帯
重要文化財・天然記念物等	〃	銅製御正体2面	S52.3.31	三日市場
重要埋蔵文化財	〃	船山遺跡	S53.6.16	蕨平

出所：「白馬村村勢要覧統計資料2013」（白馬村）

表 5 - 8 白馬村指定文化財

指定種別	指定年月日	名称	場所
天然記念物	S49. 10. 1	ヒメギフチョウ／ギフチョウ	種指定
天然記念物	S49. 10. 1	ハッチョウトンボ／キイトンボ	種指定
天然記念物	S49. 10. 1	長谷寺の老杉群	飯森
天然記念物	S49. 10. 1	細野諏訪神社の大杉	八方
天然記念物	S49. 10. 1	貞麟寺の枝垂れ桜（エドヒガンザクラ）	沢渡
天然記念物	S52. 3. 1	八方薬師堂のエドヒガンザクラ	八方
天然記念物	S52. 3. 1	深沢十郎様のオオヤマザクラ・カスミザクラ	深空
天然記念物	S52. 10. 4	嶺方堀田のオオヤマザクラ	嶺方
天然記念物	S55. 2. 1	嶺方のクリ及びイチイ	嶺方
天然記念物	S55. 2. 1	嶺方諏訪神社老杉群	嶺方
天然記念物	S55. 12. 1	親海湿原・姫川源流植物帯	佐野
天然記念物	S60. 1. 24	クロサンショウウオ生息地	佐野・沢渡
天然記念物	H 1. 11. 24	ハクバサンショウウオ	種指定
天然記念物	H11. 12. 24	八方尾根 鎌池湿原	八方
民俗資料（村宝）	S55. 2. 1	野平観音堂の庚申塔	野平
民俗資料	S52. 6. 1	佐野坂西国三十三番観音石像	佐野
民俗資料	S52. 6. 1	観音原 西国・坂東・秩父百番観音石像	新田
民俗資料	S60. 1. 24	熊突き槍／カモシカ皮製沓／馬の尻毛製狐師 帽子	
有形文化財（村宝）	S55. 2. 1	日光寺鰐口（至徳 3 年銘）	切久保
有形文化財（村宝）	S55. 2. 1	切久保庚申塔	切久保
有形文化財（村宝）	S60. 1. 24	小丸山遺跡出土遺物一括	白馬村民族資料館
有形文化財（村宝）	S60. 1. 24	鉄製鰐口（長禄 4 年銘）	沢渡
有形文化財	H13. 12. 20	神明社 絵馬	三日市場
有形文化財	H13. 12. 20	神明社 禁制札	三日市場
有形文化財	H13. 12. 20	嶺方諏訪社 絵馬	嶺方
有形文化財	H13. 12. 20	嶺方諏訪社 本殿	嶺方
有形文化財	H13. 12. 20	切久保諏訪社 本殿	切久保
有形文化財	H13. 12. 20	長谷寺 伽藍（本堂・庫裏・山門）	飯森
無形文化財	S60. 1. 24	青鬼神社祭典 火鑽り（揉み）の神事	青鬼
史跡	S60. 1. 24	神城古墳群	
史跡	S60. 1. 24	「大宮山城跡」	三日市場
名勝	H13. 12. 20	長谷寺 庭園	飯森

出所：「白馬村村勢要覧統計資料 2 0 1 3」（白馬村）

表 5 - 9 場所別の指定数の整理

指定数	5 つ	3 つ	2 つ	1 つ
国・県 重要文化財・天然 記念物			三日市場	青鬼 （白馬連峰一体） （八歩尾根一体）
村指定文化財	嶺方	切久保／三日市場 ／飯森／八方／沢 渡／佐野		深空／野平／新田 ／青鬼

出所：「白馬村村勢要覧統計資料 2 0 1 3」（白馬村）

(2) 観光施設

1) スキー施設、スポーツ施設

西側山岳部は、北アルプス後立山連峰の北の代表格である白馬連峰が急峻な山岳美を見せながらそびえ立ち、そこから延びる八方尾根、遠見尾根を代表とする山麓には、良好な地形を利用して日本を代表するロングコースのスキー場がつけられている。



写真5-3 白馬ジャンプ競技場

表5-10 策動施設の概要

名称	白馬さのさか スキー場	白馬五竜 スキー場	HAKUBA47	白馬八方尾根 スキー場	白馬岩岳スノー フィールド	白馬みねかた スキー場
所在地	〒399-9211 長野県北安曇郡白馬村神 城 458	〒399-9211 長野県北安曇郡白馬村神 城	〒399-9211 長野県北安曇郡白馬村神 城 24196-47	〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村八 方	〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村北 城 12056	〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村大 字北城嶺方 23713
開発/運営主体	株式会社白馬さのさか	(株) 五竜	(株) 白馬フォーティセブ ン	八方尾根開発(株) / 日本スキー場開発(株)	日本スキー場開発(株)	—
リフト・ ゴンドラ本数	リフト 5 本	リフト 12 本・ ゴンドラ 1 本	リフト 5 本・ ゴンドラ 1 本	リフト 22 本・ ゴンドラ 1 本	リフト 13 本・ ゴンドラ 1 本	リフト 2 本
ゲレンデ高低差	460m	926m	794m	1,071m	539m	210m
最長滑走距離	2,100m	5,000m	6,400m	8,000m	3,800m	2,000m
スポーツ・レク レーション 施設		白馬五竜高山植物園	B B Q、釣り堀、キャンプ 場、ロッククライミング、 マウンテンバイク、ドッグ ラン、あじさいの小径 等	トレッキング		
商業施設	レストラン	レストラン	レストラン	レストラン、温泉	レストラン、温泉	
営業時間	8:00 (平日 8:30) ~16:30	とおみ 8:00~16:50/アル プス平 8:30~16:15/テレ キャビン 8:15~16:00/い いもり 8:00~16:40/早朝 (営業日はスキー場 HP を 参照下さい) 6:30~	8:00~16:10	8:00~17:00	8:00~17:00	8:30~17:00
ナイター営業	なし	18:00~21:30 (営業日は スキー場 HP を参照)	なし	17:00~21:00 (営業日はス キー場 HP を参照)	なし	なし
標高	(最上部) 1,200m(最下部) 740m	(最上部) 1,676m(最下部) 750m	(最上部) 1,614m(最下部) 820m	(最上部) 1,831m(最下部) 760m	(最上部) 1,289m(最下部) 750m	(最上部) 1,050m(最下部) 840m
最大斜度	33 度	33 度	32 度	35 度	35 度	35 度
コース数	15 コース	15 コース	8 コース	13 コース	23 コース	7 コース
コースレベル	初級 40%/中級 40%/上級 20%	初級 35%/中級 40%/上級 25%	初級 30%/中級 40%/上級 30%	初級 30%/中級 50%/上級 20%	初級 30%/中級 50%/上級 20%	初級 30%/中級 60%/上級 10%
スノーパーク	あり	あり	あり	あり	あり	なし
キッズゲレンデ	あり	あり (とおみ・いいもり)	あり	あり	なし	なし
託児施設	なし (無料キッズブレイル ームあり (要保護者同伴))	キッズルーム (いいもり・ 有料・要予約) キッズレス トルーム (とおみ・要予約) (他に無料キッズホール あり (とおみ))	キッズルーム (有料・要予 約) (他に無料キッズスペ ースあり)	八方キッズクラブ (有料・ 要予約)	岩岳キッズルーム (有料・ 要予約)	なし

出所：各策動施設所有企業のホームページ等をもとに整理

白馬村には、公的なスポーツ施設から民間の所有の体育館等まで様々な施設がある。サッカー場や弓道場を備え、合宿誘致等を行う宿泊施設も存在する。

また、長野オリンピック開催に伴い建設された施設が複数存在している。オリンピック開催後も施設維持更新がなされ、現在もなお国際的に通用する施設であるが、未利用時の活用の仕方が課題となっている。

冬期オリンピックは、これまで22回世界で開催されており、そのうちアジアで開催されたのは、1972年の札幌と1998年に開催された長野（白馬も含まれる）のみである。2018年、2022年とアジアでの開催が予定されているものの、オリンピック開催地というネームバリューは簡単に得難いものであり、白馬村においてはその戦略的な活用が求められる。

表5-11 冬期オリンピック開催地

回	開催年	開催都市	開催国	地域	注記
1	1924	シャモニー・モンブラン	フランス	欧州	
2	1928	サン・モリッツ	スイス	欧州	
3	1932	レークプラシッド	アメリカ	北米	
4	1936	ガルミッシュ・パルテンキルヘン	ドイツ	欧州	
—	1940	札幌	日本	アジア	第二次大戦で中止
—	1944	コルチナ・ダンペッツォ	イタリア	欧州	第二次大戦で中止
5	1948	サン・モリッツ	スイス	欧州	
6	1952	オスロ	ノルウェー	欧州	
7	1956	コルチナ・ダンペッツォ	イタリア	欧州	
8	1960	スコーパーレー	アメリカ	北米	
9	1964	インスブルック	オーストリア	欧州	
10	1968	グルノーブル	フランス	欧州	
11	1972	札幌	日本	アジア	
12	1976	インスブルック	オーストリア	欧州	
13	1980	レークプラシッド	アメリカ	北米	
14	1984	サラエボ	ユーゴスラビア	欧州	
15	1988	カルガリー	カナダ	北米	
16	1992	アルベールビル	フランス	欧州	
17	1994	リレハンメル	ノルウェー	欧州	
18	1998	長野	日本	アジア	
19	2002	ソルトレークシティ	アメリカ	北米	
20	2006	トリノ	イタリア	欧州	
21	2010	バンクーバー	カナダ	北米	
22	2014	ソチ	ロシア	欧州	
23	2018	ピョンチャン	韓国	アジア	
24	2022	北京	中国	アジア	

2) 文化・芸術施設

白馬村には、スキーを地域の文化として伝える「白馬・山とスキーの総合資料館」や「白馬オリンピック記念館」が存在する。これらは、競技施設に加えて、白馬村のスキーの聖地としての存立意義を歴史的にも明示する希少な資源である。

また、個々の民間施設（宿泊施設等）においても、地域の歴史を伝えるものとして、スキー関連の道具などが展示されている。拠点施設となる個々の施設を連携活用させることが期待される。

また、美術館やクラフト・工房も立地しており、スポーツ以外の楽しみ方も可能である。



写真 5-4 白馬・山とスキーの総合資料館



写真 5-5 民間施設における展示

3) 温泉施設

白馬村内には、エリアごとに5つの温泉地と11の施設がある。平成26年12月には新規に白馬八方温泉「八方の湯」がオープンした。また、「白馬」を冠する温泉施設は、白馬連峰を望む周辺自治体にも存在しており、村内に留まらない。

表 5-12 白馬村内にある温泉

温泉地名	名称	泉質	施設形態
白馬八方温泉	おびなたの湯	高アルカリ温泉・無色透明	日帰り施設
	八方の湯		日帰り施設
	郷の湯		日帰り施設
	みみずくの湯		日帰り施設
	北尾根の湯		日帰り施設
岩岳の湯	岩岳の湯	アルカリ性単純泉	日帰り施設
白馬塩の道温泉	倉下の湯	ナトリウム・塩化物・炭酸水素塩温泉	単独施設
白馬かたくり温泉	十郎の湯	単純温泉（弱アルカリ性低帳性温泉）	単独施設
白馬みずばしょう温泉	古民家の湯		宿泊施設内
白馬姫川温泉	天神の湯	ナトリウム泉・塩化物温泉	宿泊施設内
	竜神の湯		宿泊施設内

出所：（一社）白馬村観光局、白馬観光開発（株）、各施設のHPから作成



写真 5-6 白馬村内の温泉施設（十郎の湯）



写真 5-7 白馬村内の温泉施設（北尾根の湯）

4) 山小屋

白馬村及び白馬村周辺には、行政所有の山小屋と民間所有の山小屋の二つがある。行政の山小屋は民間企業に指定管理を委託し、運営を行っている。

表 5-13 白馬村の山小屋

山荘	所有	収容人数	標高
唐松岳頂上山荘	民間	350	2,620m
白馬山荘	民間	800	2,832m
五竜山荘	民間	300	2,490m
白馬譚温泉小屋	民間	150	2,100m
白馬尻小屋	民間	200	2,100m
白馬岳頂上宿舎	村	416	2,730m
猿倉荘	村	89	1,250m
天狗山荘	村	88	2,730m
八方池山荘	村	70	1,850m

出所：白馬村山小屋条例及び（一社）白馬村観光局HP

(3) 飲食施設

白馬村内には、和食から洋食まで様々な食が提供されており、白馬村及び信州の産物を活かす地産地消を意識した施設等が所在している。

施設の中には、季節営業のみの施設も存在し、時期によっては飲食施設が限定されることもある。冬期においては、外国人旅行者の増加に伴い、飲食施設が不足し、夕食難民が発生していること等が問題としてあげられる。外国人旅行者は、宿泊のみの予約であったり、長期間にわたって滞在することから施設を出て外で食事をするなど、日本人とは異なる過ごし方をする事から先の問題が発生している。

一方で、そうした外国人旅行者の過ごし方に対応するために、他の宿泊施設のお客に対して自施設の飲食を提供する等の新たな動きも起こっている。

その他、近年においては、歴史的な古民家を活かした庄屋建築の指定管理が新規事業者となり、施設の内装や食事の質及び食事の提供形態等において新たなサービス形態がされるなどの動きも一部で見られる。

しかしながら、国際的に有名となったものの、村内でゆっくりと休んで過ごす雰囲気を作れなかったという意見もある。この話は、飲食店に限定されない。

施設側においては、冬季は降雪のため、地域食材の確保、保管が難しい状況にある。個別の施設では解決できない課題等も発生している。



写真5-8 道の駅 白馬



写真5-9 庄屋丸八

飲食施設の軒数、座席数は、図5-5の通りである。八方地区に集中しているが、ゲレンデを除くと、軒数は減らないが座席数は3分の1程度となる。

飲食施設に限らないが、お客としての外国人旅行者だけではなく、外国資本または外国人経営者の施設も一定程度確認される。

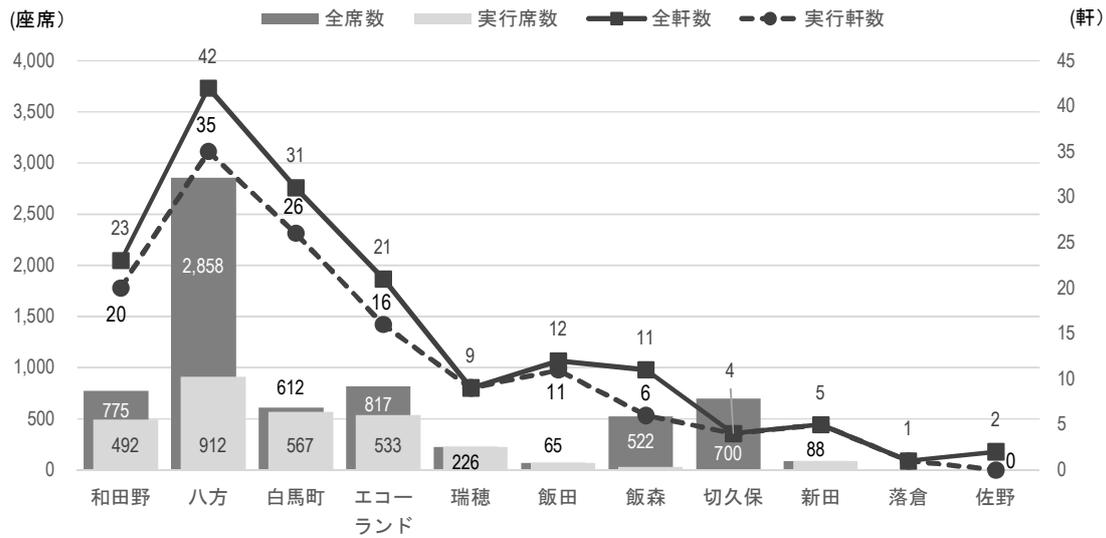


図5-5 白马村の飲食施設の収容力

出所：次の資料をもとに作成。季刊白馬（2014Summer）、北アルプス白馬山麓（2014 春-秋）、季刊白馬（2014-2015Winter）、HAKUBA GORYU/47（2014-2015Winter）パンフレット、タウンページ、白馬さのさかパンフレット、白馬岩岳スノーフィールドパンフレット、HAKUBA CONNECT(Winter 2013-2014 ISSUE7)、HAKUBA ESSENTIAL GUIDE、HAPPY！HAPPO！（2014-2015HAKUBA HAPPO-ONE WINTER RESORT GUIDE）、各施設のホームページ等
 (注)座席数のカウントの仕方により、増減する可能性あり。

表5-14 白马村の飲食施設の収容力

エリア	和田野	八方	白馬町	エコランド	瑞穂	飯田	飯森	切久保	新田	落倉	佐野	合計	備考
全軒数	23	42	31	21	9	12	11	4	5	1	2	161	(ゲレンデ内含む)
全席数	775	2858	612	817	226	65	522	700	88			6575	
平均座席数	34	68	20	39	25	5	47	175				41	
実行軒数	20	35	26	16	9	11	6	4	5	1	0	133	(ゲレンデ内除く)
実行席数	492	912	567	533	226	65	32	0	88		0	2915	
平均実行座席数	25	26	22	33	25	6	5		18			22	

出所：図5-5と同様。
 (注)座席数のカウントの仕方により、増減する可能性あり。

コラム 外国資本または外国人が経営の施設数

白马村には、多くの外国人旅行者が訪れている状況にあるとともに、外国の法人または外国人経営者の施設が増加している。

表 国の法人または外国人経営者の許可数 (平成25年12月24日現在)

営業許形態	許可数 (全数)	うち外国の法人または外国人経営者	
		単独	兼業
旅館	834	81	35
食品	1,173	59	

出所：白马村調べ

(4) 物販施設

1) 施設

白馬村内に多くの物販施設が立地する中で、道の駅白馬は、飲食、物販、案内等も行う交通拠点施設としての位置づけにある。村内には、大型観光バスが立ち寄るような単独のお土産物施設は存在しない。

近年の物販施設の特徴的な動きとして、登山用品・アウトドア用品を扱うショップ（パタゴニア、好日山荘、ザ・ノース・フェイス）の出店があげられる。白馬という地域が有するブランド力、イメージが何かしら評価されたことによる動きと捉えられる。



写真5-10 パタゴニア店舗
(平成25年12月開業)



写真5-11 好日山荘店舗
(平成27年7月開業)



写真5-12 ザ・ノース・フェイス店舗
(平成27年7月開業)

2) 特産品・料理等

白馬村の特産品としては、標高700mで栽培されて作られる蕎麦（「はくば蕎麦」）から白馬村の青鬼地区で栽培されている紫米、それを加工した紫米うどんなどがある。その他、清流を生かした地酒や「はくば豚」などがある。そばについては、白馬産のそば粉を使用した新名物として「白馬ガレット」に地域として取り組んでいる。



写真5-13 紫米を活用した特産品

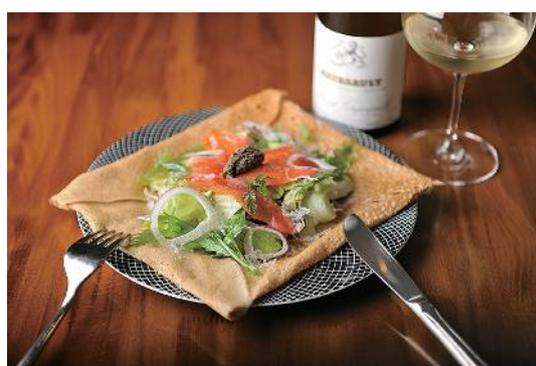


写真5-14 白馬ガレット

(5) 宿泊施設

白馬村における宿泊業は、登山者を案内人の家に宿泊させたことから始まる。昭和12年に、細野の山案内人をしていた家16戸が警察から許可を受けて民宿として営業を始めたことから「日本の民宿の発祥地」とも呼ばれる。

既存の資料上では、昭和26年より白馬村の宿泊施設の軒数、収容人員が把握されている。昭和50年までは、宿泊施設の軒数、収容人員ともに増加傾向にあったが、昭和50年以降は、横ばいの状況にある。

これらの宿泊施設は、「旅館」「民宿」「ペンション」「ロッジ・ヒュッテ」「ホテル」「貸別荘」「その他」の7つ形態に区分され把握されている。

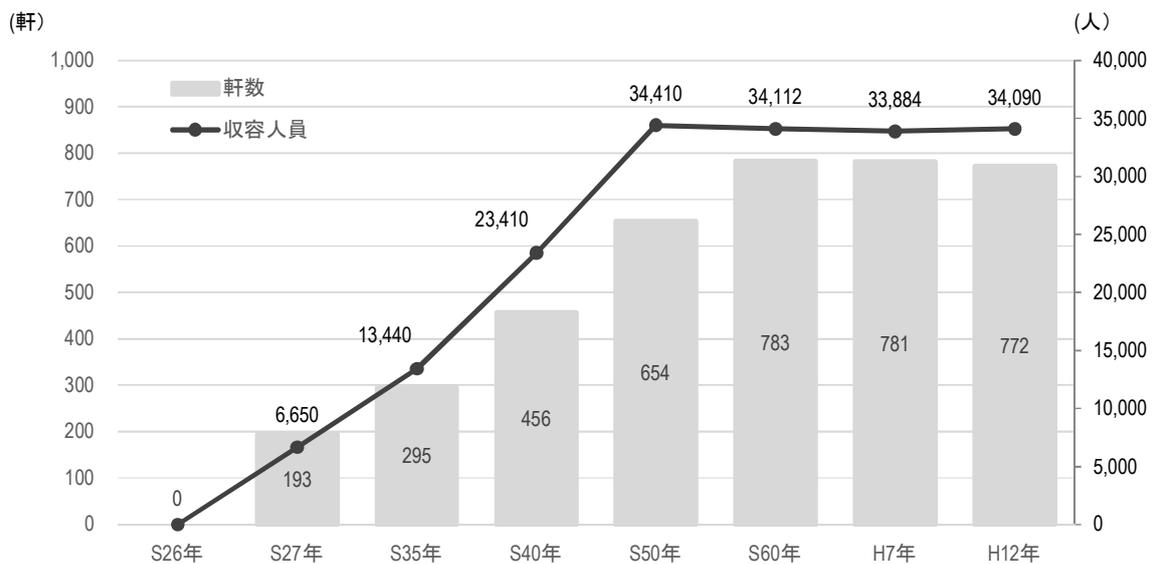


図5-6 宿泊施設の軒数と収容人員の推移

出所：白馬村

表5-15 宿泊施設の軒数と収容人員の推移

年	S26年	S27年	S35年	S40年	S50年	S60年	H7年	H12年
軒数	0	193	295	456	654	783	781	772
収容人員	0	6,650	13,440	23,410	34,410	34,112	33,884	34,090

出所：白馬村

近年においては、(一社)白馬村観光局加盟施設を見ると、貸別荘以外の業態は軒数が減少傾向にある。

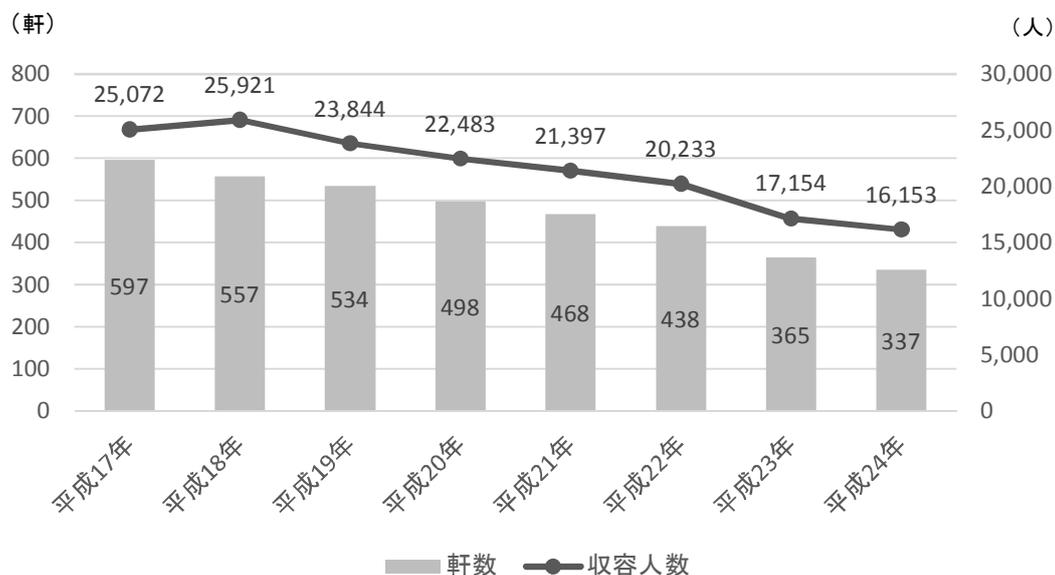


図5-7 近年の宿泊施設の軒数と収容人員の推移 ((一社)白馬村観光局加盟施設)

出所:(一社)白馬村観光局

表5-16 近年の宿泊施設の軒数と収容人員の推移 ((一社)白馬村観光局加盟施設)

区分	旅館	民宿	ペンション	ロッジ・ヒュッテ	ホテル	貸別荘	その他	合計
H19年	94	118	189	55	59	13	6	534
H20年	85	105	184	50	55	13	6	498
H23年	51	68	143	32	53	15	3	365
H24年	50	58	131	29	50	16	3	337

出所:(一社)白馬村観光局



写真 5 - 15 白马駅前から見た白马連峰の風景

(6) 空間・景観

① 白马駅前の空間

白马駅から白马連峰への眺望は、村を象徴する景観の一つである。現状、駅前から白马連峰を望むことは可能なものの、電線等により必ずしも美しい景観であるとは言えない状況にある。これまでも沿道の電線地中化に向けて検討がなされてきたが、電柱地中化にあたっては、既存の埋設施設との関係もあり、整備には多額の費用を要すると言われている。

② 滞在拠点の空間

白马村の滞在拠点には、大きく二種類存在がある。一つは、元からある集落をベースに発展した滞在拠点であり、もう一つは、別荘地として開発されたエリアである。集落をベースに発展した地区は、街路が曲線的であり、農村の雰囲気を残すが、街路の幅員が狭い場所などが存在する。一方、別荘地として開発されたエリアは、直線的な街路で区画が構成されて、整然としている。

③ 道路、道 (主要なもの)

● 歴史的な道、街道沿いの道

「千国街道」は、越後の糸魚川から信州の松本城下までを結ぶ約 120km の道で、日本海からは塩や海産物を、内陸からは山の幸や、木材・鉱物などを運んだ道である。別名「塩の道」

と言う。

●オリンピック道路（県道 33 号線）

長野市から白馬村を約 1 時間で結ぶ長野県道 33 号線は、オリンピックで選手村や長野駅と白馬村を結ぶ道路として整備されたもので、主要幹線として利用された。通称「オリンピック道路」と呼ばれている。大会終了後も引き続き、長野市から白馬・大町及び新潟県糸魚川を結ぶ産業・観光道路として利用されている。

オリンピック道路で白馬村に入ると、白馬連峰をきれいに望むことが出来るのに対して、村内中心部に入りオリンピック道路から外れると、白馬連峰の美しさとはやや趣の異なる沿道景観が見られる。



写真 5-16 オリンピック道路から見た白馬連峰



写真 5-17 街道沿いから見た白馬村

④公園

白馬村は、自然に囲まれているが、公園緑地は限られる。大出公園やサンサンパーク白馬などがある。

大出公園は、白馬村都市計画審議会で承認され、平成14年3月26日に都市計画決定され整備された公園である。平成18年度までの5年度間をかけて、大出吊橋から下流、姫川両岸の5.9haの公園化を実施。白馬を背景に、清流姫川を前景とした大出吊橋の風景は、白馬村を代表する風景の一つとなっている。

この公園計画は、次の4点を基本方針として、地域住民ら15名で構成する大出公園計画検討委員会の意見を聞き、進められた。

1. 農村の原風景を保全し、良好な景観を活用した魅力ある公園の整備を図る。
2. 水や緑を活用し、豊かな自然とのふれあいの場としての整備を図る。
3. 歴史的空間の保全と活用を通じて、地域住民や地域文化との交流をできる場を整備する。
4. 地域の活性化に資する公園整備を行う。

一方、サンサンパーク白馬（堀之内）は、県道33号線（オリンピック道路）の除雪ステーションを整備して作られた駐車場である。白馬連峰をゆっくり眺める場所に立地しており、芝生の公園や水辺の空間も隣接する。



写真5-18 大出公園



写真5-19 はくばさんさんパーク

⑤里地里山空間

白馬村では、盆地底部を中心に田畑が広がっており、その中に集落が点在している。農村をベースに文化が育まれてきた地域であり、農村地域としての社会システム、風景が残っている。

そうした集落の中には、国の重要伝統的建造物群保存地区にも選定されているものもある（平成12年12月4日選定）。善鬼伝説が語られる青鬼集落が村北東部の山腹に位置している。江戸時代後期から明治時代の茅葺民家が密集して残存し、現在もなお人々はその住まいで暮らしている。また、江戸時代に掘削された用水路及び広大な棚田が更に高い山腹に位置する。

山腹も含めて、こうした人が静かに暮らす空間の観光的な利用にあたっては、住民の意向を踏まえることや利用する場合はルールを設定し守られるように啓発する等が重要となる。



写真5-20 白馬村の田園風景

(7) 行祭事・イベント、滞在プログラム、その他商品・サービス

①行祭事・イベント

白馬村においては、各地区で様々な行祭事・イベントが実施されており、それらを整理したのが表5-18である。

行祭事・イベントの多い月は、1月、2月、3月、7月、8月であり、冬季1～3月はスキーに関連する選手権が多い。夏季7月、8月は、文化系のイベントが多い。

表5-17 白馬村での行祭事・イベント

凡例	内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
◎	伝統行事・祭事	1				1				2		1	
●	スポーツ系イベント (競技会等を含む)	6	16	17	6		1	3	6	2			
○	スキー場でのイベント	16	17	11	1	1							11
■	文化系イベント		1			1	5	11	12	7	7	2	2
★	自然系イベント				2	1	3	5	8	3	2		
*	その他イベント		1			2		1	5		2		

表5-18 白馬村の行祝祭時の整理

1月		2月		3月		4月	
1日	佐野 ○お正月イベント(白馬さのさかスキー場) 飯田 ○元旦お年玉イベント(～3日)(白馬五電スキー場) 飯森 ○元旦福々まつり(Hakuba47) 飯方 ○ピンゴ大会(白馬みねかたスキー場)	1月～ 切久保 ○フィールドサンクスDAY(東京・神奈川・埼玉・千葉)(～2/6)(白馬岩岳スノーフィールド) ○白馬五電デコレーションゴンドラ(節分デコ)(～3日)(白馬五電スキー場)	1日 飯田 ○節分豆まきイベント(白馬五電スキー場)	2月～ 切久保 ○フィールドサンクスDAY(新潟・富山/石川/福井)(～3/7)(白馬岩岳スノーフィールド)	1日 飯方 ○もちつき(白馬みねかたスキー場)	上旬 山麓 ○八方尾根スプリングフェスティバル(白馬八方尾根スキー場)	
2日	飯森 ○鎌賀新年イベント(白馬五電スキー場いもりグレンデ)	2日 飯田 ○岩岳感謝祭(白馬岩岳スノーフィールド)	2日 飯田 ●白馬五電コンビナイターレース(白馬五電スキー場)	2日 飯田 ○おぼあちゃんの日イベント(白馬五電スキー場)	5日 飯森 ○ひな祭りイベント(～2日)(白馬五電スキー場)	中旬 佐野 ★短川源流福寿草まつり(～下旬)(短川源流)	
4日	山麓 ○ずのっちゃんお祭り(白馬八方尾根スキー場)	7日 切久保 ○岩岳感謝祭(白馬岩岳スノーフィールド)	7日 切久保 ●白馬そば記念日週間(～15日)(白馬村内)	切久保 ●全国学生岩岳スキー大会(Demo)(～7日)(白馬岩岳スノーフィールド)	13日 山麓 ●HAPPY ONE SUPER MOGUL CUP(白馬八方尾根スキー場)	5日 飯森 ●スノーチャレンジスノーボードヨナナカップ(～6日)(Hakuba47)	
11日	飯森 ○JIBA(日本痛板協会)グレンデジャック(～13日)(Hakuba47)	8日 飯田 ○ハッピーバレンタインナイト(白馬五電スキー場)	8日 飯田 ●白馬雪まつり(～15日)(白馬村内)	6日 山麓 ●八方尾根一全スラローム大会(～7日)(白馬八方尾根スキー場)	19日 飯森 ●スノーチャレンジスノーボードスラロームキャンプ&草大会(～30日)(Hakuba47)	13日 山麓 ●上村愛子ジュニアモーグルキャンプIN白馬八方尾根(白馬八方尾根スキー場)	
12日	白馬町 ◎白馬町どんど焼き(ウイング2.1駐車場東側)	8日 飯田 ○ハッピーバレンタインナイト(白馬五電スキー場)	飯森 ○Hakuba47 雪像コンテスト(～16日)(Hakuba47)	7日 飯森 ●The 2nd Hakuba47 Slope Style VOLKL SUPER SLOPE ! (～8日)(Hakuba47)	20日 山麓 ●バリリンピアと滑ってみませんか?(白馬八方尾根スキー場)	26日 山麓 ●春だよ!残雪の北尾根展望を歩こう!ツアー(～27日)(白馬八方尾根スキー場)	
18日	飯方 ○おみねかた火祭り(白馬みねかたスキー場)	9日 飯田 ○もちつき(白馬みねかたスキー場)	9日 飯田 ○ハッピーバレンタインナイト(白馬五電スキー場)	8日 飯田 ○白馬五電スノーフェスティバル(白馬五電スキー場)	29日 飯田 ★五電かたくり祭り(五電かたくり苑)		
18日	飯方 ○おみねかた火祭り(白馬みねかたスキー場)	9日 飯田 ○もちつき(白馬みねかたスキー場)	9日 飯田 ●スキージャンプ子どもの日(白馬ジャンプ競技場)	飯森 ○Hakuba47グレンデ祭(～9日)(Hakuba47)			
19日	飯森 ●スノーチャレンジスノーボードスラロームキャンプ&草大会(～19日)(Hakuba47)	9日 飯田 ○もちつき(白馬みねかたスキー場)	9日 飯田 ○もちつき(白馬みねかたスキー場)	飯森 ●スノーチャレンジスノーボードスラロームキャンプ&草大会(～9日)(Hakuba47)			
19日	飯田 ●雪上運動会(白馬五電スキー場)	12日 切久保 ○フィールドサンクスDAY(新潟・富山/石川/福井)(～3/7)(白馬岩岳スノーフィールド)	12日 切久保 ○フィールドサンクスDAY(新潟・富山/石川/福井)(～3/7)(白馬岩岳スノーフィールド)	9日 飯森 ●いいもりスキージュニアクロスゲーム(白馬五電スキー場いもりグレンデ)			
25日	山麓 ●ジャパレバリンピック アルペンスキー競技大会(～28日)(白馬八方尾根スキー場)	13日 飯田 ●スキーヤーファストトラック(白馬五電スキー場)	13日 飯田 ●スキーヤーファストトラック(白馬五電スキー場)	11日 山麓 ●全日本スキー技術選手権大会 兼 デモンストラター選考会(～16日)(白馬八方尾根スキー場)			
25日	飯森 ●速さで勝負!直滑降レース(Hakuba47)	14日 切久保 ○バレンタインDAY(白馬岩岳スノーフィールド)	14日 切久保 ○バレンタインDAY(白馬岩岳スノーフィールド)	16日 切久保 ●全国学生岩岳スキー大会(AL)(～22日)(白馬岩岳スノーフィールド)			
26日	飯方 ○ピンゴ大会(白馬みねかたスキー場)	15日 山麓 ○白馬八方尾根火祭り(白馬八方尾根スキー場)	15日 山麓 ○白馬八方尾根火祭り(白馬八方尾根スキー場)	20日 山麓 ●スキーヤーパーティ(白馬八方尾根スキー場)			
26日	切久保 ●ISC岩岳スキーコンテスト(白馬岩岳スノーフィールド)	15日 飯方 ○ピンゴ大会(白馬みねかたスキー場)	15日 飯方 ○ピンゴ大会(白馬みねかたスキー場)	21日 飯森 ●長江健次カップ4時間耐久レース(白馬五電スキー場いもりグレンデ)			
27日	切久保 ○フィールドサンクスDAY(東京・神奈川・埼玉・千葉)(～2/6)(白馬岩岳スノーフィールド)	16日 切久保 ●白馬スノーオーク(～16日)(白馬岩岳スノーフィールド)	16日 切久保 ●白馬スノーオーク(～16日)(白馬岩岳スノーフィールド)	23日 飯森 ●いいもりスキージュニアクロスゲーム(白馬五電スキー場いもりグレンデ)			
季節	飯森 ○Hakuba47あったかいね(12/21～3/29毎週土曜日)	16日 飯田 ●白馬五電ナイターレース/バレンタインカップ(白馬五電スキー場)	16日 飯田 ●白馬五電ナイターレース/バレンタインカップ(白馬五電スキー場)	23日 飯森 ●いいもりスキージュニアクロスゲーム(白馬五電スキー場いもりグレンデ)			
	飯森 ○いいもり大鍋の日(1/5～3/16毎週日曜日)(白馬五電スキー場いもりグレンデ)	17日 山麓 ●HAPPY-ONE 学生技術選手権大会(～19日)(白馬八方尾根スキー場)	17日 山麓 ●HAPPY-ONE 学生技術選手権大会(～19日)(白馬八方尾根スキー場)	29日 山麓 ●八方スーパードレーゼン大会(白馬八方尾根スキー場)			
	飯方 ●ポール滑走を楽しむ日(1/7～3/9毎週火水木)(白馬みねかたスキー場)	17日 切久保 ●全国学生岩岳スキー大会(ALQ)(～21日)(白馬岩岳スノーフィールド)	17日 切久保 ●全国学生岩岳スキー大会(ALQ)(～21日)(白馬岩岳スノーフィールド)	30日 山麓 ○春のずのっちゃんお祭り(白馬八方尾根スキー場)			
		22日 飯森 ●速さで勝負!直滑降レース(Hakuba47)	22日 飯森 ●速さで勝負!直滑降レース(Hakuba47)	30日 飯田 ●白馬五電サロモンジュニアカップ(白馬五電スキー場)			
		飯方 ○雪だるまコンテスト(白馬みねかたスキー場)	飯方 ○雪だるまコンテスト(白馬みねかたスキー場)	季節 飯森 ○Hakuba47あったかいね(12/21～3/29毎週土曜日)			
		飯森 ●スノーチャレンジスノーボードスラロームキャンプ&草大会(～23日)(Hakuba47)	飯森 ●スノーチャレンジスノーボードスラロームキャンプ&草大会(～23日)(Hakuba47)	飯森 ○いいもり大鍋の日(1/5～3/16毎週日曜日)(白馬五電スキー場いもりグレンデ)			
		23日 飯森 ●いいもりジュニアスキークロス大会(白馬五電スキー場いもりグレンデ)	23日 飯森 ●いいもりジュニアスキークロス大会(白馬五電スキー場いもりグレンデ)	飯森 ●ポール滑走を楽しむ日(1/7～3/9毎週火水木)(白馬みねかたスキー場)			
		26日 切久保 ●オール関西学生スキー技術選手権大会(白馬岩岳スノーフィールド)	26日 切久保 ●オール関西学生スキー技術選手権大会(白馬岩岳スノーフィールド)	飯方 ○雪だるまコンテスト(白馬みねかたスキー場)			
		飯田 ●白馬五電ファストトラック(白馬五電スキー場)	飯田 ●白馬五電ファストトラック(白馬五電スキー場)				
		飯森 ○Hakuba47あったかいね(12/21～3/29毎週土曜日)	飯森 ○Hakuba47あったかいね(12/21～3/29毎週土曜日)				
		飯森 ○いいもり大鍋の日(1/5～3/16毎週日曜日)(白馬五電スキー場いもりグレンデ)	飯森 ○いいもり大鍋の日(1/5～3/16毎週日曜日)(白馬五電スキー場いもりグレンデ)				
		飯方 ●ポール滑走を楽しむ日(1/7～3/9毎週火水木)(白馬みねかたスキー場)	飯方 ●ポール滑走を楽しむ日(1/7～3/9毎週火水木)(白馬みねかたスキー場)				

表5-18 白馬村の行祝祭時の整理

5月		6月		7月		8月	
3日	飯森	1日	深空	9月~	飯田	7月~	飯田
	○幸だ！よんななアリーマーケット！&スキーこどもの日！(～5日) (Hakuba47)		●ハウバサンロクフェス(白馬グリーンスポーツの森) (白馬五竜高山植物園)		●白馬五竜フォトコンテスト(～11/3) (白馬五竜高山植物園)		●白馬五竜フォトコンテスト(～11/3) (白馬五竜高山植物園)
4日	落倉～ 深空	14日	飯田		飯田		飯田
	■塩の道祭り(白馬村内塩の道、落倉自然園～切久保神社～白馬グリーンスポーツの森)		★白馬五竜フォトコンテスト(～11/3) (白馬五竜高山植物園)		●白馬五竜エスカルプラザ絵画・写真ギャラリー展 (～8/31)(五竜エスカルプラザ)		●白馬五竜エスカルプラザ絵画・写真ギャラリー展 (～8/31)(五竜エスカルプラザ)
5日	八方	21日	なし		飯田		飯田
	*八方温泉こどもの日 葛湯湯(八方温泉外湯施設)		★ツクモグサ&ウルップソウ花祭り(～30日)(白馬山荘)		■山田悠子 ポラニカルアート展(～8/31) (五竜エスカルプラザ)		■山田悠子 ポラニカルアート展(～8/31) (五竜エスカルプラザ)
24日	山麓	28日	飯田		飯田		飯田
	*Club Happoエコ・クリーンアップ大作戦(白馬八方尾根スキー場)		★白馬Alps花三昧五竜会場オープニングイベント (白馬五竜高山植物園)		■写真家 重倉一正フォトギャラリー(～8/31) (五竜エスカルプラザ)		■写真家 重倉一正フォトギャラリー(～8/31) (五竜エスカルプラザ)
25日頃	青鬼		飯田		飯田		飯田
	◎青鬼 五月祭り(青鬼集落)		■白馬五竜エスカルプラザ絵画・写真ギャラリー展(～8/31) (五竜エスカルプラザ)		■とよた時 山岳イラスト展(～10/31)(五竜エスカルプラザ)		■とよた時 山岳イラスト展(～10/31)(五竜エスカルプラザ)
31日	なし		飯田		飯田		飯田
	*白馬運峰開山祭(真造祭)(猿倉駐車場)		■山田悠子 ポラニカルアート展(～8/31) (五竜エスカルプラザ)		■吉田外司夫写真展「青いケシの新種とその仲間たち」 (～10/31)(五竜エスカルプラザ)		■吉田外司夫写真展「青いケシの新種とその仲間たち」 (～10/31)(五竜エスカルプラザ)
			飯田		飯田		飯田
			■写真家 重倉一正フォトギャラリー(～8/31) (五竜エスカルプラザ)		■匠展(～10/31)(五竜エスカルプラザ)		■匠展(～10/31)(五竜エスカルプラザ)
			飯田		飯田		飯田
			■とよた時 山岳イラスト展(～10/31)(五竜エスカルプラザ)		■rakuzaki展「MALLU」イラスト展(～10/31)(五竜エスカルプラザ)		■rakuzaki展「MALLU」イラスト展(～10/31)(五竜エスカルプラザ)
			飯田		飯田		飯田
			■吉田外司夫写真展「青いケシの新種とその仲間たち」 (～10/31)(五竜エスカルプラザ)		1日	八方	みそら野
						*八方温泉三昧(～8/31)(白馬八方温泉外湯施設)	■白馬国際音楽祭(～8/2)(白馬美術館)
					山麓	*白馬Alps花三昧(～8/31) (八方尾根自然研究路など全11会場)	●マウンテンバイクサマーキャンプin白馬さのさか(～8/2) (白馬クレストリ―競技場「スノーハーブ」)
					飯田	■五竜エスカルプラザ そば打ち体験(～8/31) (五竜エスカルプラザ)	■白馬五竜 カフトムシ園(～8/17)(白馬五竜ゴンドラ前)
					飯田	*白馬岩岳おぼこの森ウォーキングガイドツアー(～8/24) (白馬岩岳ゆり園&マウンテンビュー山頂)	*白馬岩岳おぼこの森ウォーキングガイドツアー(～8/24) (白馬岩岳ゆり園&マウンテンビュー山頂)
					12日	切久保	切久保
					13日	飯森	飯田
						●47 RUNBIKE CUP(Hakuba47)	■五竜エスカルプラザ 夏休み工作研究所(～8/24)(五竜エスカルプラザ)
					19日	飯田	山麓
						*白馬五竜 カフトムシ園(～8/17)(白馬五竜ゴンドラ前)	*白馬Alps花三昧(～8/31) (八方尾根自然研究路など全11会場)
					飯田	*ヒマラヤの青いケシ観賞会/信州うまいもん市(～21日) (白馬五竜高山植物園)	■五竜エスカルプラザ そば打ち体験(～8/31) (五竜エスカルプラザ)
					飯田	■夏休み工作研究所(～8/24)(五竜エスカルプラザ)	*八方温泉三昧(～8/31)(白馬八方温泉外湯施設)
					飯森	*白馬自然体験村(～8/31)(Hakuba47)	*白馬自然体験村(～8/31)(Hakuba47)
					20日	新田	飯田
						*白馬塩の道温泉「岩巻の湯」「七ノキの湯」風呂 (白馬塩の道温泉「岩巻の湯」)	*白馬五竜ナイトゴンドラ夜の高山植物園探検と星空観察(～24日) (白馬五竜)
					26日	内山	飯田
						●白馬スノーハーブクレストリ―大会(～27日) (白馬クレストリ―競技場「スノーハーブ」)	*「星空・宇宙」と「高山植物」(白馬五竜)
					27日	内山	内山
						●マウンテンバイクサマーキャンプin白馬さのさか(～8/2) (白馬クレストリ―競技場「スノーハーブ」)	●全国小学生・中学生マウンテンバイク大会 白馬さのさか(～3日) (白馬クレストリ―競技場「スノーハーブ」)
					30日	みそら野	飯田
						■白馬国際音楽祭(～8/2)(白馬美術館)	*キッズフェスタ(～10日)(白馬五竜)
							9日
							飯田
							10日
							飯森
							●47 RUNBIKE CUP(Hakuba47)
							13日
							深空
							*白馬の夏祭り(白馬グリーンスポーツの森)
							14日
							山麓
							*八方尾根夏祭り(八方尾根)
							15日
							白馬町
							*YOSAKOI・花・白馬(白馬駅前広場)
							なし
							●山の歌の集い(～16日)(白馬山荘)
							16日
							飯田
							*「星空・宇宙」と「高山植物」(白馬五竜)
							23日
							飯田
							*「星空・宇宙」と「高山植物」(白馬五竜)
							みそら野
							●FISサマーグランプリジャンプ白馬大会(～24日)(白馬ジャンプ競技場)
							エコー ランド
							25日
							■みどりの風コンサート(聖白馬教会B1ホール)
							飯森
							30日
							●BMW MOTORRAD DAYS JAPAN(～31日)(Hakuba47)

表5-18 白馬村の行祝祭時の整理

9月		10月		11月		12月	
8月~	<p>坂田 ■白馬五竜フォトコンテスト(～11/3) (白馬五竜高山植物園)</p> <p>坂田 ■とよた時 山岳イラスト展(～10/31)(五竜エスカルプラザ)</p> <p>坂田 ■吉田外司夫写真展「青いケシの新種とその仲間たち」 (～10/31)(五竜エスカルプラザ)</p> <p>坂田 ■坂田巨匠展(～10/31)(五竜エスカルプラザ)</p> <p>坂田 ■rakugaki展「MALLU」イラスト展(～10/31)(五竜エスカルプラザ)</p>	<p>9月~</p> <p>坂田 ■白馬五竜フォトコンテスト(～11/3) (白馬五竜高山植物園)</p> <p>山麓 ★八方くろびし紅葉まつり(～10/18)(白馬八方尾根)</p> <p>坂田 ■とよた時 山岳イラスト展(～10/31)(五竜エスカルプラザ)</p> <p>坂田 ■吉田外司夫写真展「青いケシの新種とその仲間たち」 (～10/31)(五竜エスカルプラザ)</p> <p>坂田 ■坂田巨匠展(～10/31)(五竜エスカルプラザ)</p> <p>坂田 ■rakugaki展「MALLU」イラスト展(～10/31)(五竜エスカルプラザ)</p> <p>坂田 ■山岳写真家 菊池哲夫フォトギャラリー(～10/31) (五竜エスカルプラザ)</p> <p>3日 なし</p> <p>11日 坂田 ★秋の彩りを楽しむ 五竜・唐松・紅葉まつり(～7日) (五竜山荘、唐松岳頂上山荘、八方池山荘)</p> <p>25日 佐野 ■そばフェスタ(～13日)(白馬五竜エスカルプラザ)</p> <p>26日 エコーランド ■白馬さのさか新そば打ち体験と紅葉ウォーク(～26日)(白馬さのさか)</p> <p>*白馬deハロウィン(エコーランド 体育館)</p>	<p>10月~</p> <p>坂田 ■白馬五竜フォトコンテスト(～11/3) (白馬五竜高山植物園)</p> <p>15日 新田 ■新田そば祭り(～16日)(新田公民館)</p> <p>青鬼 ◎青鬼地区 秋祭り(青鬼地区)</p>	<p>13日 白馬町 ■サン・イエングアングリスマス・コンサート!(白馬村ウイング21文化ホール)</p> <p>15日 坂田 ○白馬五竜スキー場・Hakuba47 スキーこどもの日 (白馬五竜スキー場、Hakuba47)</p> <p>坂田 ○白馬五竜クリスマスイベント(～22日)(白馬五竜スキー場)</p> <p>坂田 ○Hakuba47 サンタ&『アルクマ』がよんななにやってくる!(～25日)(Hakuba47)</p> <p>坂田 ○白馬五竜デコレーションゴンドラ(クリスマスデコ)(～25日)(白馬五竜スキー場)</p> <p>22日 八方 ■白馬八方温泉『冬遊』(白馬八方温泉外湯施設)</p> <p>23日 佐野 ○クリスマスイベント(白馬さのさかスキー場)</p> <p>坂田 ○いいもりクリスマスイベント(白馬五竜スキー場いいもりゲレンデ)</p> <p>30日 坂田 ○白馬五竜デコレーションゴンドラ(お正月デコ)(～1/3)(白馬五竜スキー場)</p> <p>31日 坂田 ○白馬五竜カウントダウンパーティ(白馬五竜スキー場)</p> <p>山麓 ○カウントダウン(白馬八方尾根スキー場)</p> <p>切久保 ○岩岩カウントダウン(白馬岩岩スキーフィールド)</p> <p>季節 坂田 ○Hakuba47あったかいね(12/21～3/29毎週土曜日)</p>			
6日	坂田 ●ジャパンEVラリー白馬(～7日)(Hakuba47)	坂田					
13日	<p>八方 ●白馬国際トレイルラン(～15日)(八方第2駐車場/八方文化会館)</p> <p>坂田 ■白馬五竜 オータムフェア・信州うまいもの市(～15日)(五竜エスカルプラザ)</p> <p>坂田 *白馬五竜ナイトゴンドラ～夜の高山植物園探検と星空観察(～15日) (白馬五竜)</p> <p>坂田 ■山岳写真家 菊池哲夫フォトギャラリー(～10/31)(五竜エスカルプラザ)</p>	<p>3日</p> <p>11日</p> <p>25日</p> <p>26日</p>					
敬老の日	切久保 ◎切久保 霧降宮大木諏訪神社例大祭(霧降宮大木諏訪神社)						
20日	坂田 *白馬五竜ナイトゴンドラ～夜の高山植物園探検と星空観察(～23日) (白馬五竜)						
	坂田 *「星空・宇宙」と「高山植物」(白馬五竜)						
21日頃	青鬼 ◎青鬼神社例祭(火様みの神事)(青鬼集落)						
27日	山麓 ★八方くろびし紅葉まつり(～10/18)(白馬八方尾根)						

②滞在プログラム

白馬村に滞在したときに参加できるプログラムを、村内の多くの地域を活用できる夏期について整理すると、表5-19、20の通りとなる（一部周辺地域を含む）。

表5-19 滞在プログラム

集計用分類	プログラム数
アスレチック等	15
カヌー/カヤック	10
キッズプログラム	16
キャニオニング/シャワーウォーキング	7
クライミング	5
クラフト体験	24
その他	6
そば打ち	3
トレッキング	6
熱気球	1
バーベキュー	1
パラグライダー	24
フィッシング	2
マウンテンバイク	11
ラフティング	10
合計	141

出所：各種パンフレット、各提供事業者のホームページ等から作成



写真5-22 体験プログラムの光景（例：大出公園）

表5-20 体験プログラム（一部、白馬村周辺も含む）

集計用分類	プログラム	フィールド	所要時間	定員	開催期間
アスレチック等	ハイエリメント 基本コース	白馬村内岩岳地区	9:00-17:00の随時→1時間換算		4月中旬-11月中旬→5/11-11/20
アスレチック等	ハイエリメント お試しコース (第1コース)	白馬村内岩岳地区	9:00-17:00の随時→1時間換算		4月中旬-11月中旬→5/11-11/20
アスレチック等	ハイエリメント お試しコース (第2コース)	白馬村内岩岳地区	9:00-17:00の随時→1時間換算		4月中旬-11月中旬→5/11-11/20
アスレチック等	EXバンジー (2015シーズンより)	白馬村内岩岳地区	9:00-17:00の随時→1時間換算		4月中旬-11月中旬→5/11-11/20
アスレチック等	ツリークライミング	白馬村内	随時、2.5時間		4月中旬-11月中旬→5/11-11/20
アスレチック等	★遊び王国キャロル	アルパイン(山頂)エリア	9:00-16:00		7/12-8/31
アスレチック等	★冒険の森アスレチック	アルパイン(山頂)エリア	9:00-16:00		7/12-8/31
アスレチック等	家族deサバイバル体験	Hakuba47	9:00-16:00		7/12-8/26
アスレチック等	バンジートランポリン	Hakuba47	9:00-16:00		7/12-8/31
アスレチック等	ZIP LINE	Hakuba47	9:00-16:00		7/12-8/31
アスレチック等	エアートランポリン(ふあふあ)	飯森	9:00-16:30(5分)		7/19-8/31
アスレチック等	スカイトランポリン	飯森	9:00-16:00		7/19-8/31
アスレチック等	施設利用(半日)	さのさか	半日(9:30-13:00/12:30-15:30)		5月中旬-10月中旬→5/11-10/20
アスレチック等	施設利用(1日)	さのさか	1日(9:30-15:30)		5月中旬-10月中旬→5/11-10/20
アスレチック等	いかだ遊び	飯森	8:30-17:00		7/19-8/31
カヌー/カヤック	川下りカヤック二日間チャレンジ	青木湖/層川(川の駅さざなみ)	1日目9:30~2日目17:30	最少催行4名	6/13-8/7、8/17-10/18
カヌー/カヤック	川下りカヤック1日ツアー	層川(川の駅さざなみ)	9:30~15:45	最少催行4名	6/13-8/7、8/17-10/18
カヌー/カヤック	青木湖カヌー半日体験	青木湖	①9:30-12:00、②13:30-16:00	最少催行4名	4/25-5/6、6/13-10/18
カヌー/カヤック	青木湖カヌー1日体験	青木湖	①9:30-15:45	最少催行4名	4/25-5/6、6/13-10/18
カヌー/カヤック	カナディアンカヌー半日体験	青木湖	9:30-12:00	最少催行4名	4/25-5/6、6/13-8/7、8/17-10/18
カヌー/カヤック	エアークヌー半日体験コース	青木湖	①9:30-12:00、②13:30-16:00	最少催行4名	4/25-5/6、6/13-10/18
カヌー/カヤック	レイクセーリングヨット 自由散策コース	青木湖	①11:30-13:30、②15:30-17:30	最少催行2名	7/18-8/7、8/17-8/31
カヌー/カヤック	ナイトクルージング	青木湖	20:00-22:15	最少催行4名	8/25-8/31の毎日、9月の土曜・祝前日のみ
カヌー/カヤック	湖上ホタルツアー	青木湖	①19:30-21:30、②20:30-22:30	最少催行4名	7/11-8/16
カヌー/カヤック	湖上ホタルツアー-特別便	青木湖	20:00-22:00	最少催行4名	8/17-8/23
キッズプログラム	★ミニSL&新幹線	ベースエリア	9:30-12:00/13:00-15:30		7/12-8/31
キッズプログラム	★おもしろ自転車	ベースエリア	9:00-16:00(30分)		7/12-8/31
キッズプログラム	★キッズランド	ベースエリア	9:00-16:00		7/12-8/31
キッズプログラム	★お化け屋敷	アルパイン(山頂)エリア	9:00-16:00		7/12-8/31
キッズプログラム	ミニ蒸気機関車 乗車体験	八方	10:00-15:30		5/1-10/31
キッズプログラム	電気機関車 運転体験	八方	10:00-15:30		5/1-10/31
キッズプログラム	レンタルレイアウト(持込車両)	八方	9:00-15:30		5/1-10/31
キッズプログラム	鉄子ランド	八方	10:00-16:30		5/1-10/31
キッズプログラム	鉄道模型館(コイン運転)	八方	10:00-16:30		5/1-10/31
キッズプログラム	鉄道模型館(貸し切りルーム)15分	八方	10:00-16:30(15分)	5組まで	5/1-10/31
キッズプログラム	鉄道模型館(貸し切りルーム)30分	八方	10:00-16:30(30分)	10組まで	5/1-10/31
キッズプログラム	★魚の掴み取り	ベースエリア	11:00-13:00/14:30-		7/12-8/31
キッズプログラム	★グラスホッパーグレンデ	アルパイン(山頂)エリア	9:00-16:00		7/12-8/31
キッズプログラム	おもしろ自転車	飯森	8:30-16:30(15分(50mを5周))		7/19-8/31
キッズプログラム	魚のつかみどり	飯森	9:30-16:00(1時間)		7/19-8/31
キッズプログラム	カブトムシ園	玉電	9:00-16:00		7/19-8/17
キャニオニング/シャワーウォーキング	平川シャワーウォーキング 半日体験コース	平川(HAKUBA47橋)	①9:00-12:20、②13:15-16:35	最少催行4名	7/11-8/31の毎日、9/1-30の土日
キャニオニング/シャワーウォーキング	安曇野シャワービクニック 半日体験コース	国営あづみの公園大町松川地区	①9:30-12:00、②13:30-16:00	最少催行4名	7/11-8/31
キャニオニング/シャワーウォーキング	層川ハイドロツアー 半日体験コース	層川(川の駅さざなみ)	①8:20-14:30、②12:00-17:45	2名-最大5名	6/13-8/7、8/17-11/3
キャニオニング/シャワーウォーキング	層川ダックーツアー 半日体験コース	層川(川の駅さざなみ)	①8:20-14:30、②12:00-17:45	2名-最大6名	4/25-5/6、6/13-8/7、8/17-11/3
キャニオニング/シャワーウォーキング	白馬カモシカ・キャニオン半日ツアー	白馬村内溪谷?	①8:30-12:00、②10:30-14:30、③13:00-16:30	最少催行2名	4月下旬-10月中旬→5/11-10/20
キャニオニング/シャワーウォーキング	白馬カモシカ・キャニオン1日ツアー	白馬村内溪谷?	9:15-15:45	最少催行2名	6月初旬-9月下旬→6/1-9/30
キャニオニング/シャワーウォーキング	シャワークライミング	白馬村内	2.5時間		4月中旬-11月中旬→5/11-11/20
クライミング	ウォールクライミングツアー半日コース	白馬村内	①9:00-11:00、②13:30-16:00	最少催行2名	4/26-11/24
クライミング	ロッククライミングツアー1日コース	白馬村内	9:00-16:00	最少催行4名	6/15、6/29、7/20、7/25、8/22、8/30、9/21、9/28
クライミング	ウォール&ロッククライミング1日コース	白馬村内	9:00-16:00	最少催行4名	6/15、6/29、7/20、7/25、8/22、8/30、9/21、9/28
クライミング	クライミング	白馬村内	2.5時間		4月中旬-11月中旬→5/11-11/20
クライミング	ウォールクライミング	Hakuba47	9:00-16:00		7/12-8/31
クラフト体験	クラフト体験(リース)		30分換算	5名-最大40名	
クラフト体験	クラフト体験(ドリームキャッチャー)		30分換算	5名-最大40名	
クラフト体験	クラフト体験(ネームプレート)		30分換算	5名-最大40名	
クラフト体験	森のクラフト体験(簡単葉巻・紐付け体験)	ゴンドラ山頂駅	30分換算		7/12-8/31
クラフト体験	森のクラフト体験(ウッドバーニング)	ゴンドラ山頂駅	30分換算		7/12-8/31
クラフト体験	森のクラフト体験(思い出Tシャツ作り)	ゴンドラ山頂駅	30分換算		7/12-8/31
クラフト体験	森のクラフト体験(森の時計作り)	ゴンドラ山頂駅	30分換算		7/12-8/31
クラフト体験	森のクラフト体験(雪真立作り)	ゴンドラ山頂駅	30分換算		7/12-8/31
クラフト体験	ヒノキのおしつくり	玉電	9:00-15:00(30分~1時間)		7/19-8/24
クラフト体験	万華鏡作り	玉電	9:00-15:00(30分~1時間)		7/19-8/24
クラフト体験	プロペラ飛行機作り	玉電	9:00-15:00(30分~1時間)		7/19-8/24
クラフト体験	どんぼ玉作り体験	八方	9:00-18:30(30分)		通年(火曜定休)
クラフト体験	手づくり体験制作	みそら野	1.5~2時間	最少催行2名	冬季は休み→5/11-11/30
クラフト体験	苔玉作り体験	飯森	9:15~17:00(30分~1時間)		通年(火曜定休)
クラフト体験	キーホルダーづくり	飯森	9:00-16:30(30分)		7/19-8/31
クラフト体験	バードコール	飯森	9:00-16:30(30分)		7/19-8/31
クラフト体験	竹とんぼ作り	飯森	9:00-16:30(30分)		7/19-8/31
クラフト体験	ネイチャークラフト	飯森	9:00-15:30(1時間)		7/19-8/31
クラフト体験	ネイチャム作り	飯森	9:00-15:30(30分)		7/19-8/31
クラフト体験	エコ箸作り	飯森	9:00-15:30(30分)		7/19-8/31
クラフト体験	ストラップ作り	飯森	9:00-16:00(1時間) ※雨天のみ		7/19-8/31
クラフト体験	簾(とう) 細工	飯森	9:00-16:00(1時間) ※雨天のみ		7/19-8/31
クラフト体験	マイボトル作り	飯森	9:00-16:00(1時間) ※雨天のみ		7/19-8/31
クラフト体験	ミニ新幹線	飯森	9:00-16:00		7/19-8/31
その他	乗馬	飯森	9:30-12:00/13:00-16:00		7/19-8/31
その他	テニス	飯森	8:30-17:00(1時間)		7/19-8/31
その他	マレットゴルフ	飯森	8:30-16:30(54ホール)		7/19-8/31
その他	グラウンドゴルフ	飯森	8:30-16:30(18ホール)		7/19-8/31
その他	アスレチック	飯森	8:30-16:30(18ホール)		7/19-8/31
その他	キッズプール	Hakuba47	9:00-16:00		7/12-8/31
そば打ち	そば打ち体験	八方	10:30-(90分)	2-40	通年?
そば打ち	そば打ち体験	八方	10:00-13:00(2時間)	最少催行2名	7/1-8/31
そば打ち	そば打ち道場	ゴンドラ山頂駅	11:00-(2時間)		7/12-8/31

表5-20 体験プログラム（一部、白馬村周辺も含む）

集計用分類	プログラム	フィールド	所要時間	定員	開催期間
トレッキング	トレッキング	白馬村内	1日	1-5名	4月中旬-11月中旬
トレッキング	★カモシカの散歩道	アルパイン(山頂)エリア	9:00-16:00		7/12-8/31
トレッキング	★お花畑	アルパイン(山頂)エリア	9:00-16:00		7/12-8/31
トレッキング	★あじさいの小径	アルパイン(山頂)エリア	9:00-16:00		7/12-8/31
トレッキング	ブナ林トレッキング	冒険の森中	1周15分		7/12-8/31
トレッキング	五竜アルプスネイチャーウォーク	五竜	9:30-(2.5時間)	2-最大15名	7/19-8/17
熱気球	熱気球(保留体験)	白馬ジャンプ競技場横気球会場	5:30~7:00(夏季繁忙期)、 6:00~7:00の間の約5分間	最少催行12名	4/26-11/30の日祝日、7/18-8/31の毎日
バーベキュー	白馬スタイルバーベキュー	飯森	10:00-15:00		7/19-8/31
ハイキング	ネイチャーウォーク半日	姫川源流	8:30-11:00	最少催行4名	
ハイキング	ハイキング半日	ゴンドラ山頂駅~	8:30-12:00	最少催行4名	
ハイキング	ハイキング1日	ゴンドラ山頂駅~	8:30-16:00	最少催行4名	
パラグライダー	パラグライダー半日体験	白馬五竜飯森ゲレンデ	9:00~12:00	最少催行4名	4/25-10/18午前のみ
パラグライダー	パラグライダー(タンデムフライト)	白馬五竜飯森ゲレンデ	①6:30~7:10、②7:00~7:40、 ③7:30~8:10、④8:00~8:40	最大4名	6/14-10/18
パラグライダー	パラグライダー(体験コース、半日)	白馬村内	半日		4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
パラグライダー	パラグライダー(タンデムフライト)	白馬村内			4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
パラグライダー	ふわっと浮遊体験	白馬五竜スキー場	15:00-(1~2時間)	5名	4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
パラグライダー	タンデムフライト アルプス平コース	アルプス平エリア (期間により木崎湖エリア)	8:30-14:00(1時間)		4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
パラグライダー	タンデムフライト 飯森コース	飯森エリア	7:00-16:00(30分)		4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
パラグライダー	ファミリープラン(ふわっと浮遊体験/子供)	白馬五竜スキー場	15:00-(1~2時間)	5名	4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
パラグライダー	ファミリープラン(タンデムフライト アルプス平コース/子供)	アルプス平エリア (期間により木崎湖エリア)	8:30-14:00(1時間)		4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
パラグライダー	ファミリープラン(タンデムフライト 飯森コース/子供)	飯森エリア	7:00-16:00(30分)		4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
パラグライダー	学生応援プラン(タンデムフライト 飯森コース)	飯森エリア	7:00-16:00(30分)		9月平日
パラグライダー	【夏季限定】タンデムフライト 飯森コースタ 組みプラン	飯森エリア	16:30-17:30		4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
パラグライダー	アルプス平セットコース(Aコース)	アルプス平エリア (期間により木崎湖エリア)	1日		4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
パラグライダー	アルプス平セットコース(Bコース)	アルプス平エリア (期間により木崎湖エリア)	1日		4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
パラグライダー	飯森セットコース(Aコース)	飯森エリア	1日		4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
パラグライダー	飯森セットコース(Bコース)	飯森エリア	1日		4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
パラグライダー	半日体験コース	白馬八方尾根 白馬八方尾根 (場合により生坂スカイスポーツ公園)	9:00-13:00-(2時間) 9:00-17:00(1時間)		4/20-5/10、5/23-11/3
パラグライダー	タンデムフライトコース	白馬八方尾根	9:00-17:00(1時間)		4/20-5/10、5/23-11/3
パラグライダー	タンデム+ミニ体験コース	白馬八方尾根	9:00-16:00(2時間)		4/20-5/10、5/23-11/3
パラグライダー	アルプス平コース	アルプス平エリア (期間により木崎湖エリア)	8:30-16:00(2時間)		4/25-11/3
パラグライダー	飯森コース	飯森エリア	7:00-16:00(30分)		4/25-11/3
パラグライダー	ふわっと浮遊体験コース	飯森エリア?	15:00-(2時間)		4/25-11/3(8/9-8/17は休)
パラグライダー	アルプス平セットコース	アルプス平エリア (期間により木崎湖エリア)	1日		4/25-11/3
パラグライダー	飯森セットコース	飯森エリア	1日		4/25-11/3
フィッシング	釣堀	Hakuba47	9:00-16:00		7/12-8/31
フィッシング	釣堀	飯森	9:00-16:00		7/19-8/31
マウンテンバイク	MTBファンライドツアー	白馬村内	①9:00-11:30、②13:00-15:30	最少催行2名	4月下旬-11月下旬
マウンテンバイク	MTBダウンヒルツアー	白馬村内(東山エリア)	①9:30-12:00、②14:00-16:30	最少催行4名	4月下旬-11月下旬
マウンテンバイク	MTBフリーライドツアー	白馬村内	12:30-15:30	最少催行2名	4月下旬-11月下旬
マウンテンバイク	コンボアクティビティー ライド&スライド	白馬村内	9:30-16:30	最少催行2名	4月下旬-10月中旬-5/1-10/20
マウンテンバイク	マウンテンバイク(半日)	白馬村内	半日		4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
マウンテンバイク	マウンテンバイク(1日)	白馬村内	1日		4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
マウンテンバイク	マウンテンバイク2時間体験コース	Hakuba47	9:00-16:00(2時間)		7/12-8/31
マウンテンバイク	47BIKE スキルアップパーク(2時間)	Hakuba47	9:00-16:00(2時間)		7/12-8/31
マウンテンバイク	47BIKE スキルアップパーク(1日)	Hakuba47	9:00-16:00		7/12-8/31
マウンテンバイク	ガイド付き マウンテンバイクツアー 一般プラン	Hakuba47	9:00-13:00-(3時間)	2-7名	7/12-8/31
マウンテンバイク	ガイド付き マウンテンバイクツアー ファミリープラン	Hakuba47	9:00-13:00-(3時間)	最少催行3名	7/12-8/31
ラフティング	犀川ラフティング半日体験コース	犀川(川の駅さざなみ)	①8:20~14:30、②12:00~17:45	最少催行4名	4/25-11/3
ラフティング	黒部川ラフティング1日ツアー	黒部川	8:00~17:00	最少催行4名	6/20-7/26
ラフティング	黒部川ラフティング半日ツアー	黒部川	9:30~15:00	最少催行4名	6/20-7/26
ラフティング	ラフトピクニック	青木湖	①9:30-12:00、②13:30-16:00	4-最大20名	7/12-10/18
ラフティング	ラフトピクニックわんわんプラン	青木湖	①9:30-12:00、②13:30-16:00	貸し切り (大人2+犬2)	7/11-8/7、8/17-10/12
ラフティング	白馬ラフティングツアー	姫川	①8:30-12:00、②11:00-14:30、 ③13:30-17:00	最少催行2名	7月、9月の土日祝、8月の毎日
ラフティング	白馬ラフティングツアー	姫川	①8:30-12:00、②13:30-17:00	最少催行2名	7月・9月の平日、4-6、10月の毎日
ラフティング	コンボアクティビティー ウェット&ワイルド	白馬村内	8:30-17:00	最少催行2名	4月下旬-10月中旬-5/1-10/20
ラフティング	ラフティング	白馬村内	2時間		4月中旬-11月中旬-5/1-11/20
ラフティング	白馬・姫川コース	姫川	4時間		4-10月

出所：各種パンフレット、各提供事業者のホームページ等から作成

4. 白馬村の観光情報、観光案内、観光案内サイン

ここでは、白馬村の観光に関する基本となる情報媒体や観光案内所について整理する。

1) 情報媒体

白馬村では、基礎的な情報媒体となり多くの人アクセスするパンフレット、マップ、ホームページ等は外国語での対応もなされている。主には日本語、英語の二つであり、外国人のニーズに応じた内容を扱う、日本語版のない英語での冊子等も発刊されている。



写真5-23 英語での冊子の一例

2) 観光案内所

白馬村内には、主な観光案内所として、白馬駅前観光案内所・北アルプス総合案内所、八方インフォメーション・センター等がある。外国語対応可能な人材が配置されていること、季節の客層に応じて、情報媒体の内容等が変えられている。



写真5-24 八方インフォメーションセンター(冬期)



写真5-25 白馬駅前観光案内所

3) 観光案内サイン・看板

主要な交通拠点や主要な施設には、観光案内サインが設置されている（白馬駅、道の駅等）。（施設内ではなく）公共空間にある観光案内サイン・看板には英語対応しているものも確認される。白馬村内の宿泊施設が集積する地区においては、集落の案内板が設置されていることが多い。それらは、廃業した宿泊施設を非表示にするためにメンテナンスは行われているようであるが、観光客が快適に旅行できる案内情報の充実が今後は一層求められる。



写真5-26 解説用



写真5-27 集落案内用

5. 観光関連組織、企業、人材

白馬村の観光を担う、あるいは支える組織、企業、人材について整理する。

(1) 白馬村村民

生産年齢人口の推移をみると、平成12年まで増加し続け、6,184人となるものの、その後、減少に転じ、平成22年には、5,900人となっている（観光との関わり方や関与度は村民によって様々である。また、観光の担い手は、必ずしも生産年齢人口に限定されない）。

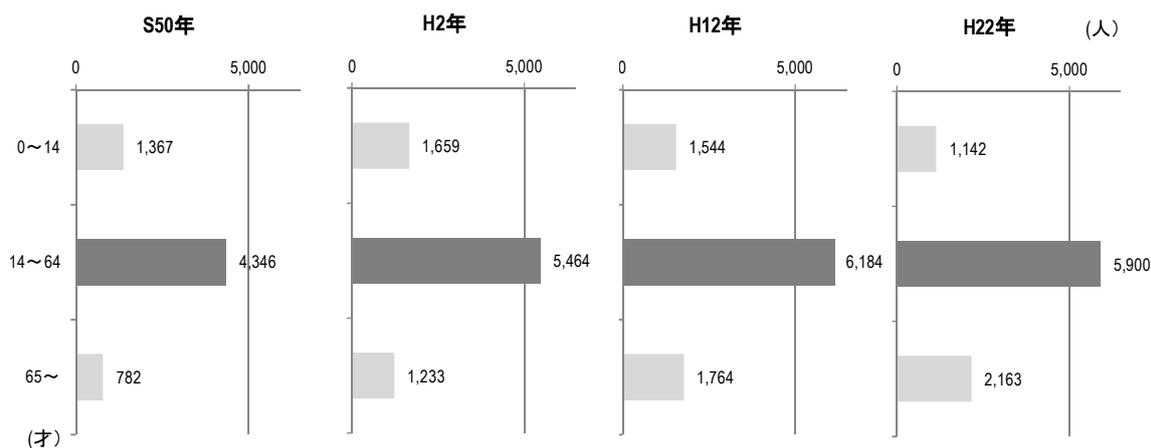


図5-8 生産年齢人口の推移と構成比

出所：「国勢調査」より作成

表5-21 生産年齢人口の推移と構成比

(人)

	S50年	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年
総数	6,495	7,919	8,356	8,906	9,492	9,500	9,205
0～14	1,367	1,680	1,659	1,588	1,544	1,374	1,142
構成比	21.0%	21.2%	19.9%	17.8%	16.3%	14.5%	12.4%
増減	1.00	1.23	1.21	1.16	1.13	1.01	0.84
14～64	4,346	5,219	5,464	5,835	6,184	6,095	5,900
構成比	66.9%	65.9%	65.4%	65.5%	65.1%	64.2%	64.1%
増減	1.00	1.20	1.26	1.34	1.42	1.40	1.36
65～	782	1,019	1,233	1,483	1,764	2,031	2,163
構成比	12.0%	12.9%	14.8%	16.7%	18.6%	21.4%	23.5%
増減	1.00	1.30	1.58	1.90	2.26	2.60	2.77

出所：「国勢調査」より作成

(2) 観光関連組織・団体・委員会

1) 白馬村内で活動する組織・団体・委員会

白馬村の中で活動する組織・団体・委員会として、ここでは①白馬村観光課、②白馬村議会産業経済委員会、③(一社)白馬村観光局、④各地区の観光協会、⑤その他組織等がある。ここでは、その概要を整理する。

① 白馬村観光課

白馬村観光課は、白馬村役場内にある11課のうちの一つであり、25係あるうちの1係である。体制は、図5-9の通りであり、課としては一課に留まるが、観光業が基幹産業である同村においては、多くの課が観光に間接的に関わっている。(観光課自体は、観光国際課、観光農政課を経て現在に至る。)

「白馬村課設置条例」によると、観光課の分掌事務は、「ア.観光の振興に関すること、イ.商工業に関すること、ウ.労働に関すること、エ.その他観光に関すること」とされている。

具体的な業務内容は、白馬村観光局設立に向けた役割分担の議論を受けて、観光政策、観光統計、山岳観光施設(登山道、山小屋、キャンプ場等)の維持管理、その他観光施設の管理、広域観光の行政側窓口(会議出席を含む)、商工関係業務である。イベントやプロモーション、情報媒体の作成は行っていない。一般職員数は86名、観光課の職員数は3名。

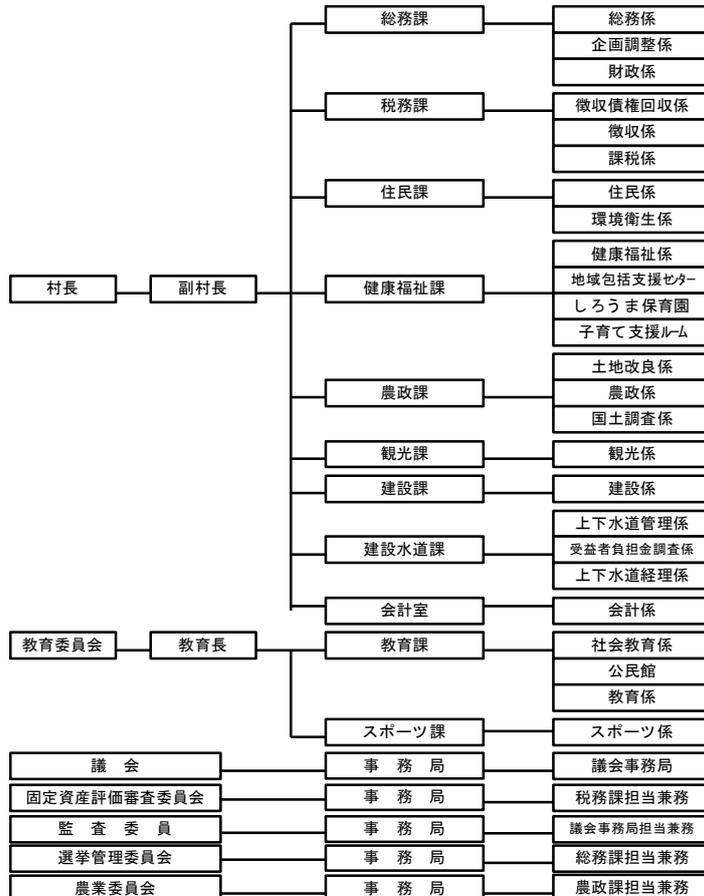


図5-9 白馬村行政機構の体制と観光課

出所:「白馬村村勢要覧統計資料2013」(白馬村)

② 白馬村議会産業経済委員会

白馬村議会には、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の三つが設置されている。常任委員会には、総務社会委員会と産業経済委員会があり、後者が観光を扱う。以前は、総務観光委員会が存在したが、現在は産業経済委員会が観光を扱い、平成18年から平成24年においては、年間4～9回ほど開催されている（表5-23）。定例議会は年4回、議員数は平成27年5月時点で12名。

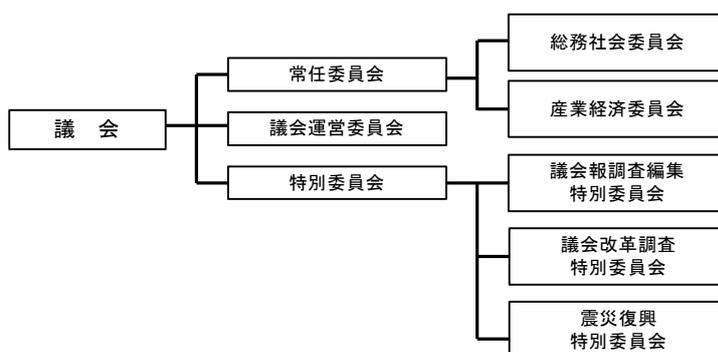


図5-10 白馬村の議会体制

出所：議会事務局「白馬村村勢要覧統計資料2013」（白馬村）

表2-22 産業経済委員会の開催状況

年	招集回数		会議 日数	提出 議案数	内 訳			請願陳情
	定例	臨時			村長提出	議員提出	専決報告	
15	4	4	16	89	59	16	14	26
16	4	1	13	81	56	15	10	14
17	4	2	15	105	78	14	13	13
18	4	2	15	136	109	17	10	25
19	4	1	14	101	79	16	6	21
20	4	1	14	86	55	20	11	20
21	4	3	18	97	63	17	17	18
22	4	3	19	75	50	11	14	11
23	4	2	18	83	60	15	8	15
24	4	2	18	89	66	13	10	19

出所：議会事務局「白馬村村勢要覧統計資料2013」（白馬村）

表5-23 産業経済委員会の開催状況

委員会名	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
総務社会委員会	7	6	7	7	6	4	4
産業経済委員会	6	9	7	6	7	4	4
社会文教委員会							
総務観光委員会							
建設産業委員会							
議会改革調査検討委員会	2	0					
議会報調査編集特別委員会	14	15	19	12	10	15	12
ごみ処理特別委員会				7	4	4	6

出所：議会事務局「白馬村村勢要覧統計資料2013」（白馬村）

③ (一社) 白馬村観光局

(一社) 白馬村観光局は、「白馬村観光推進本部」の機能を引き継ぎ、平成 16 年に設立された任意団体「白馬村観光局」を法人化したものである。

オリンピック開催後の観光産業の長期低迷状況を打開し観光再興を図るため、平成 12 年度から平成 13 年度にかけて、「白馬 21 観光振興対策会議」が開催された。今後の白馬の観光振興について検討を行い、ビジョンを作成。その後、平成 13 年 10 月に「白馬村観光推進本部」を立ち上げ、その後「白馬村観光連盟」と「白馬村観光推進本部」を一本化。「白馬村観光局」と名称を改め、平成 17 年 2 月には観光局を法人化、。有限責任中間法人を経て、現在「一般社団法人白馬村観光局」として事業を推進している。

表 5-24 白馬村の観光推進体制及び組織の変遷

年代	出来事
S30 年代	白馬村観光連盟設立
S44 年	白馬村旅館民宿組合設立
S62 年	上記組合が、白馬村旅館業組合に名称変更
H10 年 2 月	長野オリンピック (冬季) ジャンプ会場に
H12 年 1 月	白馬 21 観光振興対策会議開催
H13 年	白馬村旅館業組合解散、観光連盟に宿泊部会として吸収
H13 年 10 月	白馬村観光推進本部を設立、観光連盟という団体の整理、新しい組織の立ち上げに向けての準備を行う
H16 年 3 月	4 つの観光協会で構成していた観光連盟を発展的解消 (観光局と一体組織とするため)
H16 年 4 月	白馬村観光推進本部の機能を引き継ぎ「白馬村観光局」(任意団体) 設立
H17 年 2 月	旅行業登録、有限責任中間法人化
H21 年 5 月	一般社団法人化

出典：「白馬村総合計画」等の行政資料及び白馬村観光局資料より作成

同法人は、「白馬村と観光事業者 (白馬山系山小屋経営者、旅館業者、索道業者、運輸業者、商工業者、案内人組合、温泉関係者、金融関係者、農協、その他当法人の目的に賛同する者) が英知を結集し、白馬村の豊かな自然環境を生かしながら、多様化する観光志向に対応できる環境の整備、観光客の誘致、国際観光の推進を行うことにより、観光関連産業の振興を図り、もって地域経済の活性化に資すること」を目的としている。

具体的には、情報発信事業 (観光用便り発行、HP 管理・運営)、イベント企画・実施、イベントでの PR、広報・販売促進活動 (商談会参加、プレスリリース、パンフレット設置依頼等)、メディア取材対応、フィルムコミッション事業、広告出稿、パンフレット、ポスター等製作・配布、主催旅行、交通事業者等との旅行商品共同販促、メーカーとのタイアップ、インバウンドプロモーション、教育旅行誘致、オリンピック記念館指定管理などの業務を行っている。

組織体制は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 (平成 18 年法律第 48 号)」に基づき、社員総会を最高意思決定機関とし、理事会、事務局、7 つの専門委員会で構成され

る。人材については、事務局体制 13 名、正職員 5 名、自治体、民間企業等からの出向職員 5 名、臨時・契約職員 2 名、派遣職員 5 名、兼務職員 1 名で構成される。

加盟施設数は、平成 14 年は 766 件であったが、その後、毎年減少し、平成 24 年には 337 件。ここ 8 年で会員数は半減した。

なお、本計画の策定と並行して、(一社)白馬村観光局のあり方に関する検討が進められている。

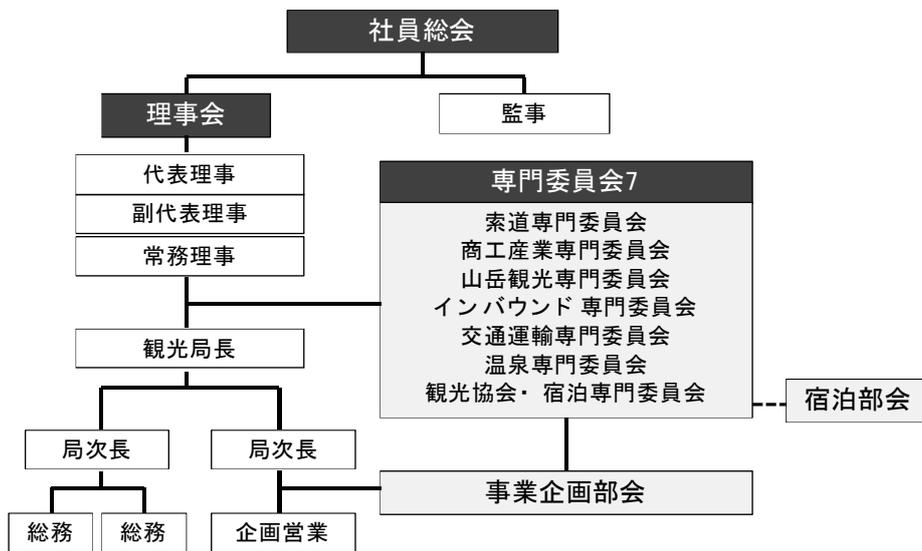


図 5-11 (一社)白馬村観光局の体制(平成 23 年 5 月 23 日時点)

出所：(一社)白馬村観光局資料をもとに作成

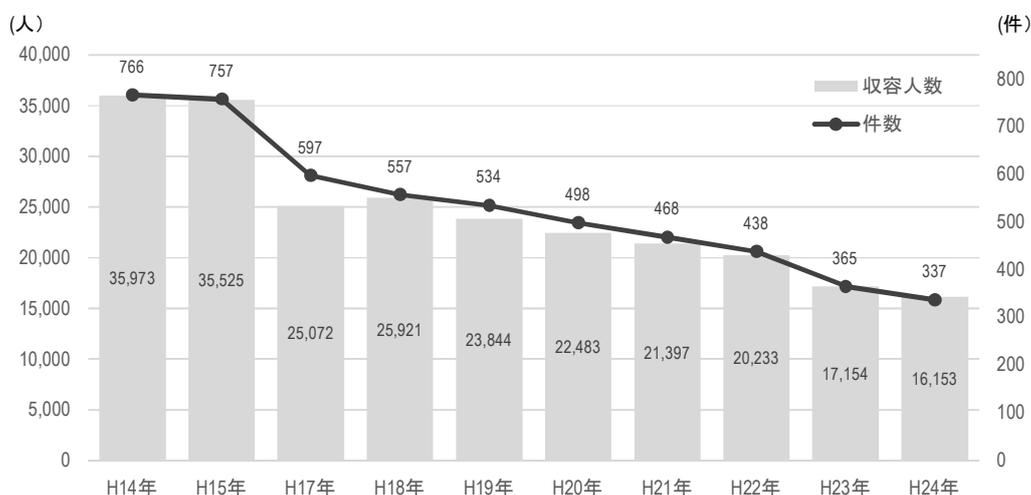


図 5-12 (一社)白馬村観光局の会員数の推移

出所：「白馬村村勢要覧統計資料」(2009、2013)(白馬村)

表 5-25 (一社)白馬村観光局の会員数の推移

年	H14年	H15年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
収容人数	35,973	35,525	25,072	25,921	23,844	22,483	21,397	20,233	17,154	16,153
件数	766	757	597	557	534	498	468	438	365	337

出所：「白馬村村勢要覧統計資料」(2009、2013)(白馬村)

④各地区の観光協会

白馬村内には、スキー場をベースに4つの観光協会が存在する。「白馬さのさか観光協会」「白馬五竜観光協会」「白馬八方尾根観光協会」「白馬岩岳観光協会」である。各地区の観光協会は、会員が高齢化等しており組織の存続が懸念されていたりもする。

表5-26 各地区の観光協会の概要（平成26年12月時点）

組織名	白馬さのさか 観光協会	白馬五竜 観光協会	白馬八方尾根 観光協会	白馬岩岳 観光協会
所在	神城 458-142	神城 22548 JR大糸線神城 駅構内	大字北城八方 5732-2	北城岩岳
会員数	21 会員	91 会員	268 会員	62 会員
HP	有（日本語）	有（日本語）	有（日本語・英 語）	有（日本語・英 語）

出所：各施設のホームページ及び関連資料より作成

⑤その他

白馬村には①～④の他、事業者等によって構成される組織として、「白馬村索道事業者協議会」「白馬商工会」「白馬五竜観光組合」「飯森旅館民宿組合」「東白馬旅館業組合」「白馬どんぐり村ペンション協同組合」や「白馬山案内人組合」などが存在する。

また、組織ではないものの、主要な施設（道の駅・山小屋・公園など）を運営する公営の「白馬村振興公社」や山荘を所有する「白馬館」、教育を行う機関として、スキー教室「白馬村スキークラブ」や「白馬高校国際観光科（平成28年4月に設置）」もある。その他、村内には、観光に関連する活動を行う団体やNPO法人等も存在する。

2) 白馬村と連携する組織、団体

白馬村や村内地区を構成員として含み連携して活動を行う組織、団体を整理する。白馬村を地理的に越えて連携する主要な組織は、以下の通りであり、エリアとして連携するものと、観光地としての類似性から地理的範囲を越えて連携するものがある。前者は、大町市、小谷村との連携であり、後者は、長野県、新潟県、宮城県、群馬県に跨るものである。

●北アルプス三市村ブランド観光連絡会

大町市、白馬村、小谷村の三市村では、30年以上前から「北アルプス三市村観光連絡会」を組織し、「塩の道祭り」など圏域北部における広域的な取り組みを進めている。事務局は、白馬村観光課が担っている。

●HAKUBA VALLEY (ハクバ・ヴァレー)

白馬村は、大町市、小谷村を加えた3市村で、当該地域の共通の名称として「HAKUBA VALLEY」を使用している。白馬村、大町市、小谷村の3市村にまたがる北アルプスの11スノーマウンテンリゾートエリアを表す新しい呼称で、各リゾートが「ひとつになる」ことで、国際的に通用する価値の創造や発信可能な新エリアの創造を目指したものである。更に、世界にアピールしていくためにロゴを公募、作成。平成26年2月公表以降、各種情報媒体等で使用。

●北アルプス三市村ブランド構築委員会

長野県が策定した「世界水準の山岳観光地を目指して」(内容は第1章参照)において、白馬村、大町市、小谷村の三市村は、直近5年でモデルとしての成果を出す重点支援3地域に指定されている。有識者、関係者による北アルプス三市村ブランド構築委員会が設置され、平成27年度までにブランド戦略を策定し、平成29年度までに実践に移すこととされている。

●Mt.6 (マウント・シックス)

白馬八方尾根、野沢温泉、草津、蔵王温泉、妙高高原、志賀高原(平成21年5月脱退)の各スキー場で連携する団体で、「リゾート文化の創造と継承」を掲げ、平成11年6月に結成された組織である。スキー場同士が互いに情報交換を行ないながら、より質の高いサービスを提供することを目指しており、表5-27の3つの約束を提示している。平成27年6月で団体は、結成16年を迎えた。

表5-27 3つの約束

NO.	約束の内容
1	日本を代表する山岳リゾートとしての誇りと自覚を持ち、訪れる人々の健康を願い、誰からも愛され、誰もが満足できる、充実したサービスを目指す。
2	それぞれの地に刻まれてきた歴史と伝統と文化を大切にしながら、つねに学び、つねに努力を重ね、互いに切磋琢磨しながら、21世紀に求められる個性と哲学のある山岳リゾートを目指す。
3	豊かな自然環境を守り、山岳リゾートが成し得る社会的貢献を実施し、スポーツ、レジャーの発展と地域経済活性化のためにリーダーシップを発揮することを目指す。

出所：マウントシックスホームページ

(3) 観光関連企業

白馬村の観光を担う事業所について、まずは白馬村全体の事業数の推移を把握した上で、宿泊業、飲食店の事業所数を把握する。

①事業所数

白馬村の事業所数は、昭和50年の842軒から平成3年には1,426軒となる。

第3次産業の事業所数は、昭和56年から昭和61年に大きく増加し、平成3年には1,299軒となる。平成3年以降は、減少が続き、平成18年には、第3次産業の事業所数は、平成13年の1,202軒から158軒減少した。

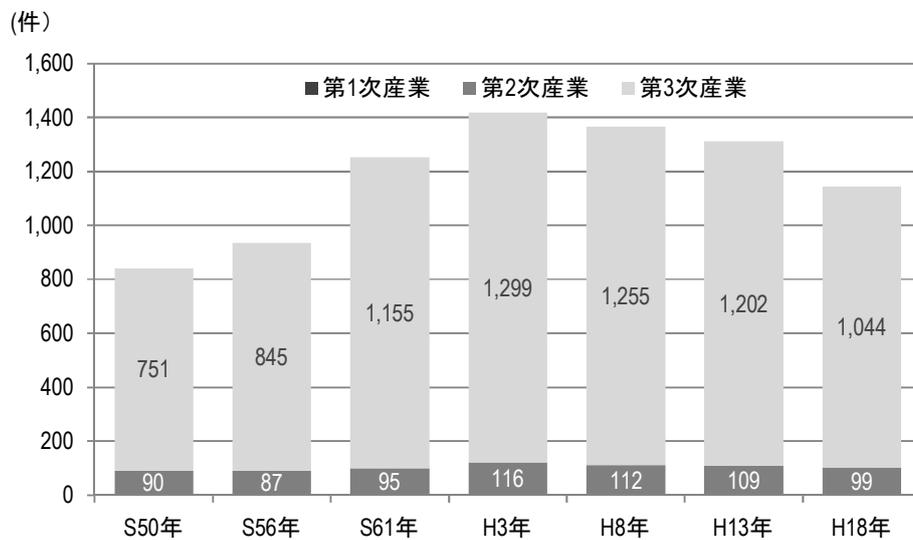


図5-13 白馬村の産業別事業所数の推移

出所：事業所・企業統計調査

表5-28 白馬村の産業別事業所数の推移 (軒)

年	事業所数	第1次産業	第2次産業	第3次産業	その他
S50年	842	1	90	751	0
S56年	941	4	87	845	5
S61年	1,261	4	95	1,155	7
H3年	1,426	4	116	1,299	7
H8年	1,367	0	112	1,255	0
H13年	1,311	0	109	1,202	0
H18年	1,145	2	99	1,044	0

出所：事業所・企業統計調査

②宿泊業、飲食店の事業所数（近年）

次に、近年における事業所数及び宿泊業、飲食店の事業所数の増減を把握する。

経済センサスによると、白馬村の全事業所数は、平成 24 年時点で 1,128 事業所数あり、平成 21 年に比べて 222 事業所減少している。

同様に、宿泊業、飲食店ともに事業数は平成 21 年に比べて減少している。宿泊業の事業所数は、平成 24 年時点で 672 軒であり、平成 21 年と比べて 111 軒減少している。飲食店の事業所数は、全事業所数の約 60%を占める宿泊業と比べて約 10%と少ないものの、平成 24 年時点で 109 軒であり、平成 22 年より 23 軒減少している。

なお、次頁のコラムで整理している通り、大都市圏を離れて一つの行政区域内に宿泊業の事業所が集中している地域は全国で稀である。村内の事業者は減少しつつあるが、一方で全国から見た同村の宿泊業の状況を考慮した上で、今後の対応を検討する必要がある。

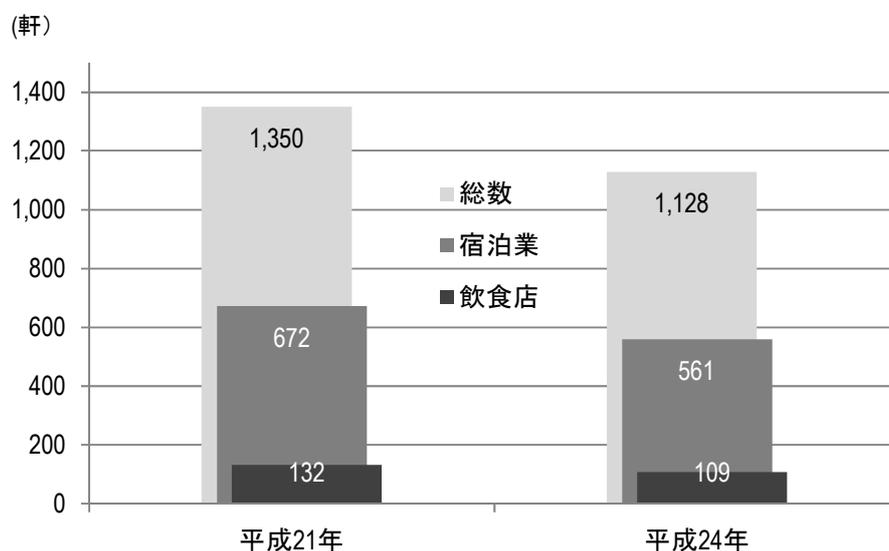


図 5-14 事業数（総数）と宿泊業、飲食店の事業数

出所：総務省「平成 21 年経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサス活動調査」

表 5-29 事業数（総数）と宿泊業、飲食店の事業数

	平成 21 年 a	(構成比)	平成 24 年 b	(構成比)	増減 b-a
総数	1,350	100.0%	1,128	100.0%	▲ 222
宿泊業、飲食サービス業	806	59.7%	671	59.5%	▲ 135
宿泊業	672	49.8%	561	49.7%	▲ 111
飲食店	132	9.8%	109	9.7%	▲ 23
持ち帰り配達飲食業	2	0.1%	1	0.1%	▲ 1

出所：総務省「平成 21 年経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサス活動調査」

コラム 白馬村の観光産業の特性～宿泊業に特化して～（企業数、事業所数）

白馬村の宿泊業の事業所数は、市区町村レベルでは、大阪府大阪市、京都府京都市に次ぐ全国「第3位」である（下図参照）。全国上位7位は、白馬村を除いて全て大都市である（8位は神奈川県箱根町、9位は静岡県伊東市、10位は東京都台東区）。都道府県レベルでは、長野県は宿泊業の事業所数が全国第1位である。また、白馬村の宿泊業の企業数は、市区町村レベルでは、全国「第1位」である。



図 宿泊業の事業所数順位（平成24年）

出所：地域経済分析システム（RESAS（リーサス））

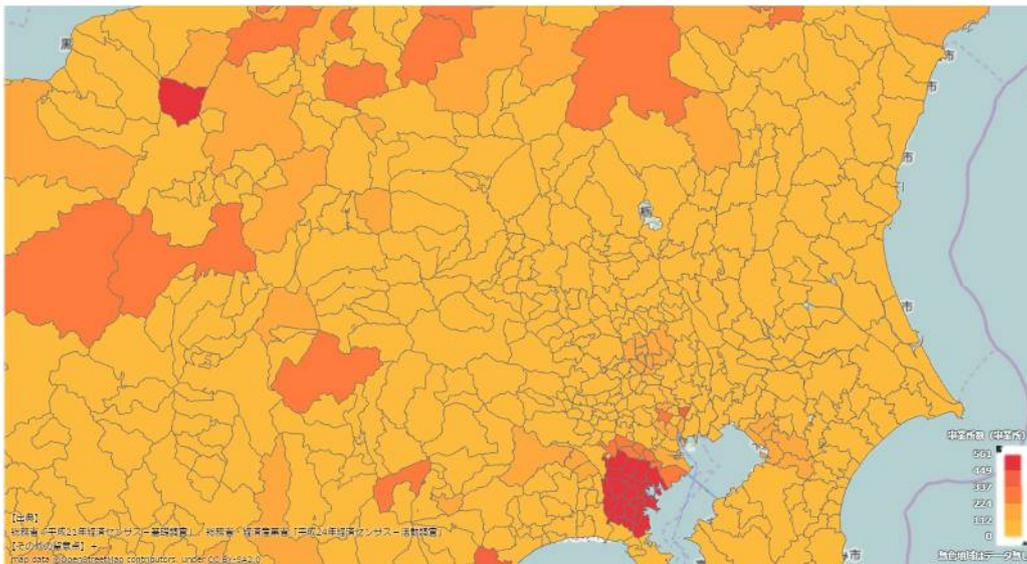


図 宿泊業の事業所数（平成24年）

出所：「地域経済分析システム（RESAS（リーサス）」）

(4) 観光人材

白馬村の観光産業を担う従業者について、まずは白馬村全体の従業者数の推移を把握した上で、宿泊業、飲食店の従業者数を把握する。

①従業者数

白馬村の従業者数は、昭和50年の3,775人から平成8年には7,224人となる。

第3次産業の事業所数は、従業者数総数のピークと同様に平成8年にピークを迎え、5,893人となる。その後の10年間で1,645人従業者が減少し、平成18年には4,258人となる。

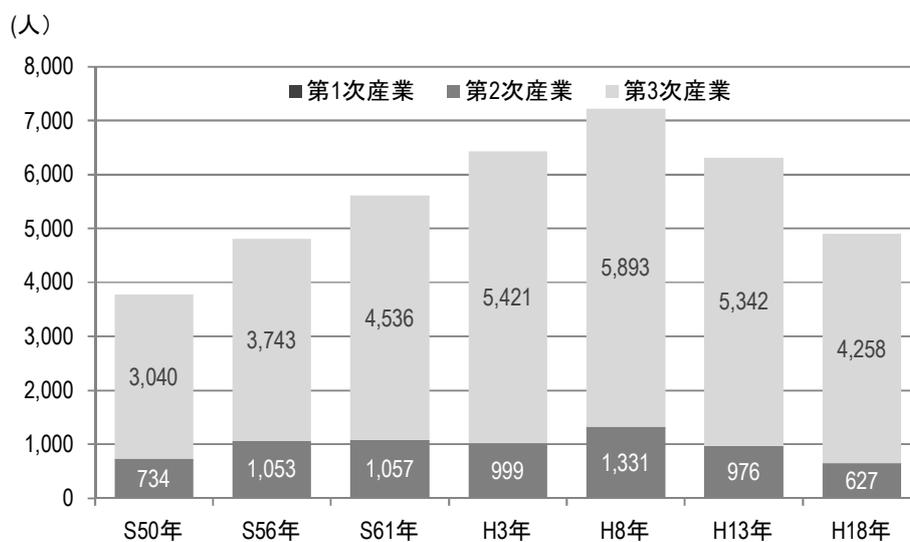


図5-15 白馬村の産業別従業者数の推移

出所：事業所・企業統計調査

表5-30 白馬村の産業別従業者数の推移

年	従業者数	第1次産業	第2次産業	第3次産業	その他
S50年	3,775	1	734	3,040	0
S56年	4,892	18	1,053	3,743	78
S61年	5,715	19	1,057	4,536	103
H3年	6,554	15	999	5,421	119
H8年	7,224	0	1,331	5,893	0
H13年	6,318	0	976	5,342	0
H18年	4,906	21	627	4,258	0

出所：事業所・企業統計調査

②宿泊業、飲食店の従業者数（近年）

次に、近年における従業者数及び宿泊業、飲食店の従業者数の増減を把握する。

経済センサスによると、白馬村の全従業者数は、平成 24 年時点で 5,992 人あり、平成 21 年に比べて 284 人減少している。

同様に、宿泊業、飲食店ともに従業者数は平成 21 年に比べて減少している。宿泊業の従業者数は、平成 24 年時点で 2,211 人であり、平成 21 年と比べて 222 人減少している。飲食店は、平成 24 年時点で 460 人であり、平成 22 年より 46 人減少している。

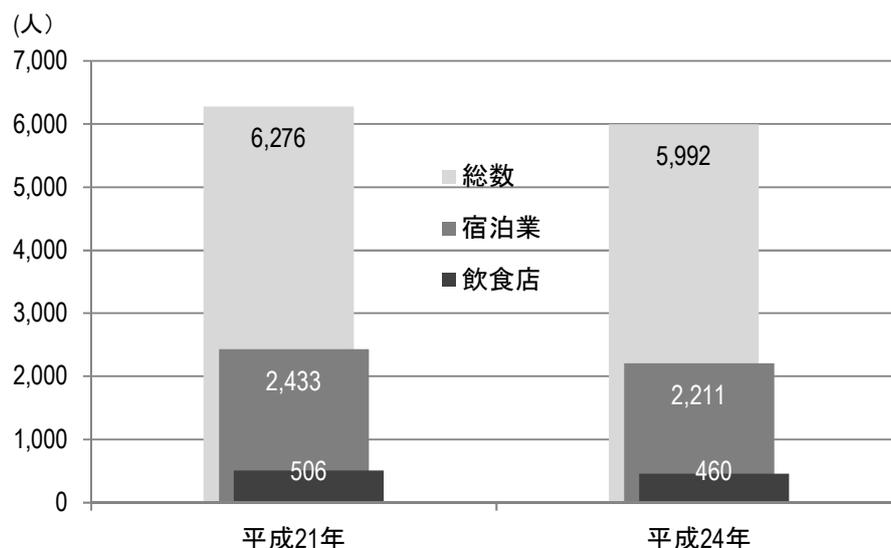


図 5-16 事業数（総数）と宿泊業、飲食店の従業者数

出所：総務省「平成 21 年経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサス活動調査」

表 5-31 事業数（総数）と宿泊業、飲食店の従業者数

	平成 21 年	(構成比)	平成 24 年	(構成比)	増減
総数	6,276	100.0%	5,992	100.0%	▲ 284
宿泊業、飲食サービス業	2,957	47.1%	2,690	44.9%	▲ 267
宿泊業	2,433	38.8%	2,211	36.9%	▲ 222
飲食店	506	8.1%	460	7.7%	▲ 46
持ち帰り配達飲食業	18	0.3%	19	0.3%	1

出所：総務省「平成 21 年経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサス活動調査」

③その他

●「白馬マイスター」制度

白馬村内のさまざまな分野で卓越した技術や知識を身につけた人たちが得意分野を活かし、白馬村観光局のプログラムやイベントに参加してもらう「白馬マイスター」を平成13年10月に導入。白馬村の楽しさを提供できる名人を登録し、旅行客の案内や引率に参加してもらう「白馬マスター制度」を誕生させた。ジャンルは、アウトドア系とカルチャー系に大別され、スキー・スノーボード・登山・トレッキング・ラフティングなどのアウトドア関連の名人と自然観察・ガーデニング・木彫り・切り絵・民俗・歴史など文化や趣味関連の名人に分けられる。

「白馬マイスター」を活用し、旅行会社に対して、白馬マイスターツアーとして「もうひとつの白馬の楽しみ方」をテーマに商品を提案している。

6. 観光関連財源

白馬村を観光地として捉え、経営活動を行うための財源を整理する。

(1) 白馬役場における商工観光費（予算）の推移

白馬村役場の当初予算額は、平成8年の約98億円をピークに減少し、平成17年には50億円を下回る。そして、平成17年以降も毎年減少している（平成27年は災害復旧費を含むため、ここでは平成26年までを対象とする）。

次に、平成24年から平成26年の白馬村の目的別歳出予算を見ると、観光商工費は2億1千万円ほどである。全予算額の4%ほどであり、年々減少傾向にある。

表5-32 白馬村役場の当初予算額の推移

(単位: 千円)				(単位: 千円)			
年度	当初予算額	歳入決算額	歳出決算額	年度	当初予算額	歳入決算額	歳出決算額
S31	20,714	21,215	21,178	H9	6,650,000	8,020,105	7,962,554
S40	111,430	134,320	133,600	H10	5,935,000	6,283,685	6,170,823
S50	910,000	1,015,395	1,009,680	H11	5,877,000	6,576,542	6,512,506
S55	2,067,500	2,244,339	2,243,167	H12	6,100,000	6,629,532	6,511,621
S60	2,816,000	2,940,407	2,860,660	H13	6,240,000	6,874,233	6,803,335
S61	2,975,000	3,417,776	3,370,027	H14	5,800,000	6,241,127	6,169,972
S62	2,770,000	3,173,471	3,098,153	H15	5,760,000	5,912,803	5,844,313
S63	2,911,000	3,434,342	3,303,659	H16	5,280,000	5,629,637	5,571,547
H元	3,383,000	3,873,335	3,827,268	H17	4,817,000	5,106,373	5,038,860
H2	3,666,000	4,441,297	4,384,655	H18	4,948,000	5,456,244	5,379,640
H3	3,910,000	4,536,981	4,475,564	H19	4,453,000	5,133,552	5,054,881
H4	4,950,000	5,840,400	4,788,140	H20	4,391,000	4,496,226	4,389,692
H5	7,080,000	7,314,230	7,218,190	H21	4,337,000	4,986,717	4,919,517
H6	6,660,000	6,855,044	6,764,348	H22	4,315,000	5,636,424	5,532,444
H7	7,850,000	9,524,425	9,439,671	H23	4,318,000	4,615,423	4,359,518
H8	9,750,000	11,270,684	11,179,980	H24	4,406,000	4,750,244	4,591,844

出所：白馬村ホームページ

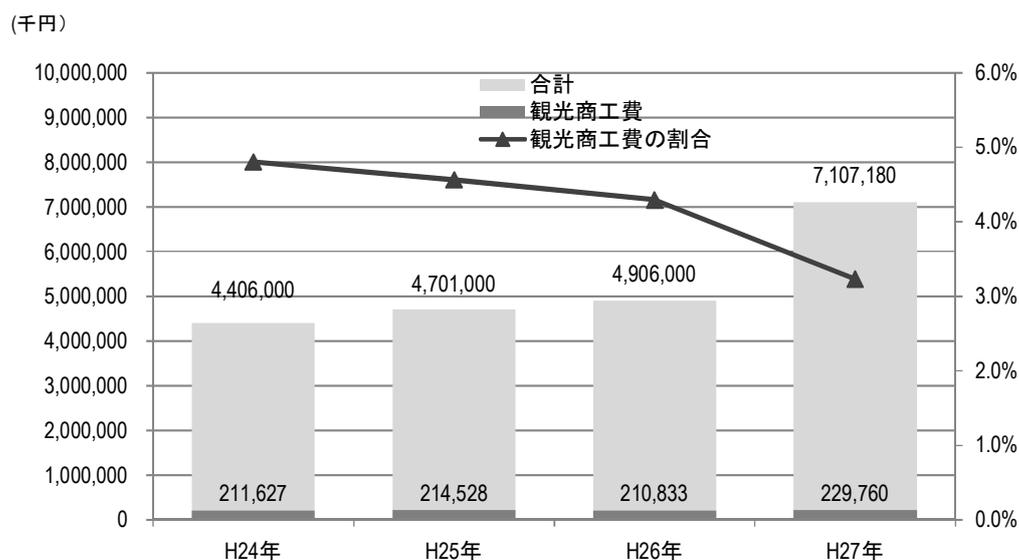


図5-17 白馬村の目的別歳出予算と商工観光費及びその割合

出所：白馬村予算資料より作成

表5-33 白馬村の目的別歳出予算とその割合

(千円、構成比)

年	H24年		H25年		H26年		H27年	
議会費	68,145	1.5%	78,227	1.7%	76,927	1.6%	84,222	1.2%
総務費	660,669	15.0%	695,505	14.8%	843,692	17.2%	851,311	12.0%
民生費	969,297	22.0%	1,042,447	22.2%	1,045,290	21.3%	1,139,940	16.0%
衛生費	419,638	9.5%	420,976	9.0%	439,594	9.0%	614,082	8.6%
農林業費	212,370	4.8%	347,576	7.4%	312,282	6.4%	614,082	8.6%
観光商工費	211,627	4.8%	214,528	4.6%	210,833	4.3%	229,760	3.2%
土木費	641,670	14.6%	767,575	16.3%	840,272	17.1%	660,203	9.3%
消防費	163,535	3.7%	170,185	3.6%	184,013	3.8%	232,137	3.3%
教育費	380,335	8.6%	331,011	7.0%	361,756	7.4%	353,341	5.0%
災害復旧費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1,680,810	23.6%
公債費	673,883	15.3%	627,891	13.4%	585,639	11.9%	628,914	8.8%
諸支出金	2,831	0.1%	3,079	0.1%	3,702	0.1%	16,378	0.2%
予備費	2,000	0.0%	2,000	0.0%	2,000	0.0%	2,000	0.0%
合計	4,406,000	100.0%	4,701,000	100.0%	4,906,000	100.0%	7,107,180	100.0%

出所：白馬村予算資料より作成

(2) (一社) 白馬村観光局の予算額の推移

白馬村観光の中核となる組織(一社)白馬村観光局の事業規模は、平成23年以降は1億2千万円前後である。

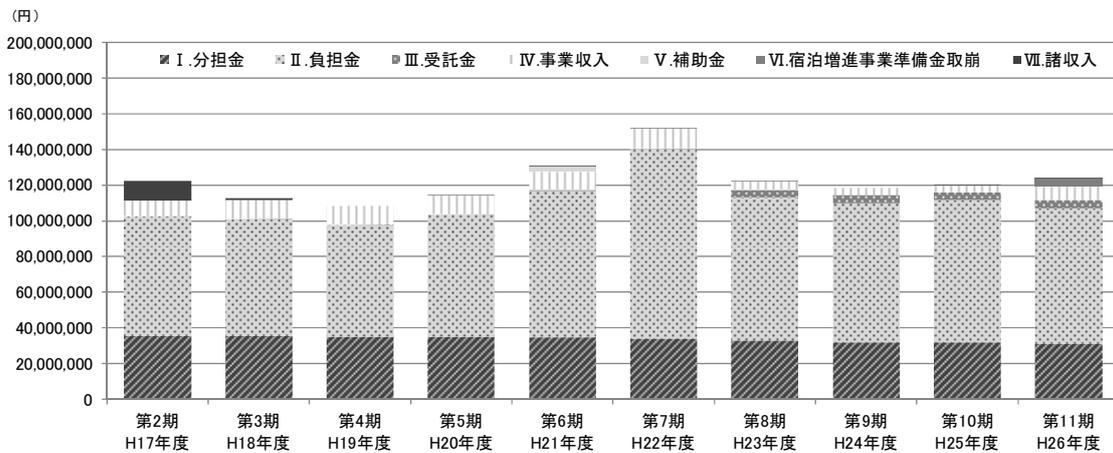


図5-18 (一社) 白馬村観光局の事業規模の推移

出所：(一社) 白馬村観光局総会資料

表5-34 (一社) 白馬村観光局の事業規模の推移

(単位：円)

科目	第2期 H17年度	第3期 H18年度	第4期 H19年度	第5期 H20年度	第6期 H21年度	第7期 H22年度	第8期 H23年度	第9期 H24年度	第10期 H25年度	第11期 H26年度
I. 分担金	35,209,050	35,200,000	35,000,000	35,000,000	34,500,000	34,000,000	33,000,000	32,000,000	32,000,000	31,000,000
II. 負担金	67,050,000	65,600,000	62,736,000	68,384,000	82,400,000	106,274,000	80,120,000	78,020,000	79,770,000	76,060,000
III. 受託金	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	4,350,000	4,350,000	4,175,000	4,600,000
IV. 事業収入	8,534,000	10,316,000	10,180,000	10,390,000	10,020,000	11,110,000	4,490,000	4,130,000	4,120,000	7,360,000
V. 補助金					3,296,000	0	0	0	0	0
VI. 宿泊増進事業準備金取崩									0	5,000,000
VII. 諸収入	10,921,690	1,084,000	14,000	126,000	284,000	116,000	320,000	80,000	75,000	60,000
計	122,214,740	112,700,000	108,430,000	114,400,000	131,000,000	152,000,000	122,280,000	118,580,000	120,140,000	124,080,000

(3) その他

観光に関する税としては、法定外目的税の入湯税がある。入湯税の税率は、白馬村税条例で定められており、入湯客1人1日について、150円(日帰りには50円)。税収に占める入湯税収の割合は、2%前後であり高くはないものの、入湯税収は、平成16年の20,599千円から平成24年には32,792千円と入湯税収は増加傾向にある。

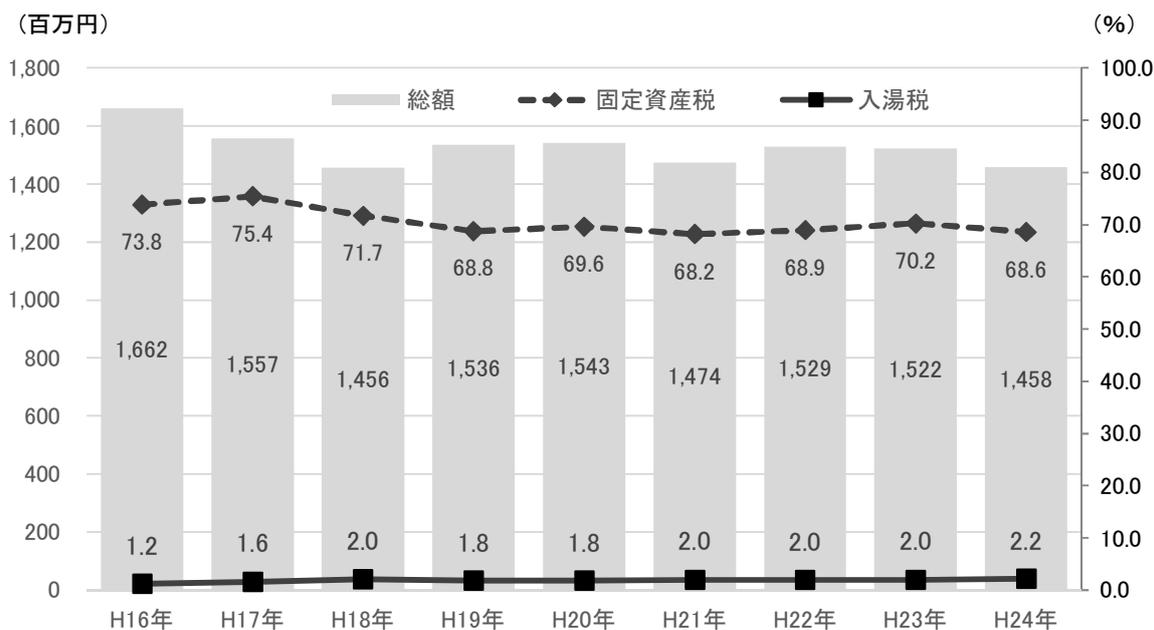


図5-19 村税収入及び入湯税収等の推移及び構成比

出所：「白馬村村勢要覧統計資料2013」(白馬村)

表5-35 村税収入の推移及び構成比

(百万円)

年	住民税	固定資産税	軽自動車税	村たばこ税	入湯税	特別土地保有税	総額
H16年	314 18.9%	1,227 73.8%	20 1.2%	79 4.8%	20 1.2%	0 0%	1,662 100.0%
H17年	261 16.8%	1,174 75.4%	21 1.3%	74 4.8%	25 1.6%	0 0%	1,557 100.0%
H18年	288 19.8%	1,044 71.7%	21 1.4%	72 4.9%	29 2.0%	0 0%	1,456 100.0%
H19年	360 23.4%	1,056 68.8%	21 1.4%	69 4.5%	28 1.8%	0 0%	1,536 100.0%
H20年	355 23.0%	1,074 69.6%	21 1.4%	63 4.1%	28 1.8%	0 0%	1,543 100.0%
H21年	358 24.3%	1,005 68.2%	22 1.5%	58 3.9%	29 2.0%	0 0%	1,474 100.0%
H22年	362 23.7%	1,054 68.9%	22 1.4%	59 3.9%	30 2.0%	0 0%	1,529 100.0%
H23年	334 21.9%	1,069 70.2%	23 1.5%	64 4.2%	30 2.0%	0 0%	1,522 100.0%
H24年	336 23.0%	1,000 68.6%	23 1.6%	65 4.5%	32 2.2%	0 0%	1,458 100.0%

出所：「白馬村村勢要覧統計資料2013」(白馬村)

第2節 白馬村の観光地経営の状況

1. 経営活動を行っていく上での基盤

ここでは、白馬村が観光地経営を行う上での基盤となる（1）経営状況を把握するためのデータ基盤と（2）経営活動を行う上でのルールを整理する。

（1）経営状況把握データ基盤の整備状況

白馬村の観光に関するデータとしては、観光客（需要側）に関するデータと地域（供給側）に関するデータがある。観光地経営を行う上では、どのようなデータが取得されているかをまず把握することが必要となる。そこで、公表されているデータで定期的に取り得られている指標を表5-37のように整理した。観光客数は目的別、施設別に推計されているが、観光客の属性や過ごし方、意識等を把握するデータは限定される。

これまでには、例えば、観光客満足度調査が実施されてきたが、時期が限定的であり、通年のデータはないこと、継続的、定期的なデータは取得されていない状態にあると言える（個別に実施されている施設は存在するが、村レベルの調査は限定）（平成19年、平成20年に有限責任法人白馬村観光局(当時)が外国人受入満足度アンケート調査を実施。平成22年には、観光庁の「観光地の魅力向上に向けた評価手法調査事業報告書」に協力、実施）。

表5-36 目的別観光客の定義

目的	目的別観光客の内容
登山	(山岳観光) ※山小屋利用者
スキー	(スキー場ごとのリフト券の発券枚数を合算した数値)
一般観光客	(年間の観光地利用者) - (登山) - (スキー)

表5-37 平成27年時点における白馬村の観光に関わるデータの現状（定期的なもの）

大分類	中分類	小分類	集約・公表先	内容
観光客数 (需要側)	目的別観光客数推計	登山	白馬村	
		スキー		
		学生村		
		一般観光客		
	山岳観光・平地観光	山岳観光	白馬村	
		平地観光		
	日本人観光客数	日帰り・宿泊 (実・延)	長野県	調査地点は二地点 (白馬山麓、白馬連峰)
	外国人観光客数	宿泊者数(延・年間)	白馬村	国籍別に把握
	居住地別観光客数	県内・県外	長野県	調査地点は二地点
	主要施設別観光客数		白馬村	7施設
スキー場別入込数	年間 月別	白馬村	6施設	
月別観光客数		長野県 白馬村	調査地点は二地点 宿泊者数(延)	
宿泊日数	外国人	白馬村	(日本人はなし)	
消費額・消費単価		長野県	調査地点は二地点	
観光産業・ 観光地域経済 (供給側)	宿泊施設	加盟施設数 収容人員	(一社)白馬村 観光局	業態別(旅館・民宿・ペンション、 ロッジ・ヒュッテホテル、 貸別荘、その他)
	宿泊業・飲食店	事業所数 従業員数	総務省・ 経済産業省	(一社)白馬村観光局会員以外 の事業者も捕捉 ただし、観光客利用のみの施設 とは限らない
観光関連組織 (供給側)	観光課	年度予算	白馬村	
	(一社)白馬村観光局	加盟施設数(再掲) 収容人員(再掲)	(一社)白馬村 観光局	

出所：「白馬村村勢要覧統計資料2013」（白馬村）、「長野県観光地利用統計調査結果」、「経済センサス」（総務省・経済産業省）より作成

(2) 観光地の経営活動を行う上での地域に関する法・条例・ルール

また、経営活動を行う上では、経営状況のみならず、活動に関連する法・条例・ルールを把握する必要がある。これらは時代に応じて改正等が想定されるため、ここでは概要のみを整理する。各事業を行う際には、その詳細を確認する必要があるため、それぞれの事業内容に応じて法・条例・ルールの詳細を参照することが求められる。

表5-38 地域での活動を行う上での法律（一部、成立年順）

名称（成立年）	観光資源と取り巻く環境の保存・活用に係る用語等	所管
屋外広告物法 （昭和24年）	・屋外広告物とは、常時又は一定の期間継続して、屋外で、公衆に表示されるものであって、看板、立看板、はり紙及びはり札並びに広告塔、広告板、建物その他の工作物等に掲出され、又は表示されたもの並びにこれらに類するもの ・屋外広告物法は、良好な景観の形成又は風致の維持、公衆に対する危害の防止を目的とする	国土交通省
文化財保護法 （昭和25年）	有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物（史跡、名勝、天然記念物）、文化的景観（2004-）、伝統的建造物群保存地区（1975-）、登録有形文化財制度（1996-建造物、2004-美術工芸品、有形民俗文化財、記念物）	文化庁
建築基準法 （昭和25年）	建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的	国土交通省
自然公園法 （昭和32年）	国立公園、国定公園、公園計画、特別地域、特別保護地区、海域公園地区、利用調整地区（2002-特別地域又は海域公園地区内のみ）、集団施設地区、生態系維持回復事業、風景地保護協定（2002-）、公園管理団体の指定（2002-）	環境省
都市計画法 （昭和43年）	市街化区域、市街化調整区域、準都市計画区域（2000-）、特別用途地区、特定用途制限地域（2000-非制限引き都市計画区域 or 準都市計画区域のみ）、景観地区、風致地区、高度地区、歴史的風土特別保存地区、伝統的建造物群保存地区、都市計画道路、地区計画	国土交通省
農業振興地域の整備に関する法律 （昭和44年）	・自然的経済的社会的諸条件を考慮して総合的に農業の振興を図ることが必要であると認められる地域について、その地域の整備に関し必要な施策を計画的に推進するための措置を講ずることにより、農業の健全な発展を図るとともに、国土資源の合理的な利用に寄与することを目的	農林水産省
絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 （平成5年）	国内／国際希少野生動植物種、緊急指定種、捕獲・譲渡し等の禁止・許可、生息地等保護区（国内国際希少野生動植物種について）、管理地区（生息地等保護区内）、立入制限地区（管理地区内）、監視地区（管理地区外）、保護増殖事業	環境省
農山漁村滞在型余暇活動のための基盤整備の促進に関する法律 （平成6年）	農村滞在型余暇活動に資するための機能の整備を促進するための措置等を講ずるとともに、農林漁業体験民宿業について登録制度を実施すること等を通じてその健全な発達を図ることにより、主として都市の住民が余暇を利用して農山漁村に滞在しつつ行う農林漁業の体験その他農林漁業に対する理解を深めるための活動のための基盤の整備を促進し、もってゆとりのある国民生活の確保と農山漁村地域の振興に寄与することを目的（略称：農山漁村余暇法）	農林水産省
景観法 （平成16年）	景観重要建造物、景観重要樹木、景観重要公共施設、景観農業振興地域整備計画、景観計画、景観計画区域、景観地区、準景観地区、景観協定、景観行政団体、景観協議会、景観整備機構	国土交通省
観光立国推進基本法 （平成18年）	第13条「観光資源の活用による地域の特性を生かした魅力ある観光地の形成を図るため、史跡、名勝、天然記念物等の文化財、歴史的風土、優れた自然の風景地、良好な景観、温泉その他文化、産業等に関する観光資源の保護、育成及び開発に必要な施策を講ずる」	観光庁
エコツーリズム推進法 （平成19年）	既存の自然保護制度では保全が難しい観光資源についても、「特定自然観光資源」として指定し「エコツーリズム推進全体構想」に位置付けることで、無秩序な利用や立ち入り等の規制が可能。	環境省、国土交通省、文部科学省、農林水産省
生物多様性基本法 （平成20年）	・保全に重点を置いた施策〔地域の生物多様性の保全・野生生物の種の多様性の保全等・外来生物等による被害の防止〕 ・持続可能な利用に重点を置いた施策〔国土及び自然資源の適切な利用等の推進・遺伝子など生物資源の適正な利用の推進・生物多様性に配慮した事業活動の促進〕	環境省

白馬村で制定されている方針、条例等として下記がある。

表5-39 経営活動内容に応じて適宜確認する必要がある計画

関連計画名称	内容	策定主体
国土利用計画(白馬村計画)(平成11年)	国土利用計画法の規定に基づき策定 「白馬村の区域について定める国土の利用に関する基本的事項についての計画」 平成17年を目標年次として定めたもので全国計画・長野県計画とともに国土利用計画の体系をなすもの 1. 村土の利用に関する基本構想、2. 村土の利用区分ごとの規模の目標及びその地域の概要、2で掲げる事項を達成するために必要な措置の概要が記載される	白馬村
白馬のまちづくりマスタープラン(平成15年)	白馬村の都市計画に関する基本方針を定めたもの 白馬のまちづくりの将来像、全体構想、地域づくり構想、展開の方策、実現化の推進等を定める 将来像は「人々が自然と共生するハートフル・エコシティ白馬」 概ね20年後の長期的視点(目標年次:平成32年度)で策定	白馬村
白馬都市計画(白馬村) 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(平成16年)	平成12年5月の都市計画法の改正を受けて、長野県は、都市計画区域マスタープランを策定するにあたり、「長野県都市計画ビジョン」と「圏域マスタープラン」を策定。この方針を踏まえて策定されたもの 都市計画の基本的な方向は、平成32年を目標年次とする 内容は、区域区部の決定の有無や区域区分の方針、主要な都市計画の決定方針(土地利用に関するもの、都市施設整備に関するもの、自然環境の整備または保全に関するもの)	長野県
長野県土地利用基本計画(平成22年)	国土利用計画(全国計画及び県計画)を基本として策定	長野県

出所:各計画をもとに作成

表5-40 白馬村の環境保全と開発の決まり

関連計画名称	内容
白馬村環境基本条例 平成11年12月24日条例 第25号 改正 平成20年3月19日条例第13号	目次 第1章 総則(第1条~第6条) 第2章 基本施策等(第7条~第19条) 第3章 開発の基準(第20条~第23条) 第4章 白馬村環境審議会(第24条~第31条) 第1条 この条例は、白馬村の環境の保全及び景観の形成について、基本理念を定め、村、村民及び事業者の責務を明らかにするとともに、環境の保全及び景観の形成に関する施策の基本となる事項を定めることにより、環境の保全及び景観の形成に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の村民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。
白馬村開発指導要綱 平成11年12月24日要綱 第18号 改正 平成19年8月30日要綱第19号	第1条 この要綱は、白馬村において開発事業を行う者(以下「事業者」という。)に対し、長野県自然環境保全条例(昭和46年長野県条例第35号)及び白馬村環境基本条例(平成11年白馬村条例第25号)に定めのあるもののほか、白馬村の存続基盤である優れた自然環境の保全を基調とした、自然との調和ある土地利用、快適なまちづくり及び美しい景観の形成を図るため、必要な事項を定めることを目的とする。

出所:「白馬村の環境保全と開発の決まり」

2. 観光客の実態及びその推移

(1) 目的別観光客数

白馬村では、目的別に観光客数を把握している。

観光客数（合計）は、平成4年の387万人をピークに減少傾向にある。平成21年には250万人を下回り、平成22年には、216万人まで減少。平成23年以降に微増したものの、依然として250万人を下回った状態にある。

目的別に見ると、スキーは、平成3年に279万人でピークを迎えた後、減少傾向にあり、平成25年には、102万人と最盛期に比べて170万人も少ない状況にある。オリンピック開催後も、スキー目的の観光客は減少し続けた。

一方、一般観光旅行は、平成9年まで徐々に増え続け、161万人となる。その後は、やや減少するものの、130万人前後を推移している。

登山は、昭和45年に19万でピークを迎え、その後は徐々に減少。平成18年以降は、4万人前後を推移している。

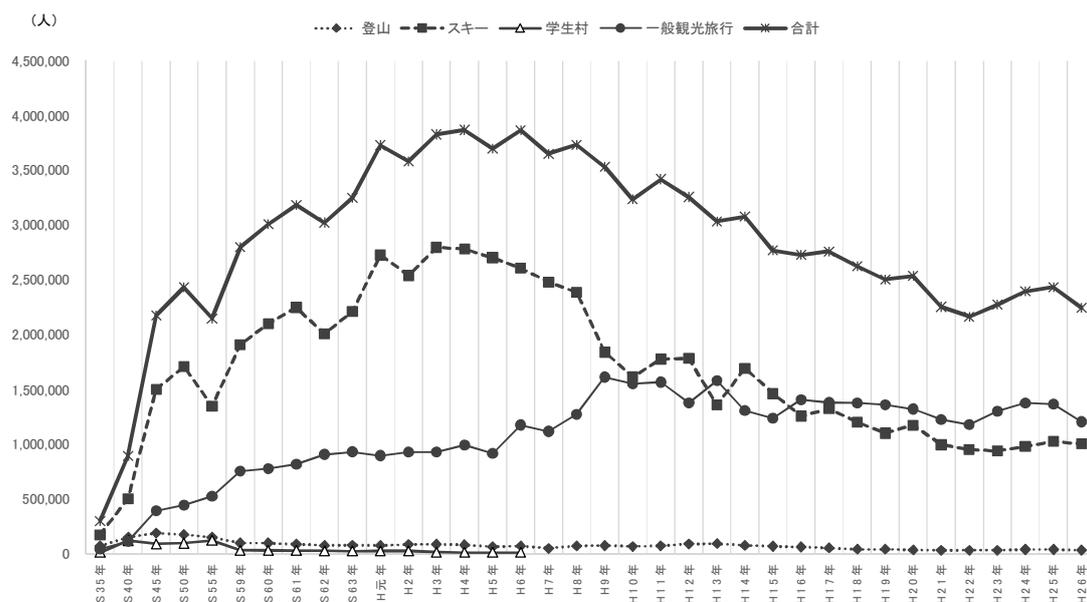


図5-20 目的別観光客数の推移

出所：白馬村

表5-41 目的別観光客数の推移

年	S35年	S40年	S45年	S50年	S55年	S59年	S60年
登山	71,600	151,700	190,600	177,000	151,000	100,000	99,000
スキー	174,800	506,000	1,502,000	1,711,200	1,348,000	1,910,000	2,100,000
学生村	11,900	122,400	91,400	99,300	125,000	33,000	31,000
一般観光旅行	43,500	115,600	393,700	445,800	526,000	757,000	779,000
合計	301,800	895,700	2,177,700	2,433,300	2,150,000	2,800,000	3,009,000
年	S61年	S62年	S63年	H元年	H2年	H3年	H4年
登山	87,100	78,900	80,000	78,000	86,000	87,000	81,600
スキー	2,250,000	2,007,500	2,211,000	2,729,000	2,542,200	2,798,000	2,784,500
学生村	30,000	28,800	25,400	25,700	25,700	15,800	13,200
一般観光旅行	818,500	909,800	932,500	897,600	929,800	930,100	992,100
合計	3,185,600	3,025,000	3,248,900	3,730,300	3,583,700	3,830,900	3,871,400
年	H5年	H6年	H7年	H8年	H9年	H10年	H11年
登山	66,400	71,700	51,900	73,500	76,400	68,200	74,400
スキー	2,705,400	2,609,200	2,482,600	2,386,700	1,842,900	1,616,200	1,777,700
学生村	12,600	11,500					
一般観光旅行	916,700	1,177,100	1,119,000	1,276,300	1,613,900	1,551,900	1,568,800
合計	3,701,100	3,869,500	3,653,500	3,736,500	3,533,200	3,236,300	3,420,900
年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年
登山	91,300	94,000	78,600	69,800	63,800	54,700	42,400
スキー	1,786,249	1,358,743	1,695,039	1,463,989	1,258,836	1,325,422	1,204,586
学生村							
一般観光旅行	1,380,851	1,582,957	1,306,961	1,238,411	1,408,164	1,382,378	1,379,114
合計	3,258,400	3,035,700	3,080,600	2,772,200	2,730,800	2,762,500	2,626,100
年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
登山	42,300	37,700	33,500	33,700	34,300	41,300	40,000
スキー	1,100,702	1,175,966	997,135	953,274	940,470	980,589	1,029,849
学生村							
一般観光旅行	1,362,598	1,323,334	1,225,665	1,179,526	1,301,530	1,376,711	1,365,681
合計	2,505,600	2,537,000	2,256,300	2,166,500	2,276,300	2,398,600	2,435,530
年	H26年						
登山	35,100						
スキー	1,005,196						
学生村							
一般観光旅行	1,205,304						
合計	2,245,600						

出所：白馬村

(2) 平地観光、山岳観光

白馬村の観光客数は、目的別とともに、平地と山岳、それぞれにおいて設定された幾つかの観光地点での利用者数を用いて、それぞれの観光客数が推計されている。

1) 平地観光

平地観光客の入り込み客数（合計）は、平成14年の300万人をピークに増減を繰り返しながら平成22年には213万人まで減少し、その後は230万前後を推移している。

月別に見ると8月が最も多く、2月、1月が続く。最も少ない月は、11月である。

8月は、平成16年に約66万人でピークを迎えた後、徐々に減少するが、平成22年から増加し平成24年に63万人で2番目に多い客数となる。しかし平成26年に50万人を下回り急激に減少する。1月は平成14年の46万人から徐々に減少し、平成17年には40万人を割り36万人となる。その後は33万人前後を推移している。2月は、平成20年までは40万人前後で、その後は30万人台を保つが、平成26年に27万人まで落ち込む。3月は、平成23年に17万人まで減少するが、その後、徐々に微増傾向にある。

月別の入り込み客数構成比は、全ての年で8月が一番高く、平成16～25年までは2月が2番目に高い（平成24年は1月も同率）が、平成26年は1月が15.2%で2番目に高い。

2) 山岳観光

山岳観光の入り込み客数（合計）は、平成14年の7万8千人をピークに減少し、平成21年には3万3千人まで落ち込んだ。その後、平成24年には4万1千人まで回復するが、徐々に減少している。

月別に見ると8月が最も多く、7月が次に多い。平成14年時点では、8月と他の月の入り込み客数は、大きく開きがあったものの、平成26年には、その差は小さくなっている。8月は、平成14年の4万1千人をピークに増減を繰り返しながら、平成26年には1万3千人まで落ち込んでいる。7月は、平成18年に5千8百人となり、前年の平成17年から1万2千人も減少した。平成20年には1万人を超えるが、その後は1万人を下回っている。9月は、全ての年で1万人を下回り、8千8百人の平成26年が一番多い。

月別の入り込み客数構成比は、全ての年で8月が一番高く、ほとんどの年で7月が2番目に高いが、平成21年と平成26年は9月が2番目に高い。

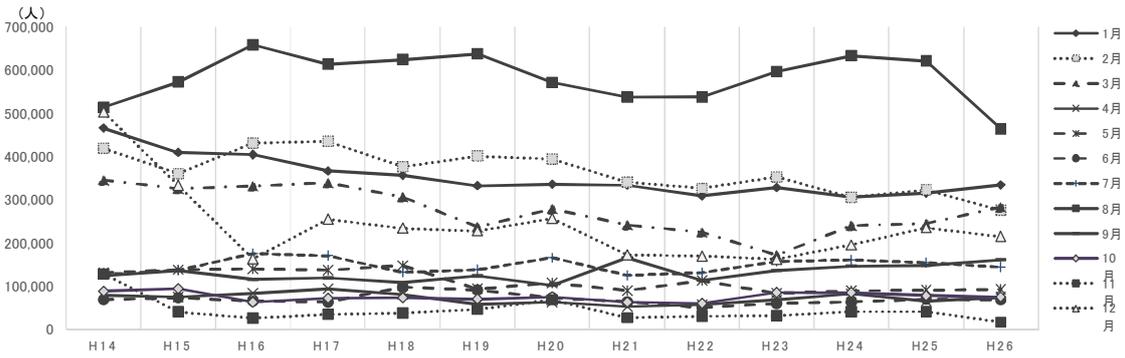


図5-21 平地観光の観光客入り込み客数

出所：白馬村

表5-42 平地観光の観光客入り込み客数

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1月	466,300	410,300	405,100	367,400	357,300	332,900	336,200	334,700	309,800	328,900	306,900	315,800	335,100
2月	419,400	361,400	431,800	435,800	377,200	401,400	394,600	341,200	327,300	353,500	306,200	323,600	276,300
3月	346,200	326,500	332,300	339,800	307,100	237,800	279,400	242,500	225,800	172,500	241,000	245,800	283,400
4月	79,100	75,300	83,700	94,000	81,400	58,500	64,100	53,900	58,000	68,700	82,900	65,900	75,200
5月	131,800	138,500	140,800	137,800	148,600	94,000	108,200	90,800	113,300	84,200	90,300	91,200	93,300
6月	69,700	73,700	66,200	64,000	98,600	91,600	73,600	64,300	51,400	60,500	64,400	70,700	68,700
7月	127,900	137,700	176,200	171,100	132,900	138,600	166,700	125,800	132,100	158,000	161,700	155,000	144,900
8月	514,300	572,900	659,800	614,200	624,700	638,400	571,900	538,100	538,600	596,700	633,600	621,900	464,600
9月	124,600	137,100	116,500	120,100	108,600	124,100	102,900	166,700	114,200	137,000	146,700	148,900	161,700
10月	89,500	94,600	64,100	72,700	74,300	70,700	75,300	64,000	60,800	86,300	85,300	79,030	74,900
11月	129,400	41,000	26,800	35,500	38,600	47,000	69,000	27,700	31,100	32,600	42,000	41,800	17,300
12月	503,800	333,400	163,700	255,400	234,400	228,300	257,400	173,100	170,400	163,100	196,300	235,900	215,100
合計	3,002,000	2,702,400	2,667,000	2,707,800	2,583,700	2,463,300	2,499,300	2,222,800	2,132,800	2,242,000	2,357,300	2,395,530	2,210,500
(増減率)													
1月	1.00	0.88	0.87	0.79	0.77	0.71	0.72	0.72	0.66	0.71	0.66	0.68	0.72
2月	1.00	0.86	1.03	1.04	0.90	0.96	0.94	0.81	0.78	0.84	0.73	0.77	0.66
3月	1.00	0.94	0.96	0.98	0.89	0.69	0.81	0.70	0.65	0.50	0.70	0.71	0.82
4月	1.00	0.95	1.06	1.19	1.03	0.74	0.81	0.68	0.73	0.87	1.05	0.83	0.95
5月	1.00	1.05	1.07	1.05	1.13	0.71	0.82	0.69	0.86	0.64	0.69	0.69	0.71
6月	1.00	1.06	0.95	0.92	1.41	1.31	1.06	0.92	0.74	0.87	0.92	1.01	0.99
7月	1.00	1.08	1.38	1.34	1.04	1.08	1.30	0.98	1.03	1.24	1.26	1.21	1.13
8月	1.00	1.11	1.28	1.19	1.21	1.24	1.11	1.05	1.05	1.16	1.23	1.21	0.90
9月	1.00	1.10	0.93	0.96	0.87	1.00	0.83	1.34	0.92	1.10	1.18	1.20	1.30
10月	1.00	1.06	0.72	0.81	0.83	0.79	0.84	0.72	0.68	0.96	0.95	0.88	0.84
11月	1.00	0.32	0.21	0.27	0.30	0.36	0.53	0.21	0.24	0.25	0.32	0.32	0.13
12月	1.00	0.66	0.32	0.51	0.47	0.45	0.51	0.34	0.34	0.32	0.39	0.47	0.43
合計	1.00	0.90	0.89	0.90	0.86	0.82	0.83	0.74	0.71	0.75	0.79	0.80	0.74
(構成比)													
1月	15.5%	15.2%	15.2%	13.6%	13.8%	13.5%	13.5%	15.1%	14.5%	14.7%	13.0%	13.2%	15.2%
2月	14.0%	13.4%	16.2%	16.1%	14.6%	16.3%	15.8%	15.4%	15.3%	15.8%	13.0%	13.5%	12.5%
3月	11.5%	12.1%	12.5%	12.5%	11.9%	9.7%	11.2%	10.9%	10.6%	7.7%	10.2%	10.3%	12.8%
4月	2.6%	2.8%	3.1%	3.5%	3.2%	2.4%	2.6%	2.4%	2.7%	3.1%	3.5%	2.8%	3.4%
5月	4.4%	5.1%	5.3%	5.1%	5.8%	3.8%	4.3%	4.1%	5.3%	3.8%	3.8%	3.8%	4.2%
6月	2.3%	2.7%	2.5%	2.4%	3.8%	3.7%	2.9%	2.9%	2.4%	2.7%	2.7%	3.0%	3.1%
7月	4.3%	5.1%	6.6%	6.3%	5.1%	5.6%	6.7%	5.7%	6.2%	7.0%	6.9%	6.5%	6.6%
8月	17.1%	21.2%	24.7%	22.7%	24.2%	25.9%	22.9%	24.2%	25.3%	26.6%	26.9%	26.0%	21.0%
9月	4.2%	5.1%	4.4%	4.4%	4.2%	5.0%	4.1%	7.5%	5.4%	6.1%	6.2%	6.2%	7.3%
10月	3.0%	3.5%	2.4%	2.7%	2.9%	2.9%	3.0%	2.9%	2.9%	3.8%	3.6%	3.3%	3.4%
11月	4.3%	1.5%	1.0%	1.3%	1.5%	1.9%	2.8%	1.2%	1.5%	1.8%	1.8%	1.7%	0.8%
12月	16.8%	12.3%	6.1%	9.4%	9.1%	9.3%	10.3%	7.8%	8.0%	7.3%	8.3%	9.8%	9.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

出所：白馬村

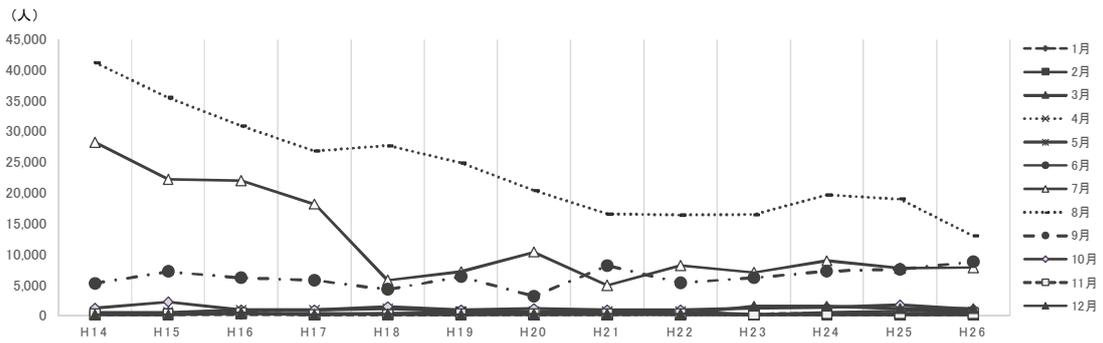


図5-22 山岳観光の観光客入り込み客数

出所：白馬村

表5-43 山岳観光の観光客入り込み客数

(人)	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1月	200	200	200	200	200	200	200	200	200	400	200	200	200
2月	200	200	400	200	400	600	200	200	200	200	200	200	200
3月	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	200	600	1,000
4月	300	300	300	300	200	200	200	200	200	200	200	400	500
5月	600	600	1,000	1,000	1,200	700	700	700	700	700	300	300	600
6月	400	400	400	400	200	200	200	400	200	200	200	200	200
7月	28,200	22,200	22,000	18,200	5,800	7,200	10,400	5,000	8,200	7,100	9,000	7,800	7,900
8月	41,200	35,500	30,900	26,800	27,700	24,900	20,400	16,600	16,400	16,500	19,700	19,000	13,000
9月	5,300	7,200	6,200	5,800	4,300	6,400	3,200	8,200	5,400	6,200	7,300	7,600	8,800
10月	1,300	2,300	1,000	1,000	1,500	1,000	1,200	1,000	1,000	1,300	1,400	1,800	1,100
11月	300	300	500	200	200	300	300	300	300	300	400	400	400
12月	200	200	500	200	300	200	300	300	300	1,600	1,600	1,200	1,200
合計	78,600	69,800	63,800	54,700	42,400	42,300	37,700	33,500	33,700	34,300	41,300	40,000	35,100
(増減率)	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1月	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	1.00
2月	1.00	1.00	2.00	1.00	2.00	3.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
3月	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.50	1.50	2.00
4月	1.00	1.00	1.00	1.00	0.67	0.67	0.67	0.67	0.67	0.67	0.67	1.33	1.67
5月	1.00	1.00	1.67	1.67	2.00	1.17	1.17	1.17	1.17	0.50	0.50	0.67	1.00
6月	1.00	1.00	1.00	1.00	0.50	0.50	0.50	1.00	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
7月	1.00	0.79	0.78	0.65	0.21	0.26	0.37	0.18	0.29	0.25	0.32	0.28	0.28
8月	1.00	0.86	0.75	0.65	0.67	0.60	0.50	0.40	0.40	0.40	0.48	0.46	0.32
9月	1.00	1.36	1.17	1.09	0.81	1.21	0.60	1.55	1.02	1.17	1.38	1.43	1.66
10月	1.00	1.77	0.77	0.77	1.15	0.77	0.92	0.77	0.77	1.00	1.08	1.38	0.85
11月	1.00	1.00	1.67	0.67	0.67	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.33	1.33	1.33
12月	1.00	1.00	2.50	1.00	1.50	1.00	1.50	1.50	1.50	8.00	8.00	6.00	6.00
合計	1.00	0.89	0.81	0.70	0.54	0.54	0.48	0.43	0.43	0.44	0.53	0.51	0.45
(構成比)	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1月	0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.5%	0.5%	0.5%	0.6%	1.2%	0.6%	0.5%	0.5%	0.6%
2月	0.3%	0.3%	0.6%	0.4%	0.9%	1.4%	0.5%	0.6%	0.6%	0.6%	0.5%	0.5%	0.6%
3月	0.5%	0.6%	0.6%	0.7%	0.9%	0.9%	1.1%	1.2%	1.2%	0.6%	1.5%	2.0%	2.8%
4月	0.4%	0.4%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.6%	0.6%	0.6%	1.0%	1.0%	1.4%
5月	0.8%	0.9%	1.6%	1.8%	2.8%	1.7%	1.9%	2.1%	2.1%	0.9%	0.7%	1.0%	1.7%
6月	0.5%	0.6%	0.6%	0.7%	0.5%	0.5%	0.5%	1.2%	0.6%	0.6%	0.5%	0.5%	0.6%
7月	35.9%	31.8%	34.5%	33.3%	13.7%	17.0%	27.6%	14.9%	24.3%	20.7%	21.8%	19.5%	22.5%
8月	52.4%	50.9%	48.4%	49.0%	65.3%	58.9%	54.1%	49.6%	48.7%	48.1%	47.7%	47.5%	37.0%
9月	6.7%	10.3%	9.7%	10.6%	10.1%	15.1%	8.5%	24.5%	16.0%	18.1%	17.7%	19.0%	25.1%
10月	1.7%	3.3%	1.6%	1.8%	3.5%	2.4%	3.2%	3.0%	3.0%	3.8%	3.4%	4.5%	3.1%
11月	0.4%	0.4%	0.8%	0.4%	0.5%	0.7%	0.8%	0.9%	0.9%	0.9%	1.0%	1.0%	1.1%
12月	0.3%	0.3%	0.8%	0.4%	0.7%	0.5%	0.8%	0.9%	0.9%	4.7%	3.9%	3.0%	3.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

出所：白馬村

(3) 旅行形態別観光客数（宿泊、日帰り）（5年ごと）

長野県の調査（白馬村の二地点「白馬山麓」「白馬連峰」）によると、白馬村の観光地利用者の旅行形態は、昭和60年は、日帰りの占める割合は8.8%であったが、その後、増加し続け、平成26年には26.9%を占めるようになる。

日帰り客数は、平成26年は昭和60年の2.28倍であるのに対して、宿泊客数は、0.60倍である。日帰り客が増加し、宿泊客が減少したことにより、日帰りの占める割合が大きく増加したと言える。

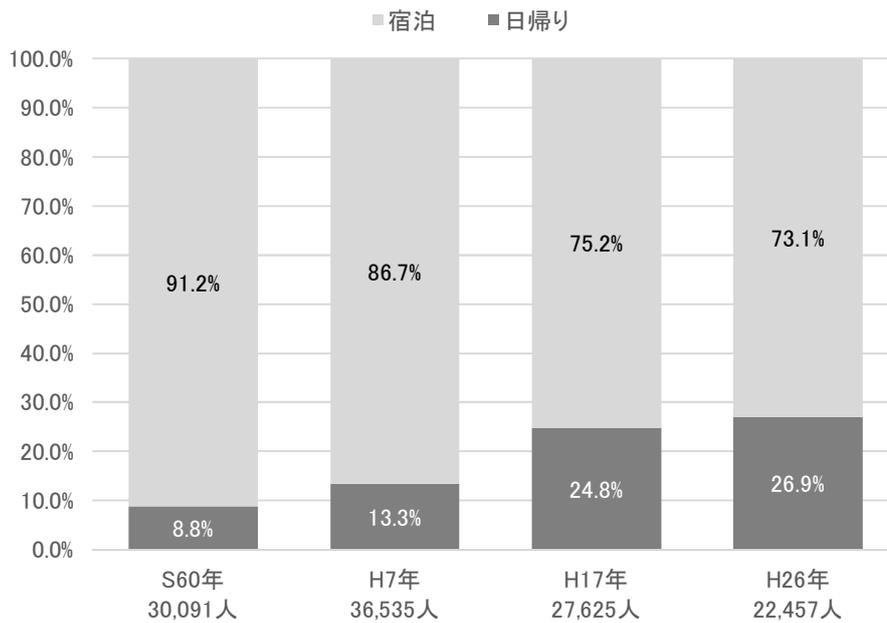


図5-23 宿泊、日帰りの構成比の推移

出所：「観光地利用者統計調査結果」（長野県観光部観光企画課）

（注）上記観光統計での白馬村の観光地点は、「白馬山麓」と「白馬連峰」である。以下、同様。

表5-44 宿泊、日帰りの構成比の推移

（人、%）

	日帰り	（構成比）	（増減）	宿泊	（構成比）	（増減）	合計
S60年	2,651	8.8%	1.00	27,440	91.2%	1.00	30,091
H7年	4,871	13.3%	1.84	31,664	86.7%	1.15	36,535
H17年	6,860	24.8%	2.59	20,765	75.2%	0.76	27,625
H26年	6,050	26.9%	2.28	16,407	73.1%	0.60	22,457

出所：「観光地利用者統計調査結果」（長野県観光部観光企画課）

(4) 滞在時間・滞在日数（日帰り・宿泊）

日帰り客の白馬村での滞在時間は、3時間から5時間の人が多い。宿泊日数は、半数が1泊、3割弱が2泊である。

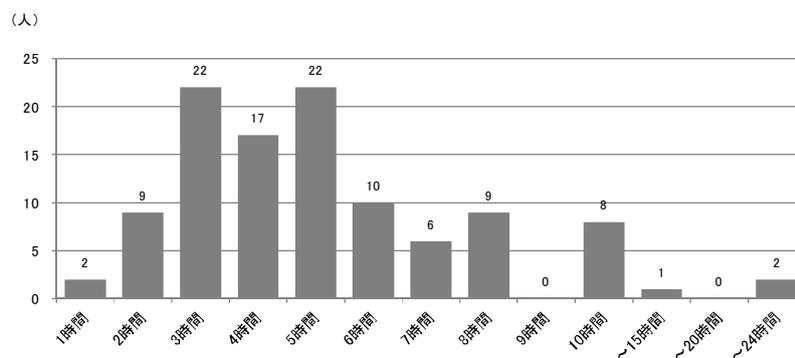


図5-24 滞在時間の分布

出所：白馬村「市場・観光客に関する調査」（平成27年）

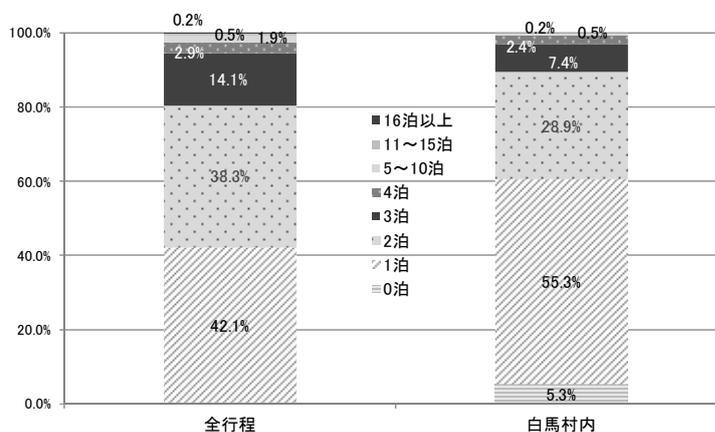


図5-25 宿泊日数

出所：白馬村「市場・観光客に関する調査」（平成27年）

表5-45 滞在時間の分布 表5-46 宿泊日数

時間	人数	構成比	全行程	白馬村内	全行程	白馬村内
1時間	2	1.9%	0	22	0.0%	5.3%
2時間	9	8.3%	176	231	42.1%	55.3%
3時間	22	20.4%	160	121	38.3%	28.9%
4時間	17	15.7%	59	31	14.1%	7.4%
5時間	22	20.4%	12	10	2.9%	2.4%
6時間	10	9.3%	8	2	1.9%	0.5%
7時間	6	5.6%	2	1	0.5%	0.2%
8時間	9	8.3%	1	0	0.2%	0.0%
9時間	0	0.0%	0	0	0.0%	0.0%
10時間	8	7.4%	0	0	0.0%	0.0%
~15時間	1	0.9%	0	0	0.0%	0.0%
~20時間	0	0.0%	0	0	0.0%	0.0%
~24時間	2	1.9%	0	0	0.0%	0.0%
合計	108	100.0%	418	418	100.0%	100.0%

出所：白馬村「市場・観光客に関する調査」（平成27年）

(5) 観光客の居住地（県内、県外）（5年ごと）

白馬村の観光地利用者の居住地は、昭和60年は、県内の占める割合は21.3%であったが、その後、増加し続け、平成26年に38.5%を占めるようになる。

県内居住の観光客は、平成17年まで増加傾向にあったものの、平成26年には減少している。県外は、昭和60年から平成7年は増加したものの、平成17年に減少に転じる。

県内、県外の構成比は、5年ごとに見ると日帰りが増加している。平成7年においては、日帰り、宿泊ともに増加しているが、日帰りの伸びが大きかったことから、全体としての日帰りの構成比が大きくなっている。

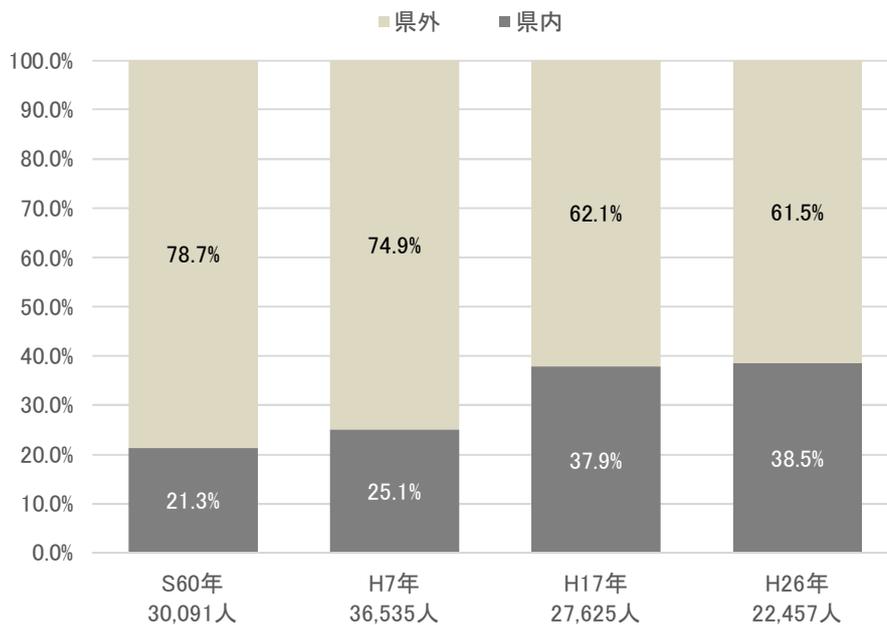


図5-26 県内、県外の構成比の推移

出所：「観光地利用者統計調査結果」（長野県観光部観光企画課）

表5-47 県内、県外の構成比の推移

(人、%)

年	県内			県外			合計
	人数	(構成比)	(増減)	人数	(構成比)	(増減)	
S60年	6,417	21.3%	1.00	23,674	78.7%	1.00	30,091
H7年	9,179	25.1%	1.43	27,356	74.9%	1.16	36,535
H17年	10,464	37.9%	1.63	17,161	62.1%	0.72	27,625
H26年	8,640	38.5%	1.35	13,817	61.5%	0.58	22,457

出所：「観光地利用者統計調査結果」（長野県観光部観光企画課）

(6) 認知度、来訪経験 (地方別)

地方別の「認知度」、「来訪経験」をみると、「認知度」はいずれの地方においても、8割ほどあり、関東地方、中部地方、近畿地方においては、9割近くとなり、他地方よりやや高くなる。

次に、来訪経験を見ると、関東地方、中部地方、近畿地方は6割を超えるのに対して、他地方は4割以下である。過去二年以内に限ってみると、関東地方、中部地方、近畿地方は5割を超える。

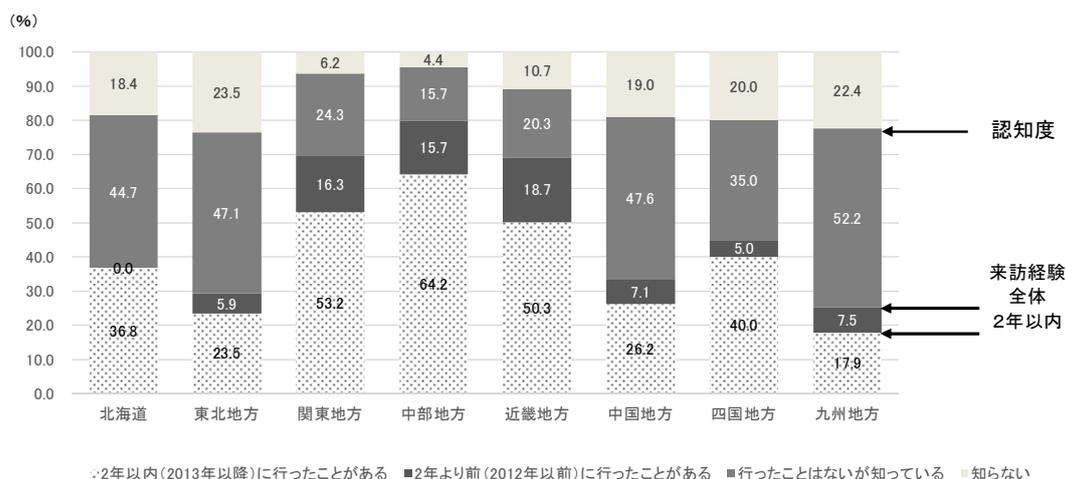


図5-27 地方別の白馬村への来訪経験及び認知度

出所：白馬村「市場・観光客に関する調査」(平成27年)

(注) 白馬村に2年以内に来たことがある人のみの回答である。また、四国については、サンプル数が少ないので取扱に留意が必要

表5-48 地方別の白馬村への来訪経験及び認知度

		2年以内(2013年以降)に行ったことがある	2年より前(2012年以前)に行ったことがある	行ったことはないが知っている	知らない	合計
		n	n	n	n	n
北海道	n	14	0	17	7	38
	%	36.8	0.0	44.7	18.4	100.0
東北地方	n	8	2	16	8	34
	%	23.5	5.9	47.1	23.5	100.0
関東地方	n	232	71	106	27	436
	%	53.2	16.3	24.3	6.2	100.0
中部地方	n	147	36	36	10	229
	%	64.2	15.7	15.7	4.4	100.0
近畿地方	n	94	35	38	20	187
	%	50.3	18.7	20.3	10.7	100.0
中国地方	n	11	3	20	8	42
	%	26.2	7.1	47.6	19.0	100.0
四国地方	n	8	1	7	4	20
	%	40.0	5.0	35.0	20.0	100.0
九州地方	n	12	5	35	15	67
	%	17.9	7.5	52.2	22.4	100.0
合計	n	526	153	275	99	1053
	%	50.0	14.5	26.1	9.4	100.0

出所：白馬村「市場・観光客に関する調査」(平成27年)

(7) 来訪回数

白馬村をここ二年以内に訪れた観光客の回答によると、白馬村へのこれまでの来訪回数は、図5-28の通りである。関東地方、中部地方、近畿地方は、「初めて」の人は3割以下であるが、遠方の地方になると「初めて」の人が5割以上となる。

また、関東地方、中部地方、近畿地方は、リピーターが7割を超え、更にこれまで「4回以上」来訪している人は、関東地方、中部地方、近畿地方では3割を超える。関東地方にいたっては「4回目以上」が5割を超える。

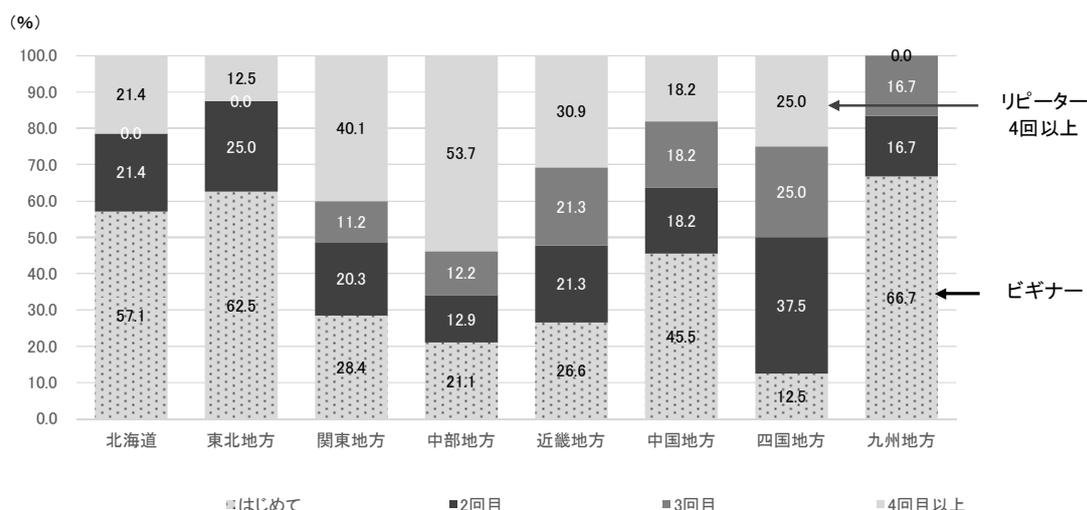


図5-28 地方別の白馬村への来訪経験及び認知度

出所：白馬村「市場・観光客に関する調査」(平成27年)

表5-49 地方別の白馬村への来訪経験及び認知度

		合計	はじめて	2回目	3回目	4回目以上
合計	n	526	149	98	70	209
	%	100.0	28.3	18.6	13.3	39.7
北海道	n	14	8	3	0	3
	%	100.0	57.1	21.4	0.0	21.4
東北地方	n	8	5	2	0	1
	%	100.0	62.5	25.0	0.0	12.5
関東地方	n	232	66	47	26	93
	%	100.0	28.4	20.3	11.2	40.1
中部地方	n	147	31	19	18	79
	%	100.0	21.1	12.9	12.2	53.7
近畿地方	n	94	25	20	20	29
	%	100.0	26.6	21.3	21.3	30.9
中国地方	n	11	5	2	2	2
	%	100.0	45.5	18.2	18.2	18.2
四国地方	n	8	1	3	2	2
	%	100.0	12.5	37.5	25.0	25.0
九州地方	n	12	8	2	2	0
	%	100.0	66.7	16.7	16.7	0.0

出所：白馬村「市場・観光客に関する調査」(平成27年)

(8) 月別観光客数

平成26年においては、月の平均は1,871人であり、平均以上の月は5か月、平均以下の月は7か月となる。8月と1～3月の利用者延数が多く、4～6月、10月、11月の利用者延数は少ない。昭和60年と比べてもそれほど変動は少ない。

平成26年の月別の最大利用者延べ数は、8月であり4,776人、最も少ないのは、11月の176人となる。

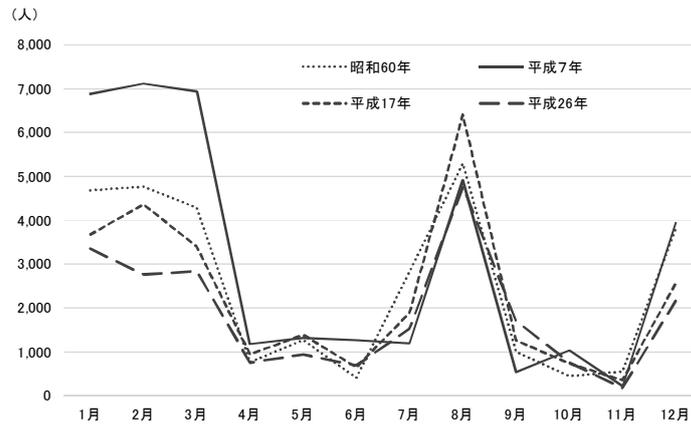


図5-29 月別観光地利用者延数の推移

出所：「観光地利用者統計調査結果」（長野県観光部観光企画課）

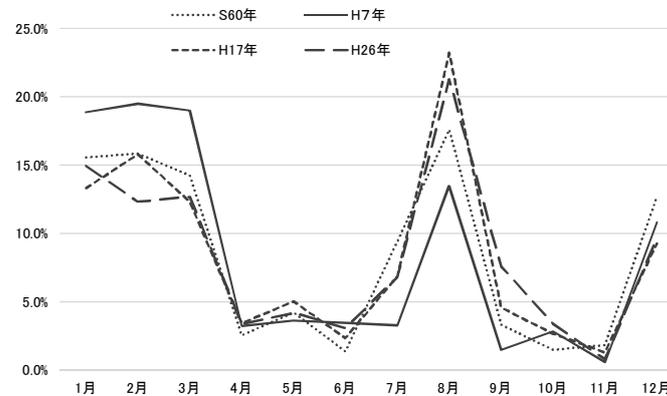


図5-30 観光地利用者延数の月別構成比の推移

出所：「観光地利用者統計調査結果」（長野県観光部観光企画課）

表5-50 観光地利用者延数の月別変動の推移 (百人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
昭和60年	4,682	4,767	4,285	761	1,265	408	2,830	5,294	998	443	550	3,808
	15.6%	15.8%	14.2%	2.5%	4.2%	1.4%	9.4%	17.6%	3.3%	1.5%	1.8%	12.7%
平成7年	6,889	7,116	6,936	1,179	1,321	1,267	1,191	4,918	536	1,035	209	3,938
	18.9%	19.5%	19.0%	3.2%	3.6%	3.5%	3.3%	13.5%	1.5%	2.8%	0.6%	10.8%
平成17年	3,676	4,360	3,402	943	1,388	644	1,893	6,410	1,259	737	357	2,556
	13.3%	15.8%	12.3%	3.4%	5.0%	2.3%	6.9%	23.2%	4.6%	2.7%	1.3%	9.3%
平成26年	3,354	2,766	2,846	756	939	689	1,528	4,776	1,703	760	176	2,164
	14.9%	12.3%	12.7%	3.4%	4.2%	3.1%	6.8%	21.3%	7.6%	3.4%	0.8%	9.6%

出所：「観光地利用者統計調査結果」（長野県観光部観光企画課）

(9) 外国人客数の推移

白馬村の調査によると、白馬村を訪れる外国人は、平成16年は10,156人の延べ宿泊者数であったが、平成26年には、77,724人と約10年で7倍に急増した。方面別に見ると、平成20年までは、アジアの宿泊者が最も多かったが、平成21年にはオセアニアが最も多くなる。平成22年に再度アジアが多くなるものの、平成23年以降はオセアニアが最も多い状況にある。月別の構成比を見ると、平成20年までは2月が最も観光客が多かったが、平成21年以降は、1月が最も延べ宿泊者数が多い月となっている。平成26年の月別の延べ外国人宿泊者数をみると、1月が30,352人で、9月が348人で最も少ない。その差は約30,000人。平均すると一月当たり6,477人であり、平均を越える月は、一年のうち、1月、2月、12月の3ヶ月のみである。

なお、外国人旅行者については、データとして十分に補足できておらず、その実態を把握できていないという声も聞かれる。実際には、本データより多くの外国人旅行者が白馬村に訪れている可能性がある。

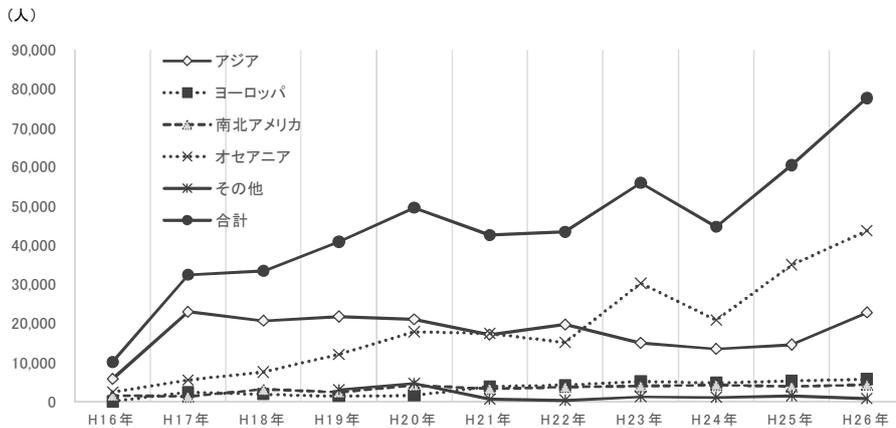


図5-31 外国人延べ宿泊者数の推移

出所：「【白馬村】平成26年中における外国人観光客宿泊者数」(白馬村)

表5-51 外国人延べ宿泊者数の推移

(人)

	アジア	ヨーロッパ	南北アメリカ	オセアニア	その他	合計
H16年	5,914	102	1,642	2,498		10,156
H17年	23,017	2,503	1,364	5,598		32,482
H18年	20,709	1,945	3,189	7,649		33,492
H19年	21,840	1,442	2,465	12,138	3,082	40,967
H20年	21,129	1,660	4,239	17,921	4,715	49,664
H21年	17,208	3,958	3,350	17,476	703	42,695
H22年	19,771	4,290	3,789	15,202	458	43,510
H23年	15,111	5,255	4,055	30,343	1,260	56,024
H24年	13,553	4,870	4,367	20,910	1,119	44,819
H25年	14,667	5,366	3,933	35,022	1,568	60,556
H26年	22,839	5,817	4,409	43,797	832	77,724

出所：「【白馬村】平成26年中における外国人観光客宿泊者数」(白馬村)

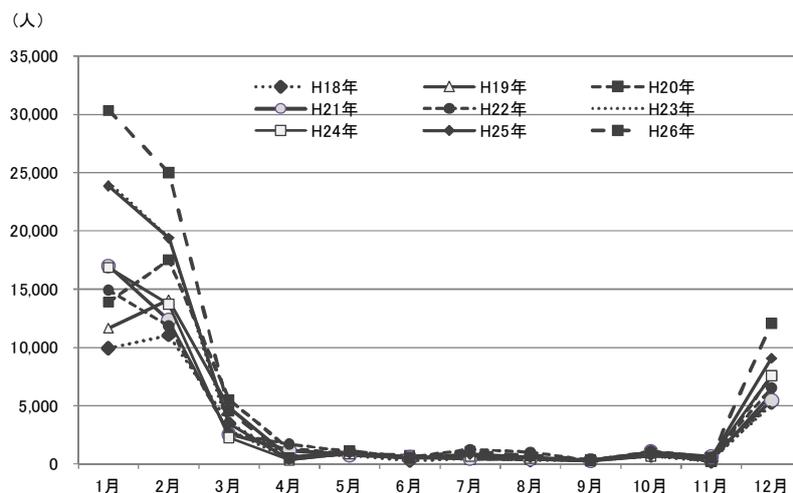


図5-32 月別外国人延べ宿泊者数の推移

出所：「【白馬村】平成26年中における外国人観光客宿泊者数」（白馬村）

表5-52 月別外国人延べ宿泊者数の推移

月	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
1月	9,921	11,655	13,895	16,991	14,923	24,183	16,852	23,855	30,352
2月	11,049	14,056	17,513	12,349	11,824	19,446	13,703	19,389	25,006
3月	3,467	4,840	5,526	2,539	2,611	2,896	2,265	3,482	4,554
4月	695	641	1,288	1,168	1,706	402	343	380	500
5月	760	819	867	782	1,051	994	887	915	1,103
6月	279	651	724	544	592	504	493	489	560
7月	486	404	455	481	1,254	694	685	848	1,076
8月	342	425	376	424	1,018	524	506	580	727
9月	320	286	342	283	305	292	295	295	348
10月	702	921	865	1,047	1,099	653	665	693	912
11月	228	268	211	619	587	401	556	548	530
12月	5,243	6,001	7,602	5,468	6,540	5,035	7,569	9,082	12,056
合計	33,492	40,967	49,664	42,695	43,510	56,024	44,819	60,556	77,724

出所：「【白馬村】平成26年中における外国人観光客宿泊者数」（白馬村）

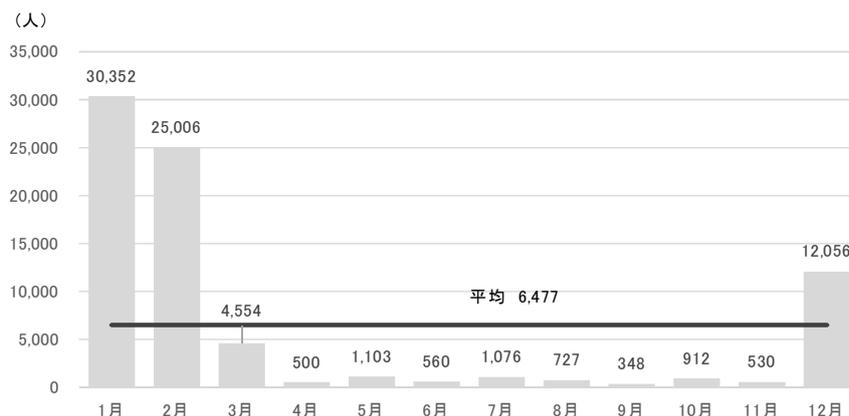


図5-33 月別外国人延べ宿泊者数

出所：「【白馬村】平成26年中における外国人観光客宿泊者数」（白馬村）

表5-53 国籍別外国人延べ宿泊者（平成26年）

区分(国名)		延宿泊者数/人	構成比	平均宿泊日数/日	構成比/延泊
アジア Asia	韓国 KOR	955	1.8%	2.0	1.2%
	台湾 TPE	7,558	10.0%	2.8	9.7%
	中国 CHN	968	0.8%	3.0	1.2%
	香港 HKG	4,834	6.7%	3.5	6.2%
	シンガポール SIN・マレーシア MAS	7,734	4.1%	3.0	10.0%
	タイ THA	489	0.6%	2.2	0.6%
	その他 Other	301	0.3%	3.2	0.4%
小計		22,839	24.2%		29.4%
ヨーロッパ Europe	イギリスなど欧州 EU	3,264	4.5%	5.0	4.2%
	北欧 North Europe	1,322	1.7%	6.0	1.7%
	ロシア RUS	1,134	2.5%	5.5	1.5%
	その他 Other	97	0.2%	4.5	0.1%
小計		5,817	8.9%		7.5%
南北アメリカ North&South America	アメリカ USA	3,456	4.5%	4.0	4.4%
	カナダ CAN	814	1.1%	3.8	1.0%
	その他 Other	139	0.9%	3.0	0.2%
小計		4,409	6.5%		5.7%
オセアニア Oceania	オーストラリア AUS	43,094	56.3%	5.8	55.4%
	ニュージーランド NZL	703	1.5%	5.6	0.9%
	その他 Other	0	0.0%	4.0	0.0%
小計		43,797	57.8%		56.3%
その他	在日外国人 Foreign residents in Japan	795	1.9%	2.1	1.0%
	国別不明 Nationality Unknown	67	0.7%		0.1%
合計(延べ宿泊者総数)		77,724	100.0%		100.0%

出所：「【白馬村】平成26年中における外国人観光客宿泊者数」（白馬村）

(10) 村内主要施設の利用人数

村内主要施設の利用人数はジャンプ競技場が最も多く、グリーンスポーツの森、国民保養センターが次ぐ。ジャンプ競技場は、平成 17 年度には 12 万人以上の利用があったが利用者は年々減少し、平成 23 年度には 7 万 6 千人となったものの、平成 24 年度には 8 万 1 千人を超え前年を上回った。山荘においては平成 17 年度に比べて平成 24 年度の利用者は増加している。

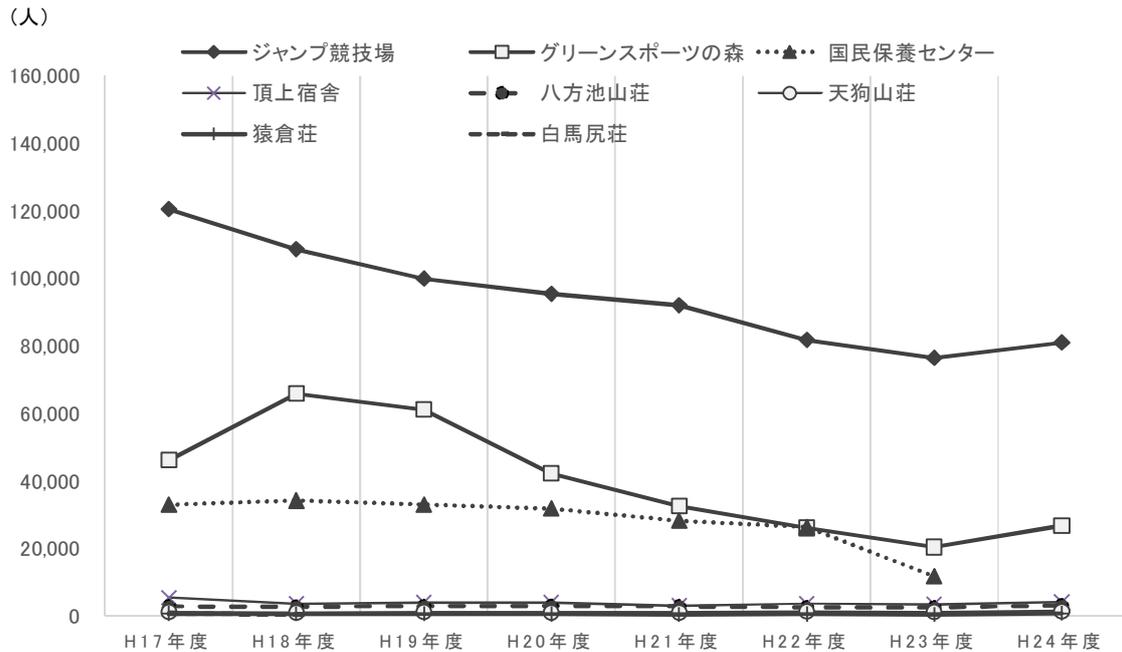


図 5-34 村内主要施設の利用人数の推移

出所：「白馬村村勢要覧統計資料 2013」（白馬村）

表 5-54 村内主要施設の利用人数の推移

	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
ジャンプ競技場	135,500	120,522	108,611	99,915	95,464	92,050	81,808	76,444	81,052
	1.00	0.89	0.80	0.74	0.70	0.68	0.60	0.56	0.60
グリーンスポーツの森	58,862	46,190	65,923	61,165	42,255	32,530	26,060	20,409	26,787
	1.00	0.78	1.12	1.04	0.72	0.55	0.44	0.35	0.46
国民保養センター	32,704	32,970	34,233	33,013	31,794	28,241	26,385	11,777	
	1.00	1.01	1.05	1.01	0.97	0.86	0.81	0.36	
頂上宿舎	6,351	5,422	3,643	3,982	4,001	2,984	3,742	3,437	4,170
	1.00	0.85	0.57	0.63	0.63	0.47	0.59	0.54	0.66
八方池山荘	3,314	2,910	2,783	2,922	3,041	2,911	2,584	2,536	3,185
	1.00	0.88	0.84	0.88	0.92	0.88	0.78	0.77	0.96
天狗山荘	1,171	1,157	1,002	1,158	1,102	1,106	1,329	1,138	1,459
	1.00	0.99	0.86	0.99	0.94	0.94	1.13	0.97	1.25
猿倉荘	756	766	627	610	559	474	544	473	786
	1.00	1.01	0.83	0.81	0.74	0.63	0.72	0.63	1.04
白馬尻荘	794	790	437						
	1.00	0.99	0.55						

出所：「白馬村村勢要覧統計資料」（2012、2013）（白馬村）

(11) スキー場別込数の推移

八方尾根、白馬五竜の利用者が多く、平成 15 年度の利用者数数は、八方尾根は約 50 万人、白馬五竜は約 39 万人だった。全てのスキー場において利用者は減少している。

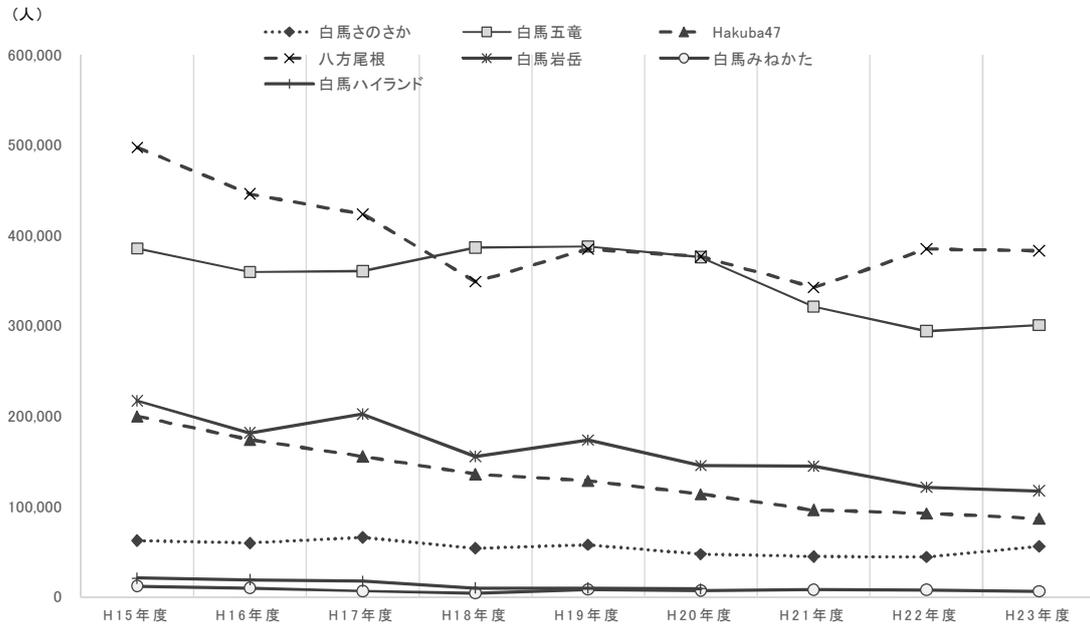


図 5-35 スキー場別の利用人数の推移

出所：「白馬村村勢要覧統計資料 2013」（白馬村）

表 5-55 スキー場別の利用人数の推移

	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
白馬さのさか	62,042 1.00	59,553 0.96	65,623 2.00	53,660 0.86	57,469 3.00	47,090 0.76	44,624 4.00	44,026 0.71	55,775 5.00
白馬五竜	385,520 1.00	359,160 0.93	360,120 0.93	386,500 1.00	387,511 1.01	375,580 0.97	321,000 0.83	293,800 0.76	300,530 0.78
Hakuba47	199,737 1.00	173,837 0.87	155,266 0.78	135,560 0.68	128,281 0.64	113,499 0.57	95,901 0.48	92,287 0.46	86,544 0.43
八方尾根	497,012 1.00	445,483 0.90	423,147 0.85	348,602 0.70	384,740 0.77	376,428 0.76	342,270 0.69	384,849 0.77	382,823 0.77
白馬岩岳	216,962 1.00	181,435 0.84	202,126 0.93	155,158 0.72	173,414 0.80	145,171 0.67	144,483 0.67	121,255 0.56	117,287 0.54
白馬みねかた	11,781 1.00	9,863 0.84	6,367 0.54	4,176 0.35	8,191 0.70	6,870 0.58	7,875 0.67	7,706 0.65	5,989 0.51
白馬ハイランド	20,585 1.00	18,779 0.91	17,132 0.83	9,808 0.48	9,872 0.48	8,916 0.43	0.00	0.00	0.00
合計	1,393,639 1.00	1,248,110 0.90	1,229,781 0.88	1,093,464 0.78	1,149,478 0.82	1,073,554 0.77	956,153 0.69	943,923 0.68	948,948 0.68

出所：「白馬村村勢要覧統計資料 2013」（白馬村）

3. 観光関連産業及び観光地域経済の実態

(1) 観光関連産業の実態

1) 白馬村の宿泊収容力

①軒数、客室数、bed数及び業態

511軒、6,500室前後、約22,000bedsとなっているが、民宿・旅館の軒数に誤差が多いと考えられ、総登録数では25,000beds前後と考えられる(表5-51、53)。なお、客室定員の推定は、個人旅行者の同行者数から見た実質定員として、洋室3人/室、和室4人/室で計算しているが、学生合宿等を主力としている施設では最大定員として和室4～5人を収容していると考えられ、最大定員では30,000bedsを超えると考えられる。

業態別の宿泊収容力では、旅館35～40%、民宿10～15%、ペンション(ロッジ等含む)27%、ホテル(リゾートホテル)23%であり、全体の8割前後が個人営業の施設である。また、民宿と旅館の境界線は曖昧であり、両者を合わせた5割～6割が和室を有する低価格の小規模宿泊施設である。このため、平均客室数は13室/軒であり、比較的規模の大きいホテルを名乗る施設でも、31室/軒となっている。

表5-56 業態別、収容力推定

業態	軒数	客室数	収容力	収容力比率
ペンション	225	1,939	5,817beds	26.6%
民宿	55	561	2,244beds+ α	10.3%
旅館	133	1,925	7,700beds+ α	35.2%
(リゾート)ホテル	53	1,653	4,959beds+	22.7%
その他・貸別荘等	45	377	1,131beds+ α	5.2%
合計	511	6,455	21,851beds+ α	100.0%

出所：白馬村「施設経営実態調査」(平成27年)

(注)収容力について。+と+ α では、+ α のほうが収容力の誤差が大きいことを意味。

②エリア別分布

宿泊施設の分布は八方尾根ベースが全体の過半数を占めている。次いで五竜ベース3割弱、岩岳ベース2割強となっている。ホテルは6割が八方尾根ベースに集中しており、旅館も大規模な施設が多い。ペンションと民宿は各地域に分散しているが、このうち、ペンションは分譲されたペンション団地に集中している。

表5-57 収容力分布

スキー場エリア	収容力比率
八方尾根スキー場	51%
岩岳スキー場ベース(樽池を含む)	22%
五竜・hakuba47スキー場ベース	27%

出所：白馬村「施設経営実態調査」(平成27年)

表5-58 白馬村の宿泊収容力と特性

地域区分	地区名	ペンション		民宿		旅館		(リゾート)ホテル		その他			合計					
		軒数	客室数	軒数	客室数	軒数	客室数	軒数	客室数	軒数	客室数	備考	軒数	客室数	推定bed数	(構成比%)	@室/軒	
八方エリア	八方	9	80	11	125	49	850	7	121				76	1,176	4,503	20.6%	15.5	
	八方口	1	10	3	20	8	82	2	127				14	239	819	3.7%	17.1	
	和田野	17	163	1	11	17	216	12	435	4	34	貸別荘	51	859	2,804	12.8%	16.8	
	八方山麓	8	164	1	14	6	81	4	215	1	15	貸別荘	20	489	1,562	7.1%	24.5	
	エコランド	21	175			2	25	1	40	2	5	貸別荘・ドミトリ	26	245	760	3.5%	9.4	
	瑞穂	1	13	1	12	7	71	4	84				13	180	623	2.9%	13.8	
	小計	57	605	17	182	89	1,325	30	1,022	7	54	0	200	3,188	11,071	50.7%	15.9	
[推定bed数]		1,815		728		5,300		3,066		162			11,071					
岩岳エリア ※岩岳褥池	切久保			6	73	9	139	1	9	9	58	貸別荘	25	279	1,049	4.8%	11.2	
	新田	5	43	10	72	13	226	3	38	10	108	貸別荘	41	487	1,759	8.0%	11.9	
	落倉	41	280	4	21	3	34	2	136	6	12	貸別荘	56	483	1,504	6.9%	8.6	
	どんぐり	27	175										27	175	525	2.4%	6.5	
	小計	73	498	20	166	25	399	6	183	25	178	0	149	1,424	4,837	22.1%	9.6	
[推定bed数]		1,494		664		1,596		549		534			4,837					
五龍 ※Hakuba47	飯田	39	370	8	91	6	81	10	207	12	140	貸別荘・ドミトリ	75	889	2,839	13.0%	11.9	
	飯森	3	33	10	122	3	36	3	87				19	278	992	4.5%	14.6	
	深空	1	0			3	11						4	11	44	0.2%	2.8	
	みそら野	52	433			7	73	4	154	1	5	貸別荘	64	665	2,068	9.5%	10.4	
五龍エリア	小計	95	836	18	213	19	201	17	448	13	145	0	162	1,843	5,943	27.2%	11.4	
[推定bed数]		2,508		852		804		1,344		435			5,943					
合計	合計	225	1,939	55	561	133	1,925	53	1,653	45	377	0	511	6,455	21,851	100.0%	12.6	
	@室/軒		8.6		10.2		14.5		31.2		8.4			12.6				
	[推定bed数]		5,817		2,244		7,700		4,959		1,131			21,851				
(構成比%)		26.6%		10.3%		35.2%		22.7%		5.2%			100.0%					

出所：アサヒ出版・宿泊表、観光協会ホームページ

(注1) イタリックは不明データ除く推定値

(注2) 推定bed数は、ペンション3人/室・民宿4人/室、旅館4人/室、ホテル3人/室、その他3人/室で推定

2) 営業期間

いずれの業態においても、通年営業の施設が多いが、民宿は半数は「通年営業」、残りの半数は、「ほぼ季節営業」、「季節営業」が占める。

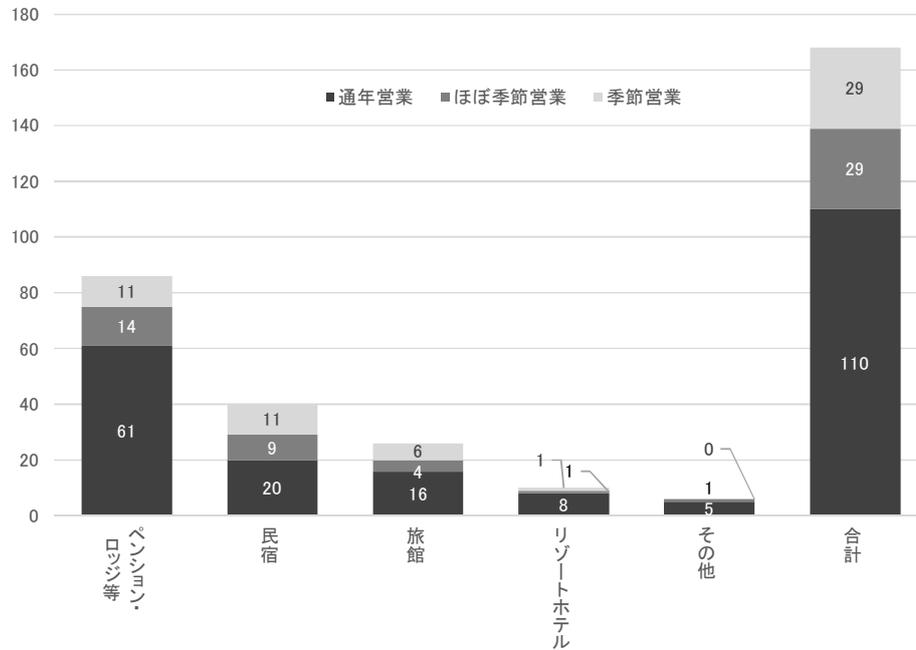


図5-36 営業期間

出所：白馬村「施設経営実態調査」（平成27年）

表5-59 営業期間

	ペンション・ロッジ等		民宿		旅館		リゾートホテル		その他		合計	
通年営業	61	70.9%	20	50.0%	16	61.5%	8	80.0%	5	83.3%	110	65.5%
ほぼ季節営業	14	16.3%	9	22.5%	4	15.4%	1	10.0%	1	16.7%	29	17.3%
季節営業	11	12.8%	11	27.5%	6	23.1%	1	10.0%	0	0.0%	29	17.3%
合計	86	100.0%	40	100.0%	26	100.0%	10	100.0%	6	100.0%	168	100.0%

出所：白馬村「施設経営実態調査」（平成27年）

3) 食事提供形態

食事の提供形態については、75.6%の施設が「朝夕食提供だが宿泊客のみ」。「朝夕食提供で外来客も取っている」のは13.7%。リゾートホテルは「朝夕食提供で外来客も取っている」が多い。

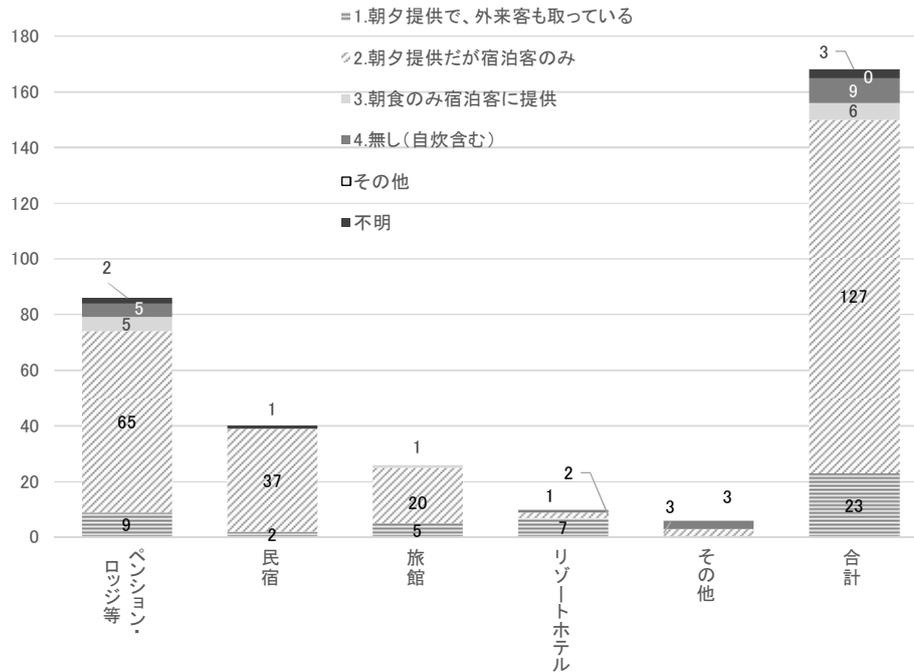


図5-37 業態別の食事提供形態

出所：白馬村「施設経営実態調査」（平成27年）

表5-60 業態別の食事提供形態

	ペンション・ロッジ等	民宿	旅館	リゾートホテル	その他	合計	構成比
1. 朝夕提供で、外来客も取っている	9	2	5	7		23	13.7%
2. 朝夕提供だが宿泊客のみ	65	37	20	2	3	127	75.6%
3. 朝食のみ宿泊客に提供	5		1			6	3.6%
4. 無し(自炊含む)	5			1	3	9	5.4%
その他						0	0.0%
不明	2	1				3	1.8%
合計	86	40	26	10	6	168	100.0%

出所：白馬村「施設経営実態調査」（平成27年）

4) 料金体系と価格帯

村全体として、同一価格帯の施設が多い。1泊2食価格帯では、6-7,000円代が4割強、8-9,000円代が4割弱であり、低価格帯に集中している。業態別に見ると、リゾートホテルは価格帯にやや料金体系に幅がある。

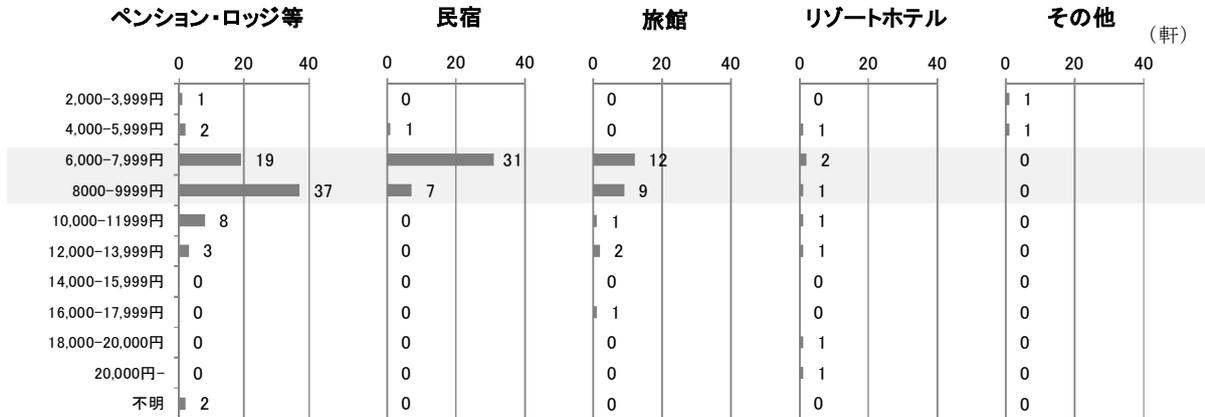


図5-38 業態別の1泊2食料金

出所：白馬村「施設経営実態調査」(平成27年)

表5-61 業態別の1泊2食料金(上)、一泊朝食・素泊まり料金(下) (軒)

1泊2食料金	ペンション・ロτζ等	民宿	旅館	リゾートホテル	その他	合計	
2,000-3,999円	1	0	0	0	1	2	1.4%
4,000-5,999円	2	1	0	1	1	5	3.4%
6,000-7,999円	19	31	12	2	0	64	43.8%
8,000-9,999円	37	7	9	1	0	54	37.0%
10,000-11,999円	8	0	1	1	0	10	6.8%
12,000-13,999円	3	0	2	1	0	6	4.1%
14,000-15,999円	0	0	0	0	0	0	0.0%
16,000-17,999円	0	0	1	0	0	1	0.7%
18,000-20,000円	0	0	0	1	0	1	0.7%
20,000円-	0	0	0	1	0	1	0.7%
不明	2	0	0	0	0	2	1.4%
合計	72	39	25	8	2	146	100.0%

1泊朝食付き、素泊まり料金	ペンション・ロτζ等	民宿	旅館	リゾートホテル	その他	合計	
2,000-3,999円	1	0	0	0	1	2	11.8%
4,000-5,999円	6	0	1	0	1	8	47.1%
6,000-7,999円	4	0	0	0	0	4	23.5%
8,000-9,999円	1	0	0	0	0	1	5.9%
10,000-11,999円	0	0	0	0	0	0	0.0%
12,000-13,999円	0	0	0	0	0	0	0.0%
14,000-15,999円	0	0	0	1	0	1	5.9%
16,000-17,999円	0	0	0	0	0	0	0.0%
18,000-20,000円	0	0	0	0	0	0	0.0%
20,000円-	0	0	0	0	0	0	0.0%
不明	0	1	0	0	0	1	5.9%
合計	12	1	1	1	2	17	100.0%

出所：白馬村「施設経営実態調査」(平成27年)

5) 主な客層（目的・行動別）

主な客層への回答では、リゾートホテル、旅館がスキーヤー・ボーダー以外に、ハイキング・登山客、一般観光客等を吸収しているのに対して、ペンション等はこれらの夏季の客層が減少し、民宿ではほとんどがスキーヤー・ボーダー等の冬季客のみとなっている。

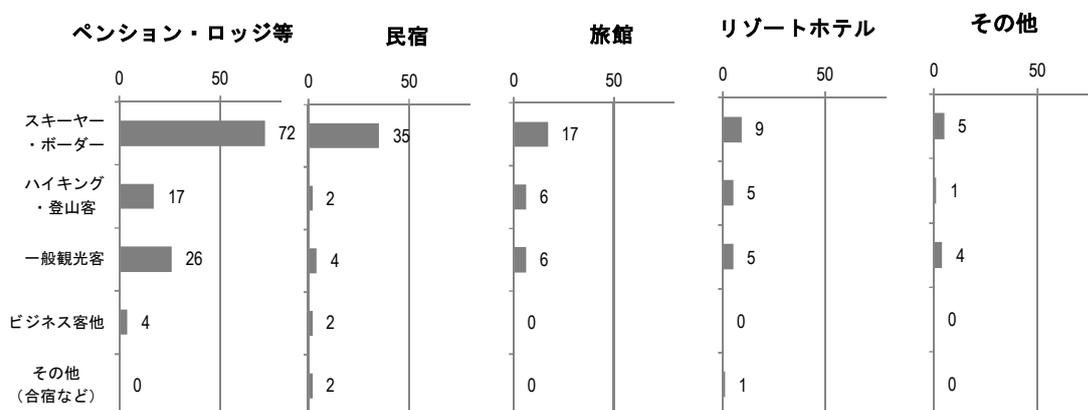


図5-39 業態別の客層

出所：白馬村「施設経営実態調査」（平成27年）

表5-62 業態別の客層

(軒)

	ペンション・ ロッジ等	民宿	旅館	リゾートホ テル	その他	合計
スキーヤー・ボーダー	72	35	17	9	5	138
ハイキング・登山客	17	2	6	5	1	31
一般観光客	26	4	6	5	4	45
ビジネス客他	4	2	0	0	0	6
その他(合宿など)	0	2	0	1	0	3

出所：白馬村「施設経営実態調査」（平成27年）

6) 外国人比率

外国人比率では、6割が外国人比率 10%未満にとどまっており、特に民宿、旅館は受け入れ実績が少ない。一方、ペンション等は施設により差があるが、5割以上に達している施設が6.5%ある。

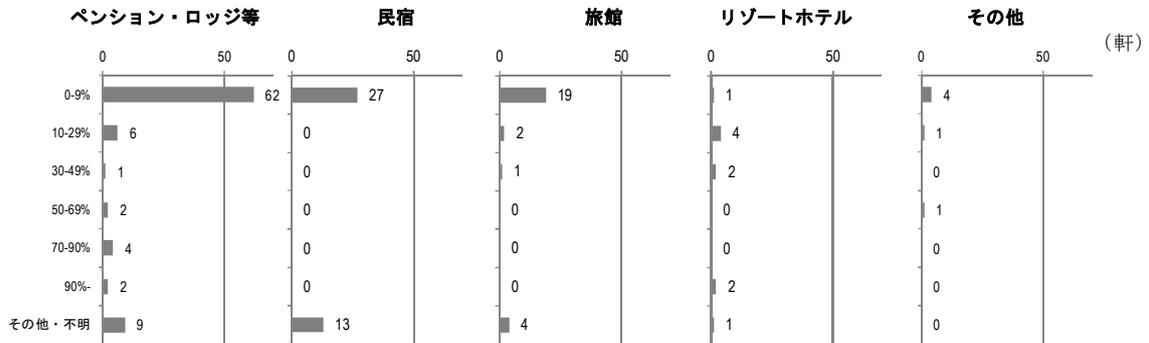


図5-40 業態別の客層

出所：白馬村「施設経営実態調査」(平成27年)

表5-63 業態別の客層

(軒)

	ペンション・ロジ等	民宿	旅館	リゾートホテル	その他	合計	構成比
0-9%	62	27	19	1	4	113	67.3%
10-29%	6		2	4	1	13	7.7%
30-49%	1		1	2		4	2.4%
50-69%	2				1	3	1.8%
70-90%	4					4	2.4%
90%-	2			2		4	2.4%
その他・不明	9	13	4	1		27	16.1%
合計	86	40	26	10	6	168	100.0%

出所：白馬村「施設経営実態調査」(平成27年)

7)入込動向

通年の稼働推移で減少傾向と回答しているのは、民宿 47.5%、旅館 46.2%、ペンション等 34.9%、リゾートホテル 20%の順である。冬期も同様に、民宿、旅館、ペンションの順であるが、その他は 16.7%。リゾートホテルは、0%で減少と回答した施設はない。夏期は、旅館、民宿の順位が通年と異なる。減少回答は冬期の方が多く、冬期の入込減少が課題である。

表 5-64 業態別の通年・冬期・夏期の経営状況

(軒、%)

(通年)	ペンション ・ ロッジ等	民宿	旅館	リゾート ホテル	その他	総計
増加傾向	8 9.3%	1 2.5%	2 7.7%	1 10.0%	2 33.3%	14 8.3%
変わらず	24 27.9%	5 12.5%	6 23.1%	3 30.0%	2 33.3%	40 23.8%
減少傾向	30 34.9%	19 47.5%	12 46.2%	2 20.0%	1 16.7%	64 38.1%
わからない	0 0.0%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%
不明	24 27.9%	14 35.0%	6 23.1%	4 40.0%	1 16.7%	49 29.2%
小計	86 100.0%	40 100.0%	26 100.0%	10 100.0%	6 100.0%	168 100.0%

(冬期)	ペンション ・ ロッジ等	民宿	旅館	リゾート ホテル	その他	総計
増加傾向	10 11.6%	1 2.5%	2 7.7%	4 40.0%	3 50.0%	20 11.9%
変わらず	22 25.6%	4 10.0%	6 23.1%	3 30.0%	2 33.3%	37 22.0%
減少傾向	27 31.4%	22 55.0%	11 42.3%	0 0.0%	1 16.7%	61 36.3%
わからない	0 0.0%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%
無回答	27 31.4%	12 30.0%	7 26.9%	3 30.0%	0 0.0%	49 29.2%
総計	86 100.0%	40 100.0%	26 100.0%	10 100.0%	6 100.0%	168 100.0%

(夏期)	ペンション ・ ロッジ等	民宿	旅館	リゾート ホテル	その他	総計
増加傾向	6 7.0%	5 12.5%	1 3.8%	0 0.0%	2 33.3%	14 8.3%
変わらず	21 24.4%	7 17.5%	6 23.1%	5 50.0%	3 50.0%	42 25.0%
減少傾向	27 31.4%	13 32.5%	10 38.5%	2 20.0%	1 16.7%	53 31.5%
わからない	0 0.0%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%
無回答	32 37.2%	14 35.0%	9 34.6%	3 30.0%	0 0.0%	58 34.5%
総計	86 100.0%	40 100.0%	26 100.0%	10 100.0%	6 100.0%	168 100.0%

出所：白馬村「施設経営実態調査」(平成 27 年)

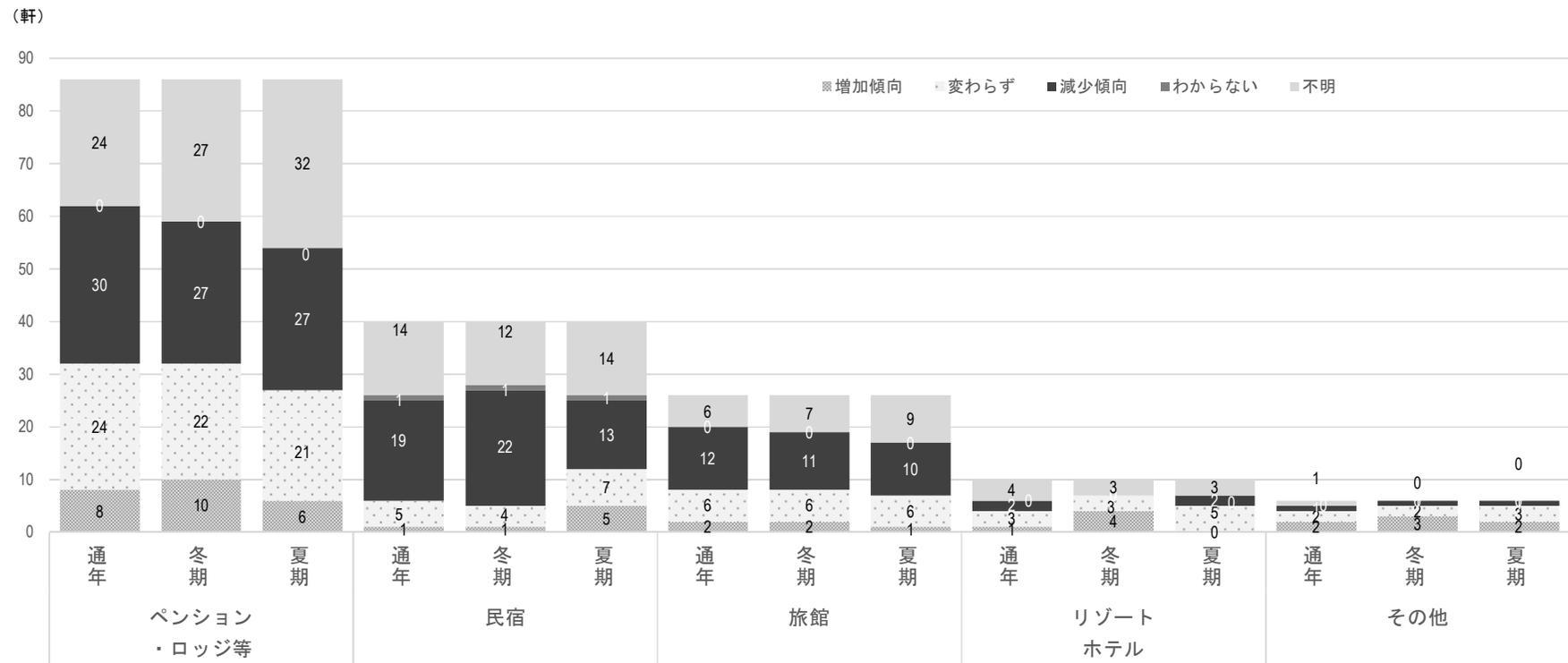


図5-41 業態別の通年・冬期・夏期の経営状況

出所：白馬村「施設経営実態調査」（平成27年）

8) 事業スキーム、経営課題

小規模、オーナー経営、家族経営がほとんどであり、経営課題は財務よりも損益が大きな課題となっている。またペンション、民宿では後継者問題が多い。

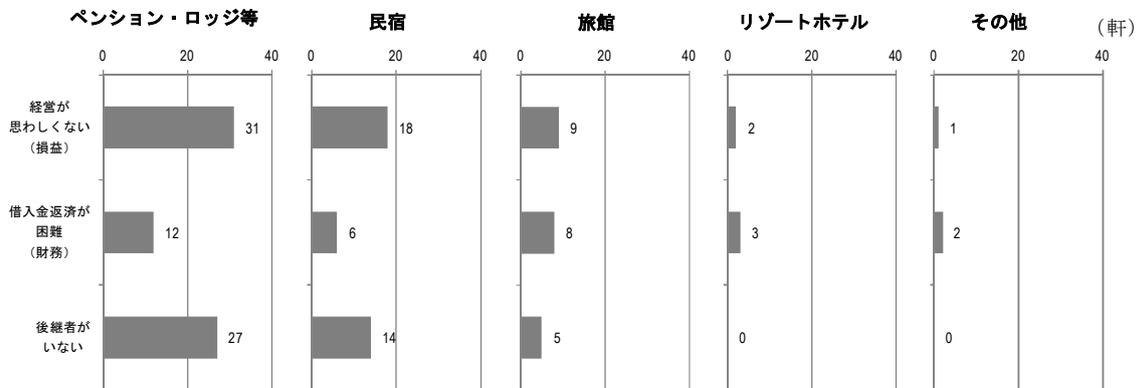


図 5-42 業態別の経営課題

出所：白馬村「施設経営実態調査」(平成 27 年)

表 5-65 業態別の経営課題

(軒)

	ペンション・ロッジ等	民宿	旅館	リゾートホテル	その他	合計
経営が思わしくない (損益)	31	18	9	2	1	61
借入金返済が困難 (財務)	12	6	8	3	2	31
後継者がいない	27	14	5	0	0	46

出所：白馬村「施設経営実態調査」(平成 27 年)

(2) 観光地域経済の実態

1) 総消費額及び消費単価

長野県の調査によると、白馬村の観光地点を訪れた利用者の総消費額は、平成26年で124億円。一人当たりの消費単価は5,545円。総消費額のピークは平成4年で254億円、一人当たりの消費単価は、平成7年で6,603円。

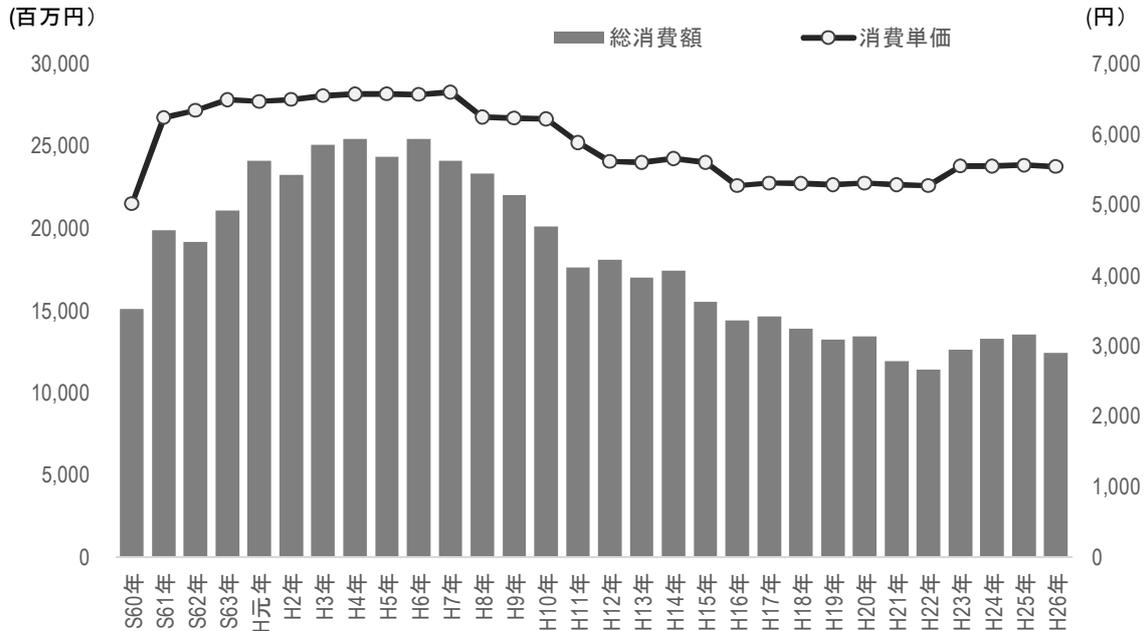


図5-43 白馬村の白馬村の観光地利用者の観光消費額の推移

出所:「観光地利用者統計調査結果」(長野県観光部観光企画課)

表5-66 白馬村の観光地利用者の観光消費額の推移 (単位: 百万円、円)

年	観光地利用者延数 (百人)	総消費額 (百万円)	消費単価 (円)	年	観光地利用者延数 (百人)	総消費額	消費単価
S60年	30,091	15,111	5,022	H12年	32,219	18,105	5,619
S61年	31,856	19,885	6,242	H13年	30,357	17,021	5,607
S62年	30,250	19,193	6,345	H14年	30,806	17,437	5,660
S63年	32,489	21,101	6,495	H15年	27,722	15,548	5,608
H元年	37,303	24,138	6,471	H16年	27,306	14,412	5,278
H2年	35,836	23,280	6,496	H17年	27,625	14,669	5,310
H3年	38,309	25,094	6,550	H18年	26,261	13,931	5,305
H4年	38,714	254,446	6,573	H19年	25,056	13,256	5,290
H5年	37,011	24,345	6,578	H20年	25,370	13,476	5,312
H6年	38,695	25,421	6,570	H21年	22,563	11,933	5,289
H7年	36,535	24,122	6,603	H22年	21,665	11,428	5,275
H8年	37,365	23,357	6,251	H23年	22,763	12,639	5,552
H9年	35,332	22,028	6,234	H24年	23,986	13,316	5,551
H10年	32,363	20,128	6,219	H25年	24,360	13,558	5,566
H11年	29,971	17,638	5,885	H26年	22,457	124,452	5,545

出所:「観光地利用者統計調査結果」(長野県観光部観光企画課)

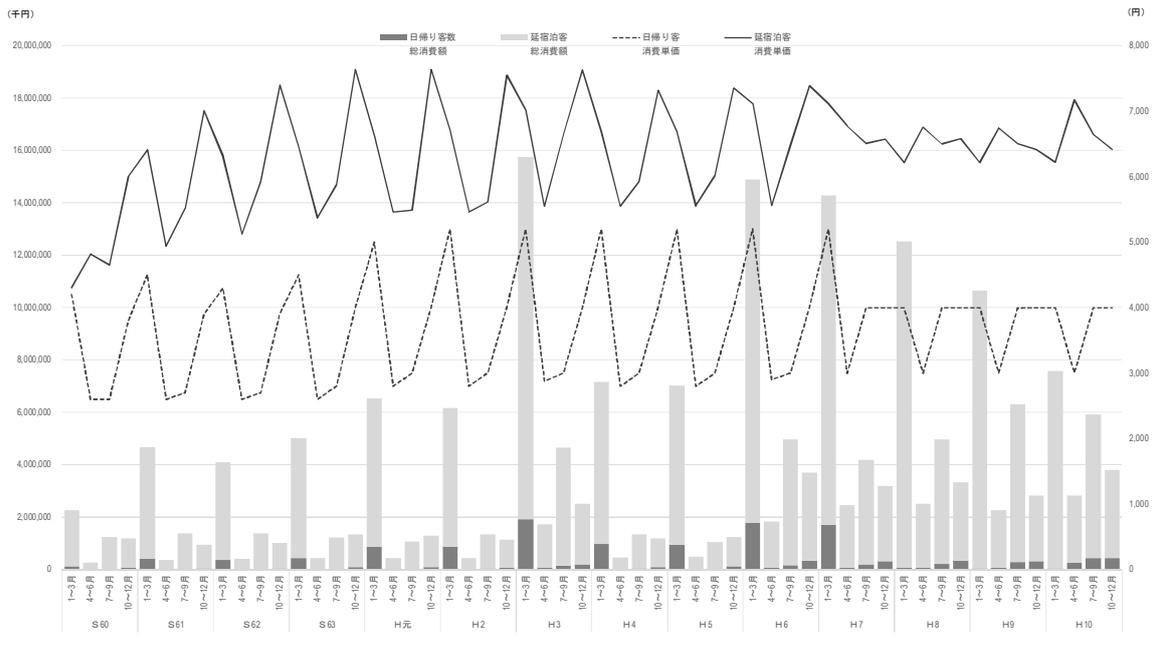


図5-44 白馬村の白馬村の観光地利用者の観光消費額の推移（四半期別・旅行形態別）

出所：「観光地利用者統計調査結果」（長野県観光部観光企画課）

表5-67 白馬村の白馬村の観光地利用者の観光消費額の推移（四半期別・旅行形態別）

（単位 上2段：千円、下2段：円）

西暦	S 60				S 61				S 62				S 63			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月												
日帰り客数	128,100	13,000	18,200	66,120	427,500	10,920	24,300	54,600	365,070	12,480	28,890	50,700	432,450	15,080	21,280	92,800
延泊泊客	2,140,130	256,480	1,214,600	1,123,770	4,256,140	352,040	1,364,350	899,100	3,725,980	405,770	1,359,470	978,460	4,584,160	434,750	1,184,540	1,237,200
日帰り客	4,200	2,600	2,600	3,800	4,500	2,600	2,700	3,900	4,300	2,600	2,700	3,900	4,500	2,600	2,800	4,000
延泊泊客	4,301	4,821	4,650	6,006	6,411	4,937	5,519	7,008	6,310	5,123	5,921	7,396	6,457	5,367	5,879	7,637
西暦	H 元				H 2				H 3				H 4			
日帰り客数	865,000	11,480	22,800	92,400	872,560	11,200	34,200	82,800	1,920,880	77,070	147,900	193,600	968,240	15,680	34,200	99,200
延泊泊客	5,664,600	422,770	1,046,720	1,208,970	5,303,700	420,210	1,308,120	1,058,970	13,827,120	1,662,810	4,500,520	2,320,950	6,201,200	439,490	1,296,820	1,101,140
日帰り客	5,000	2,800	3,000	4,000	5,200	2,800	3,000	4,000	5,200	2,876	3,000	4,000	5,200	2,800	3,000	4,000
延泊泊客	6,614	5,462	5,492	7,637	6,718	5,464	5,612	7,548	7,016	5,546	6,660	7,632	6,679	5,549	5,922	7,321
西暦	H 5				H 6				H 7				H 8			
日帰り客数	949,000	16,520	26,400	110,800	1,787,240	80,330	173,700	343,600	1,712,880	80,400	196,000	327,600	66,400	83,100	227,600	340,400
延泊泊客	6,071,050	470,040	1,014,410	1,130,230	13,109,870	1,749,540	4,807,940	3,369,140	12,564,010	2,368,900	4,006,500	2,866,000	12,464,100	2,432,300	4,749,100	2,993,900
日帰り客	5,200	2,800	3,000	4,000	5,200	2,900	3,000	4,000	5,200	3,000	4,000	4,000	4,000	3,000	4,000	4,000
延泊泊客	6,880	5,549	6,017	7,353	7,120	5,588	6,478	7,388	7,120	6,770	6,509	6,569	6,218	6,756	6,499	6,561
西暦	H 9				H 10											
日帰り客数	56,400	75,600	286,000	326,400	47,200	260,700	449,200	442,000								
延泊泊客	10,593,300	2,178,500	6,018,800	2,492,500	7,522,600	2,567,800	5,472,700	3,365,900								
日帰り客	4,000	3,000	3,994	4,000	4,000	3,000	4,000	4,000								
延泊泊客	6,218	6,742	6,504	6,416	6,224	7,175	6,645	6,416								

出所：「観光地利用者統計調査結果」（長野県観光部観光企画課）

2) 費目別消費単価

観光客の消費額は、日帰り客は8,732円、宿泊客は38,993円である。

宿泊客は、宿泊費は17,113円。交通費は、日帰りに比べて、村外、村内ともに約2倍の単価となっている。

表5-68 宿泊・日帰りの消費単価

科目		日帰り	宿泊
合計	平均額(円)	8,732	38,993
	人数(N)	108	418
交通費 (村内)	平均額	3,241	6,986
	利用者人数	63	293
交通費 (村外)	平均額	3,412	6,038
	利用者人数	34	172
宿泊費	平均額	-	17,113
	利用者人数	-	331
土産代	平均額	2,763	4,236
	利用者人数	71	364
飲食費	平均額	2,301	5,763
	利用者人数	93	383
入場料	平均額	1,984	4,247
	利用者人数	37	190
バック料金	平均額	9,950	26,966
	利用者人数	14	111

出所：白馬村「市場・観光客に関する調査」(平成27年)

4. 市場・観光客の意識、満足度

①認知度

白馬村内の資源の認知度は、「2年以内に白馬村に行ったことがある」人は全選択肢において6割以上であるのに対して、「2年より前に行った」人の各資源に対する認知度は、「行ったことないが知っている」人とそれほど変わらない。

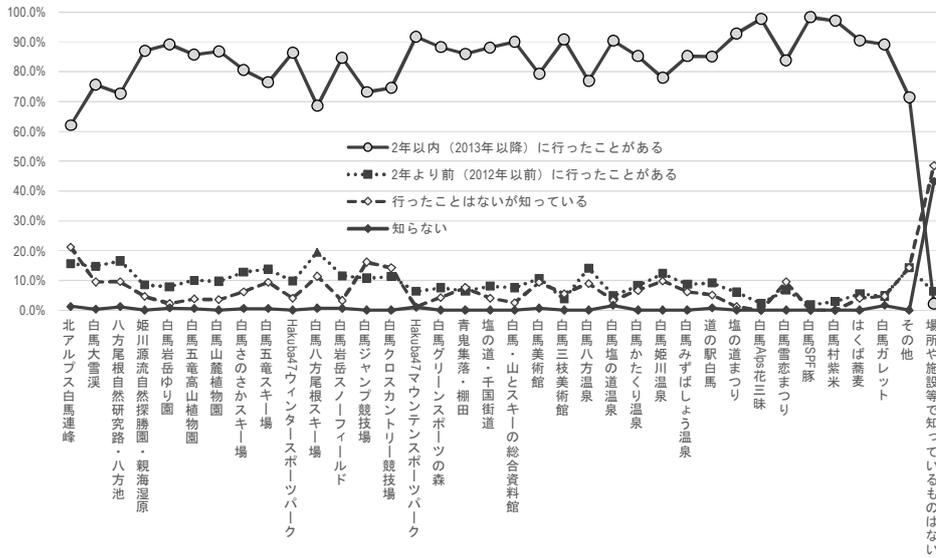


図5-45 白马村の資源の認知度

出所：白马村「市場・観光客に関する調査」(平成27年)

表5-69 白马村の資源の認知度

	2年以内 (2013年以降) に行ったことがある				2年より前 (2012年以前) に行ったことがある				行ったこと はないが知 っている	知らない
	全体	2年以内 (2013年以 降)に行っ たことがあ る	2年より前 (2012年以 前)に行っ たことがあ る	行ったこと はないが知 っている	知らない	全体	2年以内 (2013年以 降)に行っ たことがあ る	2年より前 (2012年以 前)に行っ たことがあ る		
北アルプス白馬連峰	630	391	98	133	8	100.0%	62.1%	15.6%	21.1%	1.3%
白馬大雪渓	381	288	56	36	1	100.0%	75.6%	14.7%	9.4%	0.3%
八方尾根自然研究路・八方池	345	251	57	33	4	100.0%	72.8%	16.5%	9.6%	1.2%
姫川源流自然探勝園・親海湿原	131	114	11	6	0	100.0%	87.0%	8.4%	4.6%	0.0%
白馬岩岳ゆり園	139	124	11	3	1	100.0%	89.2%	7.9%	2.2%	0.7%
白馬五竜高山植物園	189	162	19	7	1	100.0%	85.7%	10.1%	3.7%	0.5%
白馬山麓植物園	114	99	11	4	0	100.0%	86.8%	9.6%	3.5%	0.0%
白馬さのさかスキー場	196	158	25	12	1	100.0%	80.6%	12.8%	6.1%	0.5%
白馬五竜スキー場	386	295	53	36	2	100.0%	76.4%	13.7%	9.3%	0.5%
Hakuba47ウィントースポーツパーク	175	151	17	7	0	100.0%	86.3%	9.7%	4.0%	0.0%
白馬八方尾根スキー場	458	314	89	52	3	100.0%	68.6%	19.4%	11.4%	0.7%
白馬岩岳スノーフィールド	156	132	18	5	1	100.0%	84.6%	11.5%	3.2%	0.6%
白馬ジャンプ競技場	373	273	40	60	0	100.0%	73.2%	10.7%	16.1%	0.0%
白馬クロスカントリー競技場	134	100	15	19	0	100.0%	74.6%	11.2%	14.2%	0.0%
Hakuba47マウンテンズスポーツパーク	96	88	6	1	1	100.0%	91.7%	6.3%	1.0%	1.0%
白馬グリーンスポーツの森	93	82	7	4	0	100.0%	88.2%	7.5%	4.3%	0.0%
青鬼集落・棚田	93	80	6	7	0	100.0%	86.0%	6.5%	7.5%	0.0%
塩の道・千国街道	175	154	14	7	0	100.0%	88.0%	8.0%	4.0%	0.0%
白馬・山とスキーの総合資料館	80	72	6	2	0	100.0%	90.0%	7.5%	2.5%	0.0%
白馬美術館	150	119	16	14	1	100.0%	79.3%	10.7%	9.3%	0.7%
白馬三枝美術館	54	49	2	3	0	100.0%	90.7%	3.7%	5.6%	0.0%
白馬八方温泉	312	240	44	28	0	100.0%	76.9%	14.1%	9.0%	0.0%
白馬塩の道温泉	124	112	6	4	2	100.0%	90.3%	4.8%	3.2%	1.6%
白馬かたくり温泉	135	115	11	9	0	100.0%	85.2%	8.1%	6.7%	0.0%
白馬姫川温泉	204	159	25	20	0	100.0%	77.9%	12.3%	9.8%	0.0%
白馬みずばしょう温泉	81	69	7	5	0	100.0%	85.2%	8.6%	6.2%	0.0%
道の駅白馬	275	234	25	14	2	100.0%	85.1%	9.1%	5.1%	0.7%
塩の道まつり	83	77	5	1	0	100.0%	92.8%	6.0%	1.2%	0.0%
白馬Alps花三昧	45	44	1	0	0	100.0%	97.8%	2.2%	0.0%	0.0%
白馬雪恋まつり	74	62	5	7	0	100.0%	83.8%	6.8%	9.5%	0.0%
白馬SPF隊	58	57	1	0	0	100.0%	98.3%	1.7%	0.0%	0.0%
白馬村紫米	35	34	1	0	0	100.0%	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%
はくば蕎麦	74	67	4	3	0	100.0%	90.5%	5.4%	4.1%	0.0%
白馬ガレット	64	57	3	3	1	100.0%	89.1%	4.7%	4.7%	1.6%
その他	7	5	1	1	0	100.0%	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%
場所や施設等で知っているものはない	192	4	12	93	83	100.0%	2.1%	6.3%	48.4%	43.2%

出所：白马村「市場・観光客に関する調査」(平成27年)

②満足度評価

総合満足度 5.8 点。

個別満足度は、景観・雰囲気 が 6.1 と最も高い評価を受けている。

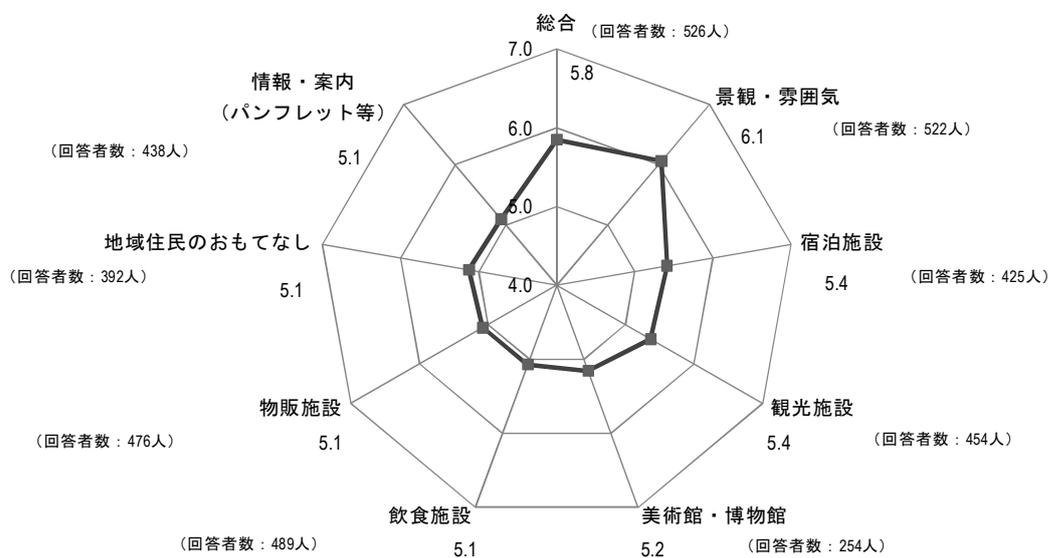


図 5-46 満足度評価 (総合、個別)

出所：白馬村「市場・観光客に関する調査」(平成 27 年)

表 5-70 満足度評価 (総合、個別)

満足度	点数	回答者数 (利用無を除く)
総合	5.8	526
景観・雰囲気	6.1	522.0
宿泊施設	5.4	425.0
観光施設	5.4	454.0
美術館・博物館	5.2	254.0
飲食施設	5.1	489.0
物販施設	5.1	476.0
地域住民のおもてなし	5.1	392.0
情報・案内 (パンフレット等)	5.1	438.0

出所：白馬村「市場・観光客に関する調査」(平成 27 年)

③再来訪意向

再来訪意向を考えている人の割合は、84.1%（「大変そう思う」「そう思う」「やや思う」の合計）。そのうち、「大変そう思う」と回答した人は22.6%。

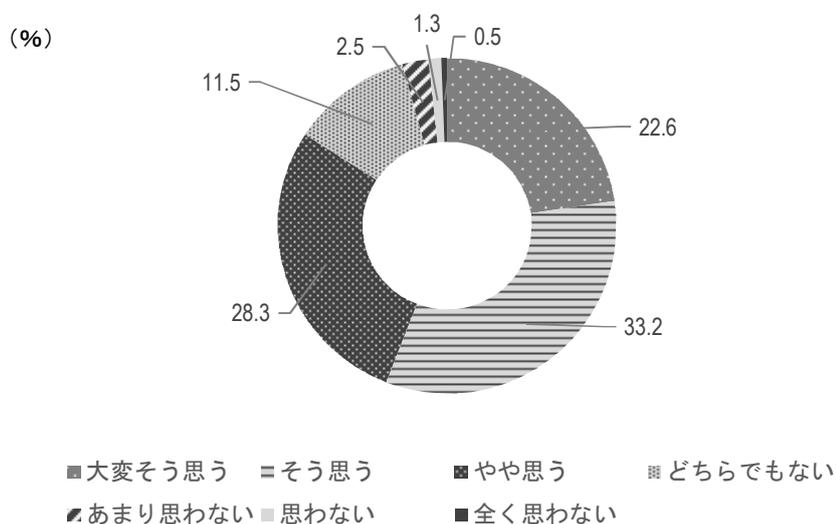


図5—47 再来訪意向

出所：白馬村「市場・観光客に関する調査」（平成27年）

表5—71 再来訪意向

		全体	大変そう思う	そう思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	全く思わない
全体	n	954	216	317	270	110	24	12	5
	%	100.0	22.6	33.2	28.3	11.5	2.5	1.3	0.5

出所：白馬村「市場・観光客に関する調査」（平成27年）

④紹介意向

紹介意向のある人は、62.6%（「大変そう思う」「そう思う」「やや思う」の合計）。そのうち、「大変そう思う」と回答した人は16.4%。

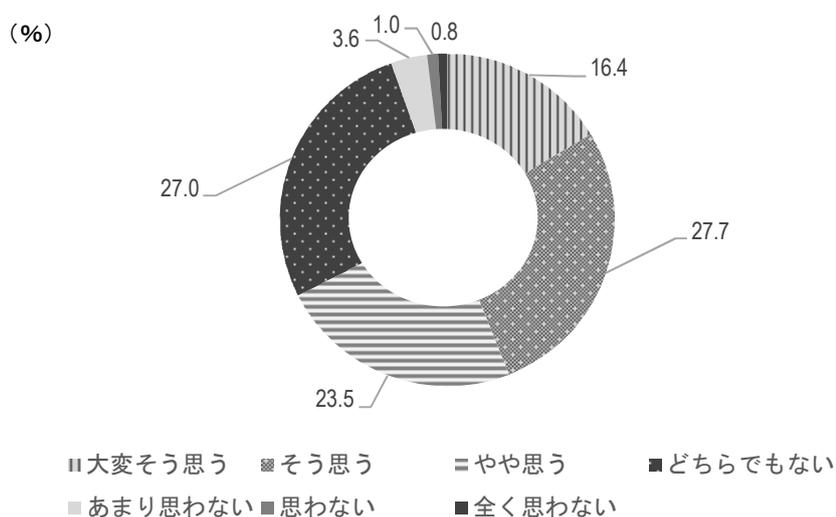


図5—48 紹介意向

出所：白馬村「市場・観光客に関する調査」（平成27年）

表5—72 紹介意向

		全体	大変そう思う	そう思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	全く思わない
全体	n	954	156	264	224	258	34	10	8
	%	100.0	16.4	27.7	23.5	27.0	3.6	1.0	0.8

出所：白馬村「市場・観光客に関する調査」（平成27年）

5. 村民の意識

●村民から見た観光地として魅力度

白馬村を観光地として魅力あると回答した人は、65.5%（「とてもそう思う」「そう思う」の合計）。

表5-73 村民から見た観光地として魅力度

	全回答者	観光関連	観光以外	1年未満	2～4年	5～9年	10～19年	20年以上
とてもそう思う	20.5%	25.3%	18.7%	28.6%	34.5%	29.6%	20.6%	18.0%
そう思う	45.0%	45.2%	45.0%	57.1%	34.5%	39.4%	44.5%	46.6%
どちらともいえない	21.8%	19.5%	22.4%	14.3%	25.5%	22.5%	17.4%	22.6%
あまりそう思わない	10.3%	7.7%	11.4%	0.0%	1.8%	7.0%	16.1%	10.2%
全くそう思わない	2.4%	2.3%	2.5%	0.0%	3.6%	1.4%	1.3%	2.6%
回答者数	922	261	651	21	55	71	155	616

出所：白馬村「観光に関する住民意識調査」（平成27年）

●白馬の四季のうち好きな季節

白馬村の四季うち好きな季節として最も多く選択された季節は「春」で52.7%。居住年数別に見ると、「1年未満」の居住者は、42.1%が「冬」を最も好きな季節と回答している。「2～4年」の居住者は、好きな季節の順は「春」「冬」「夏」「秋」となるが、5年以上の居住者と異なり、各季節に一定程度回答が分散している。

表5-74 白馬の四季のうち好きな季節

	全回答者	観光関連	観光以外	1年未満	2～4年	5～9年	10～19年	20年以上
春	52.7%	50.2%	53.1%	21.1%	31.5%	46.4%	48.4%	57.5%
夏	20.7%	23.1%	20.2%	36.8%	22.2%	24.6%	23.5%	19.0%
秋	11.8%	11.4%	12.1%	0.0%	18.5%	11.6%	9.8%	12.1%
冬	14.8%	15.3%	14.6%	42.1%	27.8%	17.4%	18.3%	11.4%
回答者数	904	255	635	19	54	69	153	604

出所：白馬村「観光に関する住民意識調査」（平成27年）

●白馬村を訪れる観光客の印象

白馬村を訪れる観光客については、「良い」と回答した人は、54.8%（「良い」と「まあ良い」の合計）。「どちらともいえない」は39.2%。

表5-75 白馬村を訪れる観光客の印象

	全回答者	観光関連	観光以外	1年未満	2～4年	5～9年	10～19年	20年以上
良い	16.4%	26.2%	12.6%	19.0%	28.3%	20.8%	18.3%	14.1%
まあ良い	38.4%	41.3%	37.4%	28.6%	22.6%	38.9%	34.6%	41.2%
どちらともいえない	39.2%	27.4%	43.6%	47.6%	49.1%	27.8%	39.2%	39.4%
あまり良くない	4.8%	4.4%	4.9%	4.8%	0.0%	11.1%	6.5%	3.9%
良くない	1.2%	0.8%	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%	1.3%	1.3%
回答者数	898	252	633	21	53	72	153	594

出所：白馬村「観光に関する住民意識調査」（平成27年）

●おもてなしの心

白馬村を訪れる観光客に対して、「心がけているただし、観光関連産業従事者の中にも「心がけていない」と回答する人が非常に僅かだが存在する。

表5-76 おもてなしの心

	全回答者	観光関連	観光以外	1年未満	2～4年	5～9年	10～19年	20年以上
常々心がけている	24.1%	43.1%	16.9%	14.3%	22.2%	29.9%	24.3%	23.7%
心がけている	48.4%	45.9%	48.9%	52.4%	35.2%	37.3%	48.0%	50.8%
どちらともいえない	20.8%	9.4%	25.3%	14.3%	33.3%	22.4%	20.4%	19.9%
ほとんど心がけていない	4.6%	0.8%	6.2%	14.3%	7.4%	7.5%	4.6%	3.7%
全く心がけていない	2.1%	0.8%	2.7%	4.8%	1.9%	3.0%	2.6%	1.8%
回答者数	898	255	628	21	54	67	152	598

出所：白馬村「観光に関する住民意識調査」（平成27年）

●外国人受入に対する意識

外国人の受入れに対しては、白馬村での居住年数が短い人ほど、受入意向が高い。

表5-77 外国人受入に対する意識

	全回答者	観光関連	観光以外	1年未満	2～4年	5～9年	10～19年	20年以上
ぜひ来てほしい	22.5%	25.9%	21.4%	38.1%	37.0%	23.6%	26.7%	19.3%
来てほしい	40.1%	33.5%	42.4%	57.1%	33.3%	40.3%	36.7%	41.1%
どちらともいえない	29.7%	29.1%	29.7%	4.8%	24.1%	27.8%	26.7%	31.8%
あまり来てほしくない	5.5%	9.2%	4.2%	0.0%	5.6%	4.2%	7.3%	5.5%
来てほしくない	2.3%	2.4%	2.3%	0.0%	0.0%	4.2%	2.7%	2.2%
回答者数	886	251	622	21	54	72	150	584

出所：白馬村「観光に関する住民意識調査」（平成27年）

●住民が活躍できる場の有無

住民が活躍できる場が「ある」と回答した人は、46.3%。約半数の人が「ない」と感じている。

表5-78 住民が活躍できる場の有無

	全回答者	観光関連	観光以外	1年未満	2～4年	5～9年	10～19年	20年以上
ある	46.3%	55.0%	42.7%	41.2%	37.8%	38.7%	47.2%	48.2%
ない	53.7%	45.0%	57.3%	58.8%	62.2%	61.3%	52.8%	51.8%
回答者数	723	209	506	17	45	62	125	471

出所：白馬村「観光に関する住民意識調査」（平成27年）

●白馬村の観光関連産業に対する印象

白馬村の観光関連産業に対する印象として、「良い」と回答した人は30.1%（「良い」「まあ良い」の合計）。「どちらともいえない」が45.5%。「良くない」も24.3%の回答があった（「あまり良くない」「良くない」の合計）。

表5-79 白馬村の観光関連産業に対する印象

	全回答者	観光関連	観光以外	1年未満	2～4年	5～9年	10～19年	20年以上
良い	4.9%	6.0%	4.3%	19.0%	7.3%	2.9%	4.0%	4.7%
まあ良い	25.2%	25.2%	25.2%	23.8%	25.5%	25.7%	23.5%	25.8%
どちらともいえない	45.5%	44.4%	46.2%	42.9%	45.5%	38.6%	44.3%	46.9%
あまり良くない	19.7%	21.2%	19.1%	14.3%	14.5%	28.6%	21.5%	18.7%
良くない	4.6%	3.2%	5.2%	0.0%	7.3%	4.3%	6.7%	3.8%
回答者数	872	250	611	21	55	70	149	573

出所：白馬村「観光に関する住民意識調査」（平成27年）

●白馬村の観光振興の位置づけ

白馬村における観光振興の位置づけとして、「重要である」と回答した人は、90.3%（「とても重要である」「重要である」の合計）。居住年数が短い人ほど、「とても重要である」との意識が高い。

表5-80 白馬村の観光振興の位置づけ

	全回答者	観光関連	観光以外	1年未満	2～4年	5～9年	10～19年	20年以上
とても重要である	50.2%	61.9%	45.9%	76.2%	64.8%	64.8%	50.6%	46.4%
重要である	40.1%	31.9%	43.1%	19.0%	25.9%	29.6%	39.0%	43.8%
どちらともいえない	7.9%	5.0%	8.9%	4.8%	9.3%	4.2%	8.4%	7.8%
あまり重要でない	1.6%	1.2%	1.8%	0.0%	0.0%	1.4%	1.9%	1.8%
全く重要でない	0.2%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
回答者数	925	260	652	21	54	71	154	617

出所：白馬村「観光に関する住民意識調査」（平成27年）

●白馬村の観光施策の内容の把握度

白馬村の観光施策の内容の把握状況については、「知っている」と回答した人は、30.4%（「よく知っている」「大まかには知っている」の合計）。「知らない」と回答した人は、55.8%（「あまり知らない」「知らない」の合計）。

表5-81 白馬村の観光施策の内容の把握度

	全回答者	観光関連	観光以外	1年未満	2～4年	5～9年	10～19年	20年以上
よく知っている	3.7%	4.6%	3.4%	0.0%	0.0%	6.9%	2.6%	4.1%
大まかには知っている	26.7%	34.0%	23.8%	9.5%	17.0%	13.9%	29.6%	28.7%
どちらともいえない	13.8%	14.3%	13.6%	9.5%	9.4%	8.3%	14.5%	15.0%
あまり知らない	39.6%	34.4%	41.5%	57.1%	41.5%	47.2%	33.6%	39.8%
全く知らない	16.2%	12.7%	17.6%	23.8%	32.1%	23.6%	19.7%	12.4%
回答者数	919	259	646	21	53	72	152	613

出所：白馬村「観光に関する住民意識調査」（平成27年）

●重要と考える観光施策

全回答者の結果は、下記の通り、「自然環境・景観の保全」が47.5%と最も高い。

多少順位は変動するものの、居住年数別では「自然環境・景観の保全」「観光地としてのインフラ整備」「地域内交通の充実、利便性の向上」「特産品・土産物等の開発」「食の魅力づくり」「地域全体のおもてなしの心の向上」が上位にあげられた。

職業別に見ると「観光関連」が第3位に「宿泊業の活性化」をあげているのが特徴的である。

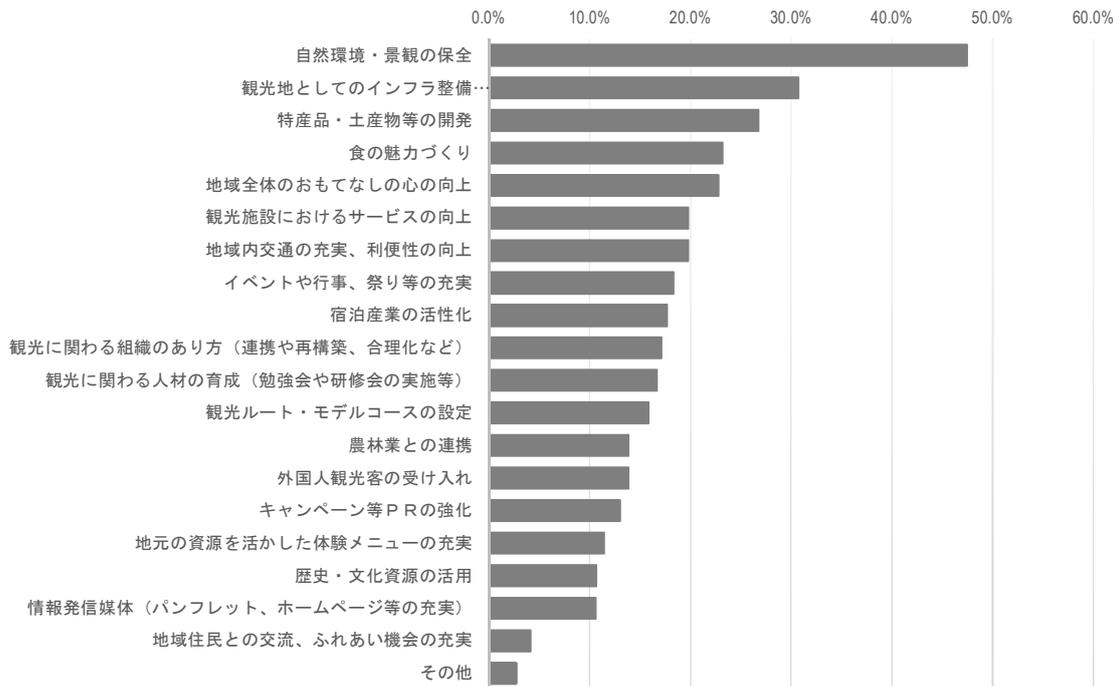


図5-49 重要と考える観光施策（全回答者）

出所：白馬村「観光に関する住民意識調査」（平成27年）

表 5-82 重要と考える観光施策（全回答者）

選択肢	人数 n=957	比率
自然環境・景観の保全	452	47.5%
観光地としてのインフラ整備（登山道・遊歩道、観光案内サイン、情報通信基盤等）	293	30.8%
特産品・土産物等の開発	255	26.8%
食の魅力づくり	221	23.2%
地域全体のおもてなしの心の向上	217	22.8%
観光施設におけるサービスの向上	189	19.9%
地域内交通の充実、利便性の向上	189	19.9%
イベントや行事、祭り等の充実	175	18.4%
宿泊産業の活性化	169	17.8%
観光に関わる組織のあり方（連携や再構築、合理化など）	163	17.1%
観光に関わる人材の育成（勉強会や研修会の実施等）	159	16.7%
観光ルート・モデルコースの設定	151	15.9%
農林業との連携	132	13.9%
外国人観光客の受け入れ	132	13.9%
キャンペーン等PRの強化	124	13.0%
地元の資源を活かした体験メニューの充実	109	11.4%
歴史・文化資源の活用	102	10.7%
情報発信媒体（パンフレット、ホームページ等の充実）	101	10.6%
地域住民との交流、ふれあい機会の充実	40	4.2%
その他	26	2.7%

出所：白馬村「観光に関する住民意識調査」（平成 27 年）

表 5-83 重要と考える観光施策（上位 5 つ）

	全回答者 n=957	居住年数					職業	
		1 年未満 n=21	2~4 年 n=56	5~9 年 n=72	10~19 年 n=157	20 年以上 n=638	観光関連	観光以外
1 位	自然環境・景観の保全 (47.5)	自然環境・景観の保全 (42.9)	観光地としてのインフラ整備 (51.8)	自然環境・景観の保全 (48.6)	自然環境・景観の保全 (49.0)	自然環境・景観の保全 (46.7)	自然環境・景観の保全 (49.6)	自然環境・景観の保全 (46.7)
2 位	観光地としてのインフラ整備 (30.8)	食の魅力づくり (28.6)	自然環境・景観の保全 (50.0)	地域内交通の充実、利便性の向上 (33.3)	観光地としてのインフラ整備 (35.7)	特産品・土産物等の開発 (29.0)	観光地としてのインフラ整備 (35.7)	観光地としてのインフラ整備 (29.4)
3 位	特産品・土産物等の開発 (26.8)	観光施設におけるサービスの向上 (28.6)	特産品・土産物等の開発 (33.9)	地域全体のおもてなしの心の向上 (27.8)	地域全体のおもてなしの心の向上 (24.8)	観光地としてのインフラ整備 (28.7)	宿泊産業の活性化 (27.8)	特産品・土産物等の開発 (26.4)
4 位	食の魅力づくり (23.2)	観光に関わる人材の育成 (28.6)	地域内交通の充実、利便性の向上 (33.9)	観光に関わる組織のあり方 (27.8)	地域内交通の充実、利便性の向上 (22.9)	食の魅力づくり (23.7)	特産品・土産物等の開発 (25.9)	食の魅力づくり (23.0)
5 位	地域全体のおもてなしの心の向上 (22.8)	※5 つ同数だったため省略	外国人観光客の受け入れ (33.9)	観光地としてのインフラ整備 (25.0)	食の魅力づくり (19.7) 観光に関わる人材の育成 (19.7)	地域全体のおもてなしの心の向上 (28.7)	地域全体のおもてなしの心の向上 (25.2)	地域全体のおもてなしの心の向上 (21.9)

出所：白馬村「観光に関する住民意識調査」（平成 27 年）

6. 施設経営者の意向

●今後の経営継続意向

宿泊施設の経営継続意向については、どの業態においても「今後も継続したい」が最も多い。ペンション・ロッジ等については、「今後も継続したい」に次いで「廃業して売却したい」があげられている。民宿では、「廃業したいが売却はしたくない」が次いであげられた。

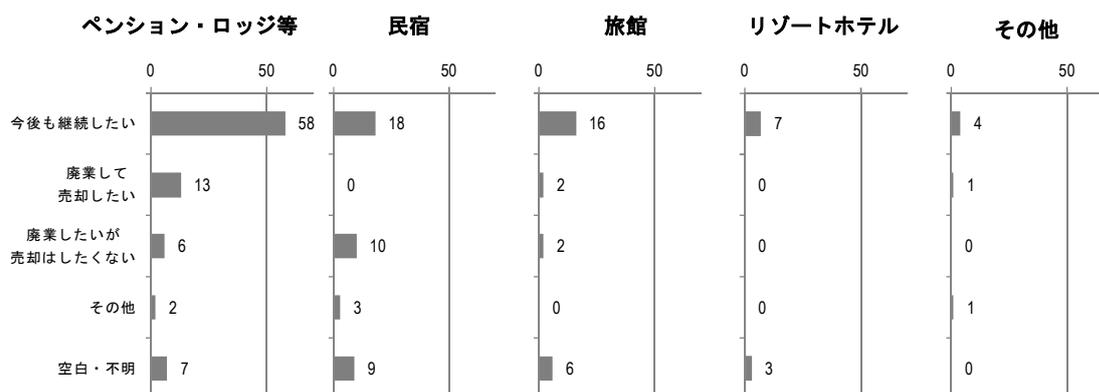


図 5-50 今後の経営継続意向

出所：白馬村「施設経営実態調査」（平成 27 年）

表 5-84 今後の経営継続意向

	ペンション・ロッジ等	民宿	旅館	リゾートホテル	その他	合計	
今後も継続したい	58	18	16	7	4	103	61.3%
廃業して売却したい	13	0	2	0	1	16	9.5%
廃業したいが売却はしたくない	6	10	2	0	0	18	10.7%
その他	2	3	0	0	1	6	3.6%
空白・不明	7	9	6	3	0	25	14.9%
合計	86	40	26	10	6	168	100.0%

出所：白馬村「施設経営実態調査」（平成 27 年）

●経営継続に関する状況

宿泊施設の経営継続に関する状況としては、ペンション・ロッジ等、民宿、旅館は、「経営を継続する体制が整っている」より「経営を継続したいが不確定要素がある」のほうが回答者が多い。

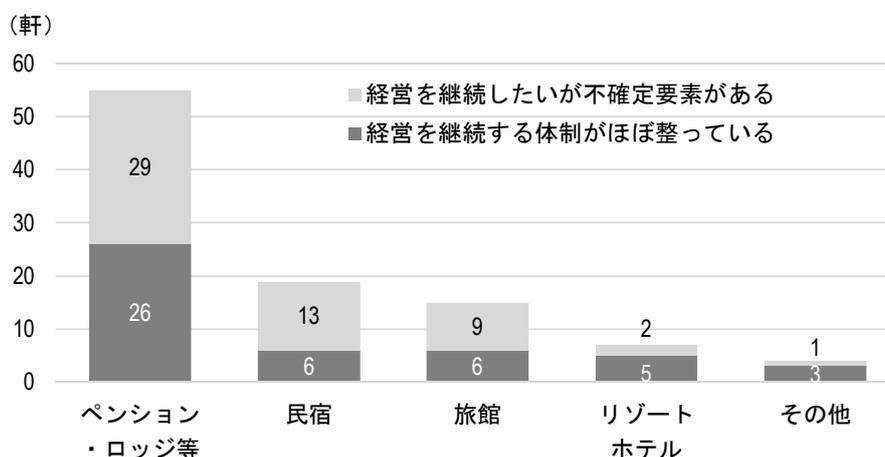


図 5-51 経営継続に関する状況

出所：白馬村「施設経営実態調査」（平成 27 年）

表 5-85 経営継続に関する状況

	ペンション・ ロッジ等	民宿	旅館	リゾート ホテル	その他	合計
経営を継続する体制がほぼ整っている	26	6	6	5	3	46
経営を継続したいが不確定要素がある	29	13	9	2	1	54
合計	55	19	15	7	4	100

出所：白馬村「施設経営実態調査」（平成 27 年）

●経営継続に必要な条件

業態によって、経営継続な条件の順位は異なる。ペンション・ロッジ等では、「スキー産業の将来」が、民宿では、「後継者」が、旅館では、「金融機関の協力」が第1位にあげられた。

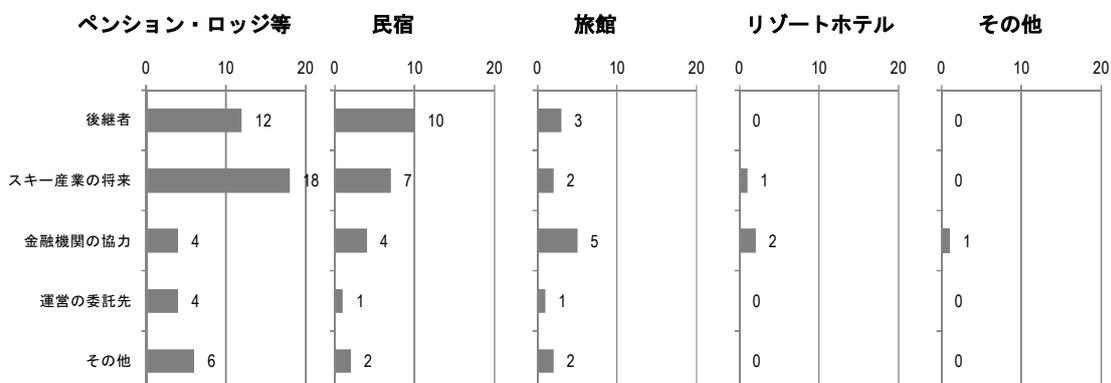


図5-52 経営継続に必要な条件

出所：白馬村「施設経営実態調査」（平成27年）

表5-86 経営継続に必要な条件

	ペンション・ ロッジ等	民宿	旅館	リゾート ホテル	その他	合計
後継者	12	10	3	0	0	25
スキー産業の将来	18	7	2	1	0	28
金融機関の協力	4	4	5	2	1	16
運営の委託先	4	1	1	0	0	6
その他	6	2	2	0	0	10
合計	44	24	13	3	1	85

出所：白馬村「施設経営実態調査」（平成27年）

●増加を期待する宿泊客の季節

増加を期待する宿泊客の季節としては、全ての季節での受入増加が期待される中でも「夏季」との回答が最も多く、「冬期」がそれに続く。

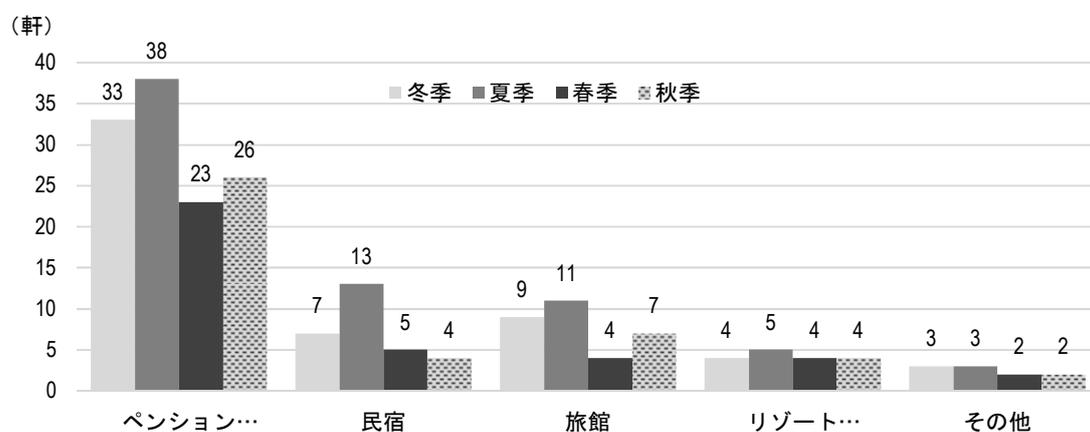


図 5-53 増加を期待する宿泊客の季節

出所：白馬村「施設経営実態調査」(平成 27 年)

表 5-87 増加を期待する宿泊客の季節

	ペンション ・ロッジ等	民宿	旅館	リゾート ホテル	その他	合計
冬季	33	7	9	4	3	56
夏季	38	13	11	5	3	70
春季	23	5	4	4	2	38
秋季	26	4	7	4	2	43
合計	120	29	31	17	10	207

出所：白馬村「施設経営実態調査」(平成 27 年)

●外国人受入意向

外国人の受入意向については、ペンション・ロッジ等、民宿は、「受入意向無し」を回答した人が最も多い。ペンション・ロッジ等は、残りの2つの選択肢「条件次第」「積極的に受入」にも回答が分散しているが、民宿は回答の8割弱が「受入意向無し」となっている。リゾートホテルでは、「積極的に受入」が最も多い。

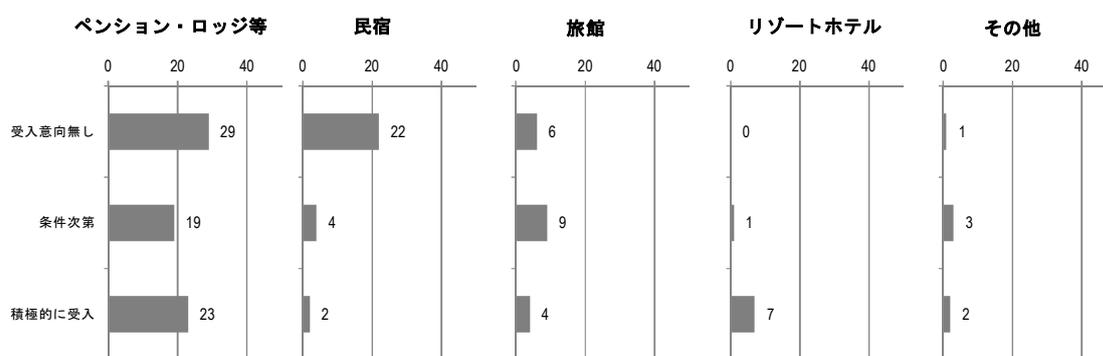


図5-54 外国人受入意向

出所：白馬村「施設経営実態調査」（平成27年）

表5-88 外国人受入意向

	ペンション・ ロッジ等	民宿	旅館	リゾートホ テル	その他	合計
受入意向無し	29	22	6	0	1	58
条件次第	19	4	9	1	3	36
積極的に受入	23	2	4	7	2	38
合計	71	28	19	8	6	132

出所：白馬村「施設経営実態調査」（平成27年）

第3節 白馬村観光を取り巻く環境

1. 観光旅行市場及び観光産業の状況

(1) 国内の観光旅行市場及び観光産業

1) 国内の観光旅行市場

国内宿泊観光旅行の回数及び宿泊数は、減少傾向にある。平成17年の宿泊数は2.92であったが、年々減少し平成23年には2.08となったものの、平成24年は2.14となり前年を上回った。同じく宿泊観光旅行回数も平成17年には1.78から平成23年には1.30と減少したが、平成24年には1.35となり、前年を上回ったが、ここ数年間で見ると減少傾向にある。

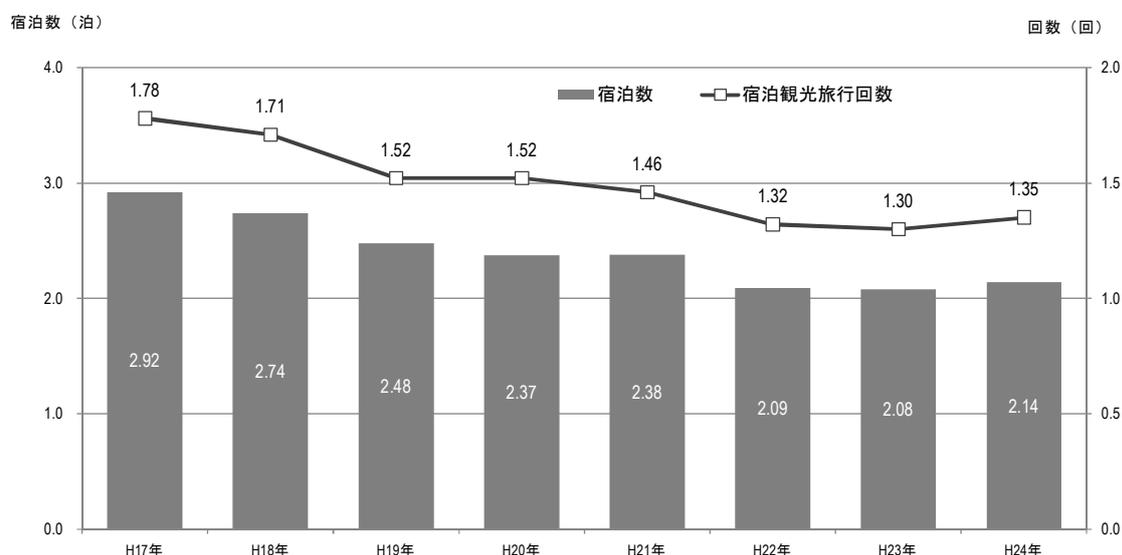


図5-55 国民1人当たり国内宿泊旅行の回数及び宿泊数の推移

出所：「旅行・観光消費動向調査」（観光庁）より作成

(注) 2008年までは、20歳から79歳までが調査対象。2009年以降は、全年齢が調査対象。以下、同様。

表5-89 国民1人当たり国内宿泊旅行の回数及び宿泊数の推移

	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
宿泊数(泊)	2.92	2.74	2.48	2.37	2.38	2.09	2.08	2.14
宿泊観光旅行回数(回)	1.78	1.71	1.52	1.52	1.46	1.32	1.30	1.35

出所：「旅行・観光消費動向調査」（観光庁）より作成

延べ旅行者数は平成25年度の推計は632,359人と前年を大きく上回ったものの、国内の人口が減少していくことから、今後も減少傾向が予想されている。旅行消費額においても同様に減少していくことが予想されている。

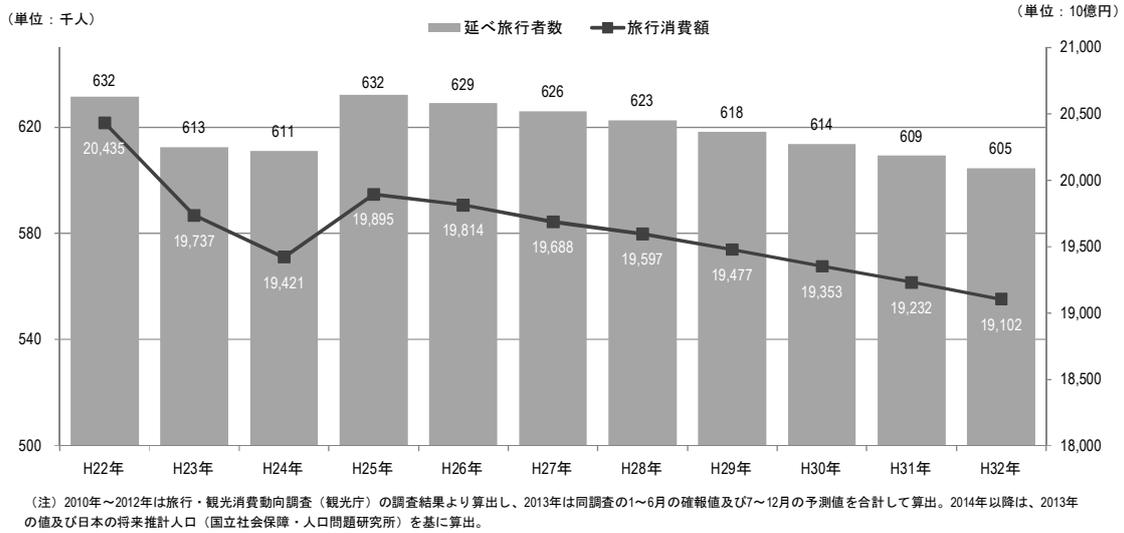


図 5-56 国内延べ旅行者数及び国内旅行消費額の予想

出所：「交通政策審議会観光分科会 第22回」(観光庁)より作成

表 5-90 国内延べ旅行者数及び国内旅行消費額の予想

	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年
延べ旅行者数(千人)	632	613	611	632	629	626	623	618	614	609	605
旅行消費額(10億円)	20,435	19,737	19,421	19,895	19,814	19,688	19,597	19,477	19,353	19,232	19,102

出所：「交通政策審議会観光分科会 第22回」(観光庁)より作成

2) 国内の観光旅行消費額の規模

観光庁の「旅行・観光消費動向調査」によると、平成 25 年の国内の観光旅行消費額は 23.6 兆円であり、その 66.9%を国内宿泊旅行が占める。訪日外国人の観光旅行消費額は、1.7 兆円であり、全観光消費額に占める割合は 7.0%とまだまだ小さい状況にある。

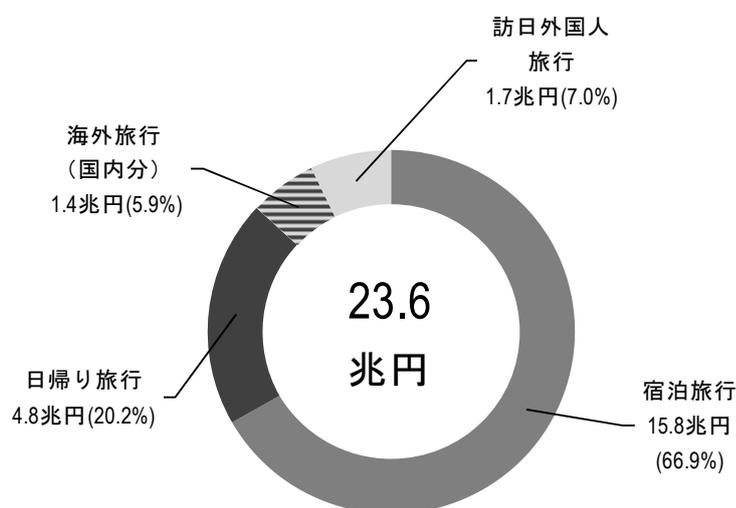


図 5-57 日本国内における観光消費額 (2013 年)

出所:「旅行・観光消費動向調査」(観光庁)より作成

表 5-91 日本国内における観光消費額 (2013 年)

	消費額	構成比
日本人宿泊旅行	15.8 兆円	66.9%
日本人日帰り旅行	4.8 兆円	20.2%
日本人海外旅行 (国内消費分)	1.4 兆円	5.9%
訪日外国人旅行	1.7 兆円	7.0%

出所:「旅行・観光消費動向調査」(観光庁)より作成

3) その他国内の市場動向

① スキーリフト利用者数

索道施設の冬期の利用を調べると、その延べ利用者数は平成8年以降減少傾向にある。平成8年は646百万人であったのに対し、平成23年度は270百万人と350百万人ほど減少している。

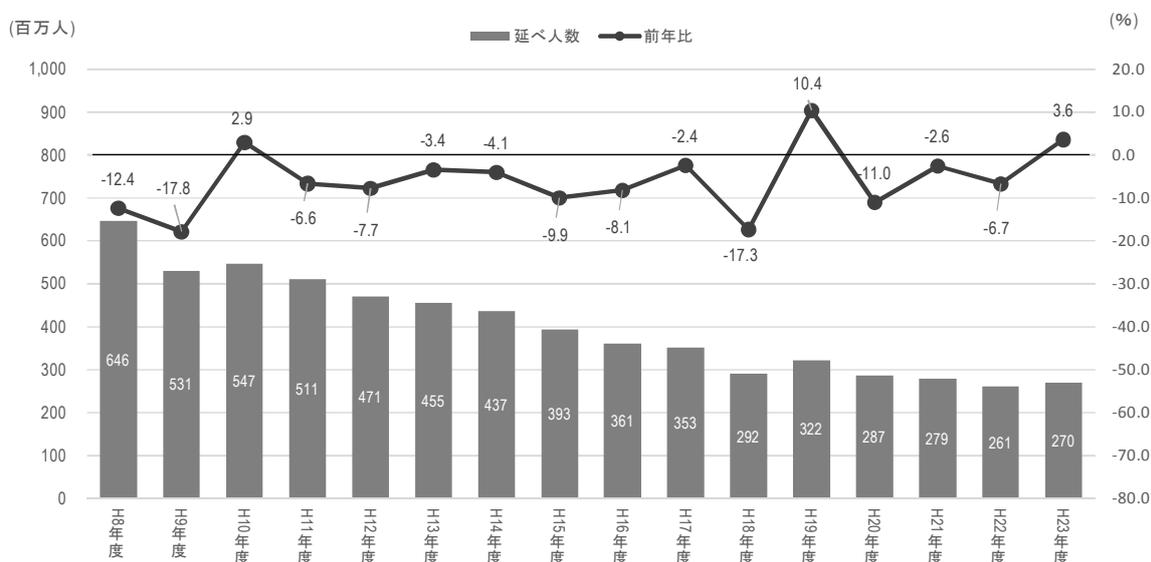


図5-58 スキーリフト利用者数の推移

出所：国土交通省「鉄道輸送統計年報」「鉄道要覧」

(注)12月～3月の特殊索道の延輸送人員

表5-92 スキーリフト利用者数の推移

	H8年度	H9年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度
延べ人数	646	531	547	511	471	455	437	393
前年比	-12.4	-17.8	2.9	-6.6	-7.7	-3.4	-4.1	-9.9
	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
延べ人数	361	353	292	322	287	279	261	270
前年比	-8.1	-2.4	-17.3	10.4	-11.0	-2.6	-6.7	3.6

出所：国土交通省

② スキー・スノーボー人口

スキー・スノーボー人口は、平成10年の1,800万人をピークにその後減少し、平成25年には、合計770万人まで減少。ピーク時の4割強まで減少したこととなる。

③ スキー実施率

スキー実施率は、平成6年の10.9%をピークに5割強まで減少。平成6年以降、6%前後を推移している。

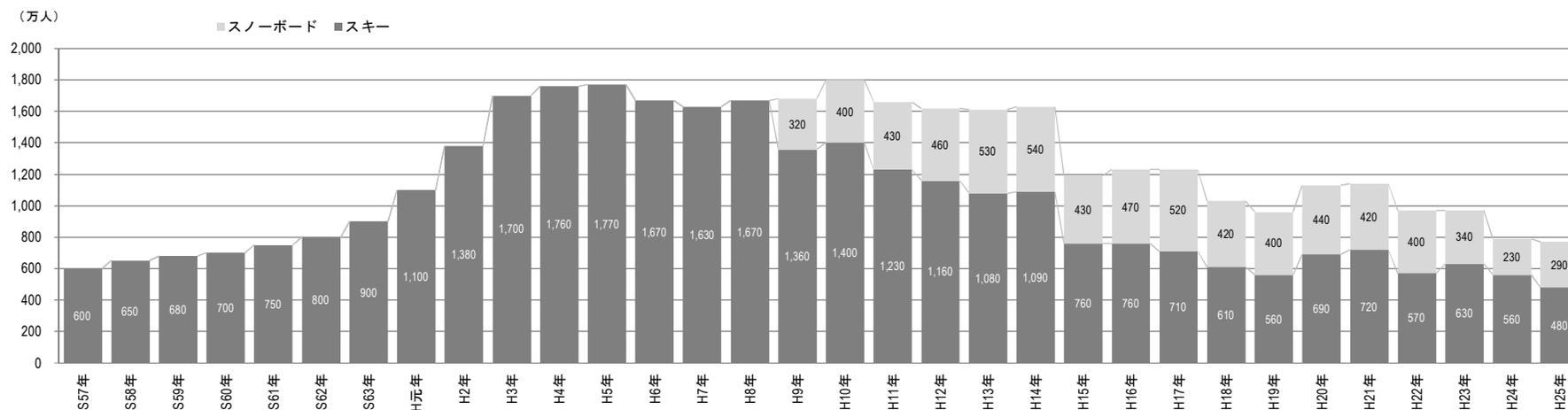


図5-59 スキー・スノーボー人口の推移

出典：公益財団法人日本生産性本部「レジャー白書 2014」

表5-93 スキー・スノーボー人口の推移

(万人)

	S57年	S58年	S59年	S60年	S61年	S62年	S63年	H元年	H2年	H3年	H4年	H5年	H6年	H7年	H8年	H9年	H10年	H11年	H12年	H13年	
スキー	600	650	680	700	750	800	900	1100	1380	1700	1760	1770	1670	1630	1670	1360	1400	1230	1160	1080	
スノーボード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	320	400	430	460	530
	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年									
スキー	1090	760	760	710	610	560	690	720	570	630	560	480									
スノーボード	540	430	470	520	420	400	440	420	400	340	230	290									

出典：公益財団法人日本生産性本部「レジャー白書 2014」

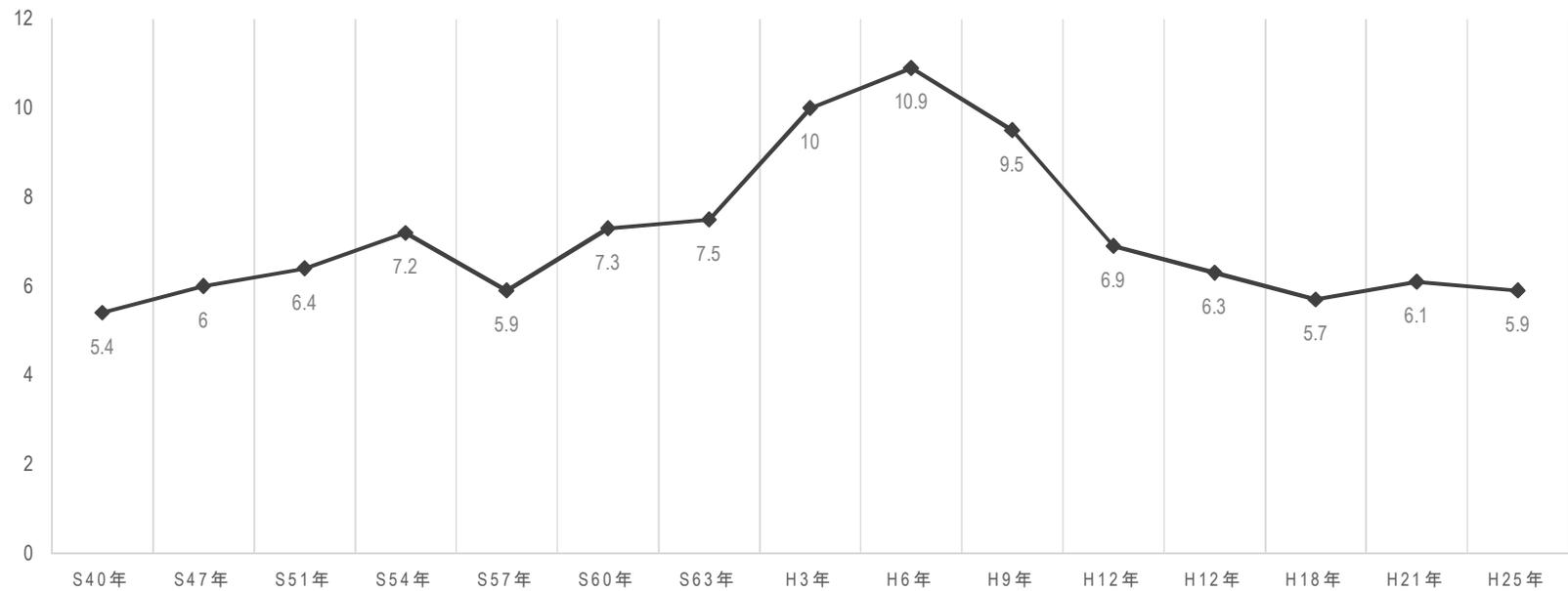


図5-60 スキー実施率

出典：文部科学省データ提供、「スポーツに関する世論調査」、「体力・スポーツ世論調査から作成」 ※観光庁 スノーリゾート地域の活性化に向けた検討会 「各種調査結果、事例等」平成27年6月

表5-94 スキー実施率

(%)

	S40年	S47年	S51年	S54年	S57年	S60年	S63年	H3年	H6年	H9年	H12年	H12年	H18年	H21年	H25年
スキー実施率	5.4	6	6.4	7.2	5.9	7.3	7.5	10	10.9	9.5	6.9	6.3	5.7	6.1	5.9

出典：文部科学省データ提供、「スポーツに関する世論調査」、「体力・スポーツ世論調査から作成」 ※観光庁 スノーリゾート地域の活性化に向けた検討会 「各種調査結果、事例等」平成27年6月

③登山

登山活動の参加率は、全体で見ると、平成19年、平成20年が5%台であったのに対し、平成21年に倍増し、12.0%となった。その後、平成23年に7.9%減少。それ以降は8%前後を推移している。

性別で見ると、男性のほうが参加率が高い。

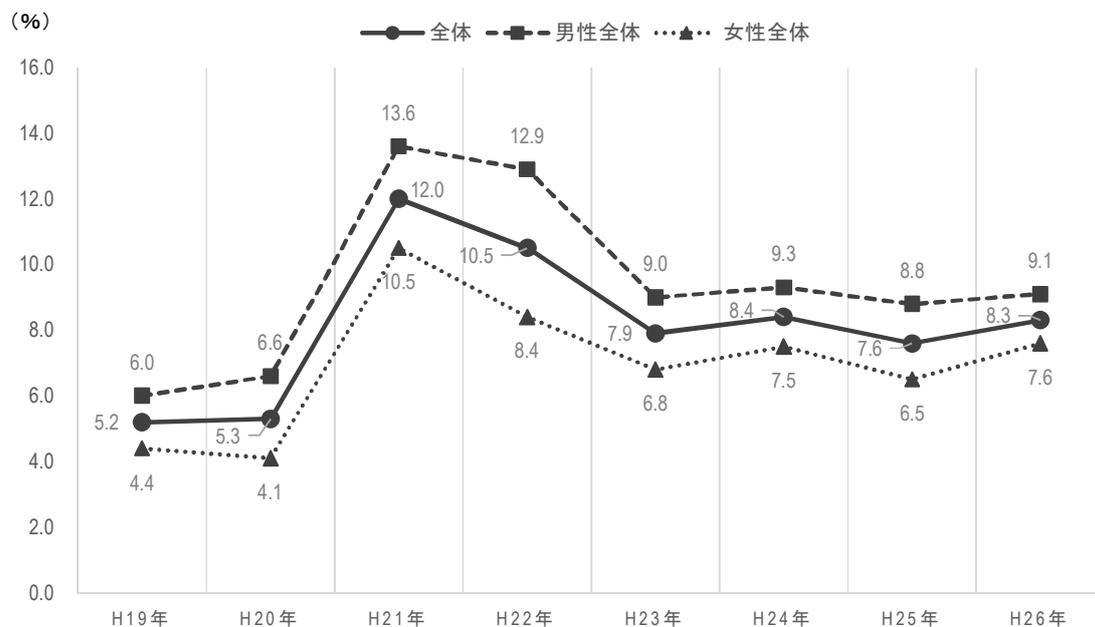


図5-61 登山活動の参加率の推移

出所：「レジャー白書 2008-2015」（公益財団法人 日本生産性本部）

表5-95 登山活動の参加率の推移

	全体	男性全体	女性全体
H19年	5.2	6.0	4.4
H20年	5.3	6.6	4.1
H21年	12.0	13.6	10.5
H22年	10.5	12.9	8.4
H23年	7.9	9.0	6.8
H24年	8.4	9.3	7.5
H25年	7.6	8.8	6.5
H26年	8.3	9.1	7.6

出所：「レジャー白書 2008-2015」（公益財団法人 日本生産性本部）

(2) 世界の観光旅行市場及び観光産業

ここでは、世界の観光旅行市場の動向及びその中での日本の位置を整理する。

1) 世界の観光旅行市場における日本の順位

世界における日本への外国人旅行者数は、平成24年は世界32位、平成25年は27位、平成26年は22位である。しかしながら、アジアの中では、他のアジア諸国より順位は低く7位という状況にある。

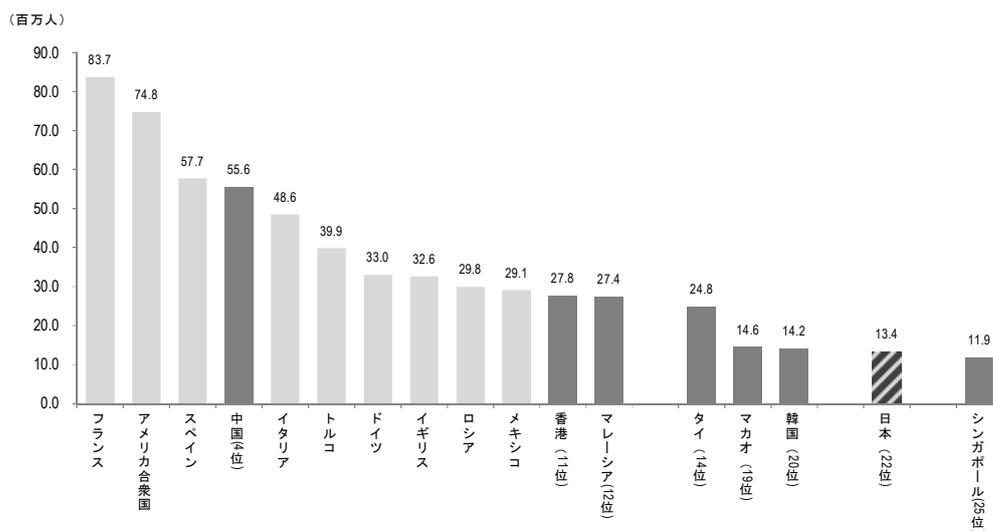


図5-62 世界各国における国際観光客到着数の順位 (2014)

出所:「UNWTO Tourism Highlights, 2015 Edition」より作成

2) 世界各国における GDP に占める観光産業の割合

観光産業の直接効果は約 2 兆円、間接効果と波及効果を合わせると約 6.3 兆円となる。直接効果は、世界の GDP の約 2.8%、間接効果と波及効果を合わせると約 9.1%を占める大きな産業と言える。

Contribution to global GDP by industry, 2011

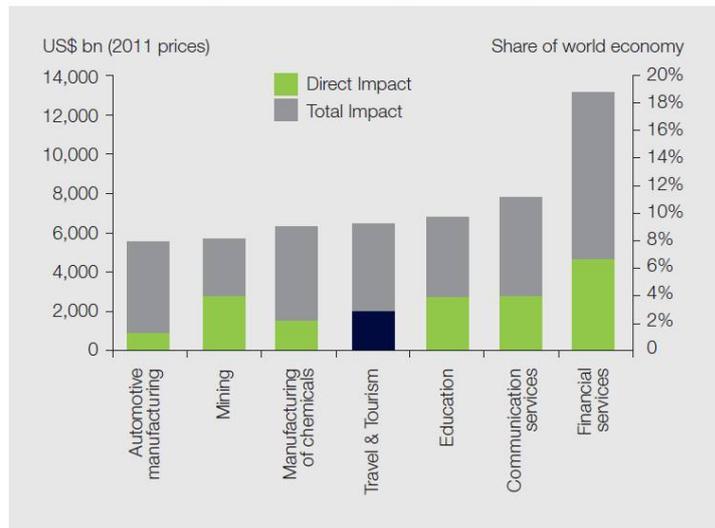


図 5-63 世界各国における GDP に占める観光産業の割合

出所：「Benchmarking Travel & Tourism's economic impact against other sectors」

3) 訪日外国人旅行者数

日本を訪れる外国人旅行者は、国によるインバウンド政策として「ビジットジャパンキャンペーン」が2003年に開始されて以降、2008年のリーマンショックや2009年の新型インフルエンザ、2011年の東日本大震災などの要因により変動はあるものの、ここ10年間の訪日外国人旅行者数の推移を見ると、着実に増加している。

その理由としては、数年来の円安基調が続いていること、東南アジア諸国を中心として査証の緩和・免除策が相次いでとられたこと、航空座席供給量が増加したこと、さらに尖閣諸島問題以降減少が続いていた中国人旅行者数が回復したことなどが考えられる。

経済が好調なアジア諸国を中心に今後も訪日外国人旅行者は伸びるものと思われ、また平成32年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まったこともあり、こうした外部環境の変化への対応も必要と考えられる。

観光庁の「宿泊旅行統計」によると、都道府県別の訪日外国人については、上位10都道府県の合計が全外国人延べ宿泊者数の80%を占める。外国人延べ宿泊者数の単純平均953,715人を上回る県は47都道府県のうち9都道府県しかなく、長野県は13位である。長野県の全外国人延べ宿泊者数に占める外国人の割合は、1.5%である。

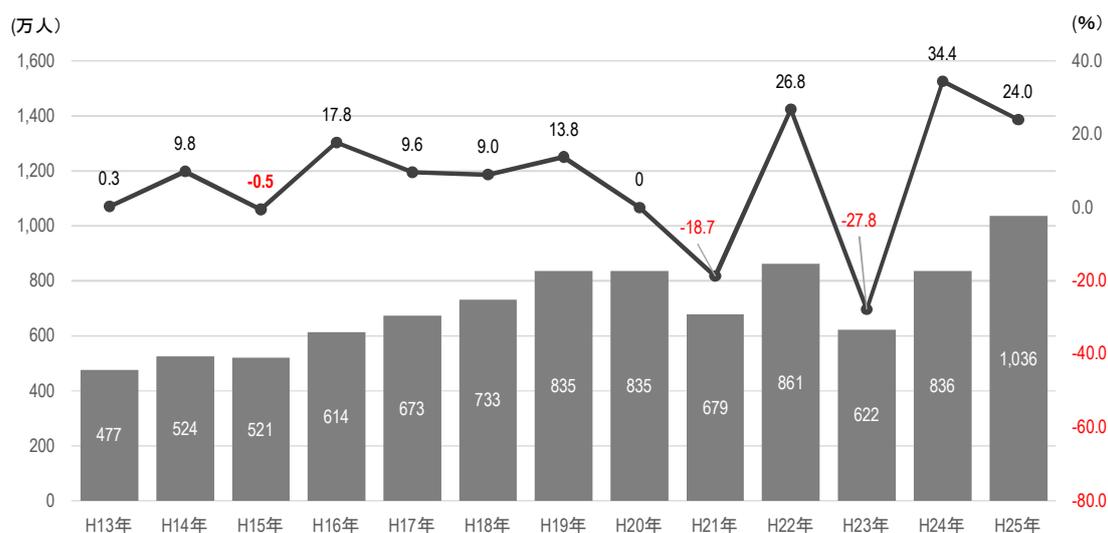


図5-64 訪日外国人旅行者数の推移

出所：日本政府観光局（JNTO）

表5-96 訪日外国人旅行者数の推移

年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	
訪日外国人旅行者数 (万人)	477	524	521	614	673	733	835	835	679	861	622	836	1,036	
前年比 (%)		0.3	9.8	-0.5	17.8	9.6	9.0	13.8	0	-18.7	26.8	-27.8	34.4	24.0

出所：日本政府観光局（JNTO）

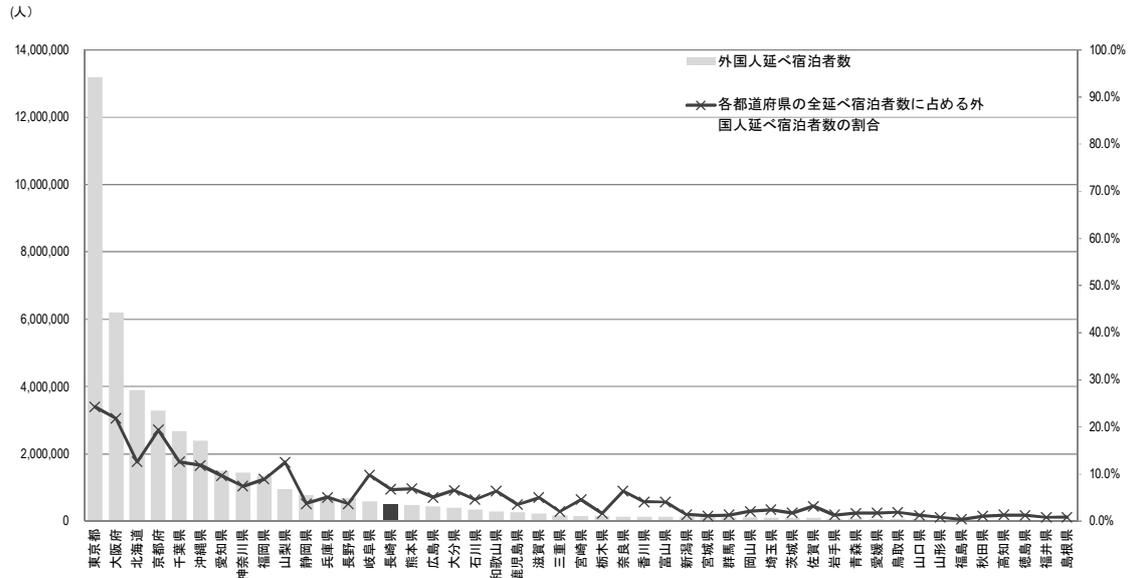


図 5-65 都道府県の外国人延べ宿泊者数と全延べ宿泊者数に占める外国人の割合

出所：「宿泊旅行統計」(観光庁)

コラム 観光旅行市場の今後

アジア・太平洋地域は、北米・中南米を抜いて2番目に国際旅行者数の多い地域に成長することが見込まれている。

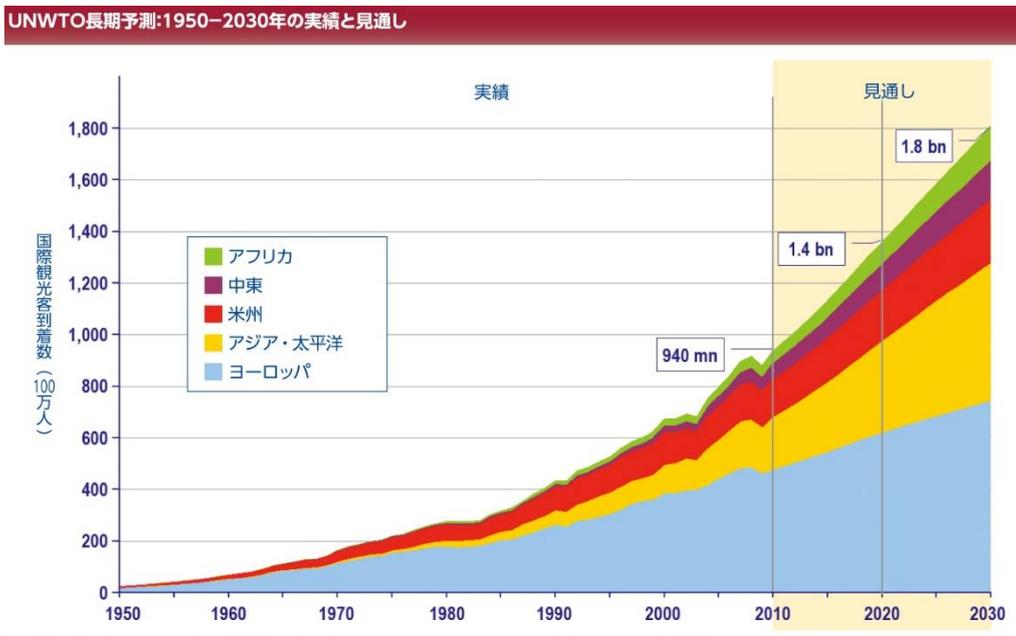


図 出発エリア別国際旅行者数の推移

出所：UNWTO Tourism Highlights, 2015 Edition

表5-97 都道府県の外国人延べ宿泊者数と全延べ宿泊者数に占める外国人の割合

施設所在地(47区分 及び運輸局等)	延べ 宿泊者数 1)、3)	外国人延べ宿泊者数	各都道府県の全延べ宿 泊者数に占める外国人 延べ宿泊者数の割合	全国の外国人延べ宿泊 者数の合計に占める各 都道府県の割合
平成26年 1～12月 計	473,501,950	44,824,600	9.5%	100.0%
東京都	54,258,780	13,195,260	24.3%	29.4%
大阪府	28,369,250	6,200,160	21.9%	13.8%
北海道	30,979,070	3,890,590	12.6%	8.7%
京都府	16,986,760	3,291,010	19.4%	7.3%
千葉県	21,201,240	2,667,200	12.6%	6.0%
沖縄県	20,142,060	2,388,550	11.9%	5.3%
愛知県	15,395,410	1,489,680	9.7%	3.3%
神奈川県	19,200,770	1,432,500	7.5%	3.2%
福岡県	15,232,160	1,357,300	8.9%	3.0%
山梨県	7,570,390	948,880	12.5%	2.1%
静岡県	21,022,570	786,310	3.7%	1.8%
兵庫県	13,759,210	697,910	5.1%	1.6%
長野県	17,897,190	660,480	3.7%	1.5%
岐阜県	6,098,660	597,690	9.8%	1.3%
長崎県	7,315,020	492,510	6.7%	1.1%
熊本県	6,869,150	475,400	6.9%	1.1%
広島県	8,572,130	435,020	5.1%	1.0%
大分県	6,101,170	400,400	6.6%	0.9%
石川県	7,543,170	348,290	4.6%	0.8%
和歌山県	4,456,370	284,790	6.4%	0.6%
鹿児島県	7,534,490	266,000	3.5%	0.6%
滋賀県	4,628,730	230,750	5.0%	0.5%
三重県	8,794,360	178,520	2.0%	0.4%
宮崎県	3,481,860	161,020	4.6%	0.4%
栃木県	9,582,340	159,400	1.7%	0.4%
奈良県	2,270,170	145,260	6.4%	0.3%
香川県	3,462,700	142,710	4.1%	0.3%
富山県	3,489,160	142,070	4.1%	0.3%
新潟県	9,607,330	135,520	1.4%	0.3%
宮城県	10,259,780	117,150	1.1%	0.3%
群馬県	8,593,380	112,280	1.3%	0.3%
岡山県	5,387,650	110,960	2.1%	0.2%
埼玉県	4,109,880	99,440	2.4%	0.2%
茨城県	5,462,770	94,070	1.7%	0.2%
佐賀県	2,837,990	90,940	3.2%	0.2%
岩手県	5,888,980	77,130	1.3%	0.2%
青森県	4,511,260	74,010	1.6%	0.2%
愛媛県	3,592,350	64,120	1.8%	0.1%
鳥取県	3,043,000	58,830	1.9%	0.1%
山口県	4,489,320	56,670	1.3%	0.1%
山形県	5,898,540	48,220	0.8%	0.1%
福島県	11,060,830	44,040	0.4%	0.1%
秋田県	3,761,400	41,510	1.1%	0.1%
高知県	2,904,380	38,590	1.3%	0.1%
徳島県	2,869,160	35,940	1.3%	0.1%
福井県	3,790,460	31,530	0.8%	0.1%
島根県	3,219,190	28,000	0.9%	0.1%

出所：「宿泊旅行統計」(観光庁)

4) 訪日外国人観光客主要国の日本のシェア

主要国・地域の全出国者に占める東アジア（日本、韓国、中国、台湾）と日本それぞれへの旅行者の割合をみると（図5-66）、東アジアへの旅行者が香港を除く各国・地域で前々年比微増となっている中、日本のシェアは台湾以外の各国・地域でいずれも縮小している。特に出国者数が対前々年44.9%増となり12年に世界最大のアウトバウンド市場となった中国では、東アジア全体のシェアが2.1%増となる中、日本は0.7%減となり、競合各国・地域との差が広がる結果となった。訪日旅行者数が過去最高を記録した台湾についても、全出国者数や東アジア全体への旅行者数の伸びに比べ日本の伸びは小幅なものに留まっており、総じて各国・地域のアウトバウンド市場における日本の存在感が弱まりつつあることがうかがえる。

各国・地域の東アジアへの旅行者の内訳を見ると（図5-67）、東アジアにおける中国の着地としての存在感が一層際立っている。中国は対10年で香港とロシアを除く全ての国・地域でシェアを拡大させており、オーストラリアについては一人勝ちの様相を呈している。円高の緩和やLCCの就航等、好材料が揃う中で、中国や香港などここ数年で着実にシェアを高めた競合各国・地域からの遅れをいかに取り戻せるかが、日本のインバウンド振興の現実的な課題と言える。

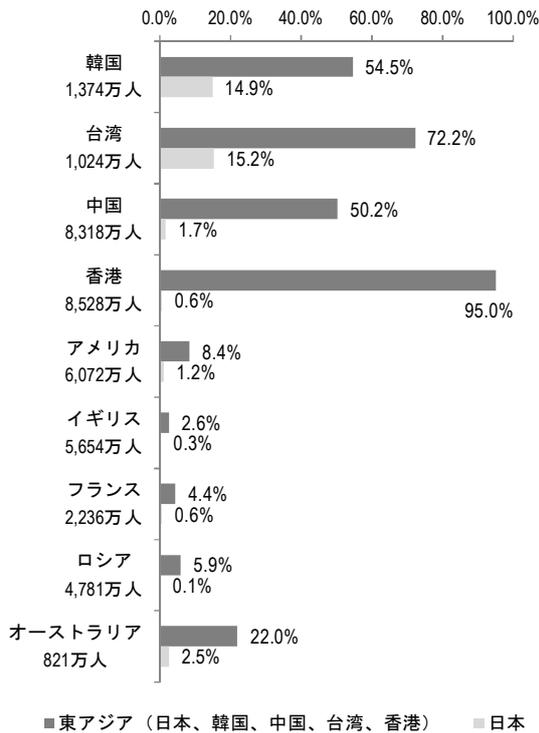


図5-66 主要国・地域の全出国者数に占める日本への旅行者の割合（2012年）

出所：「旅行年報2013」（（公財）日本交通公社、p.22）

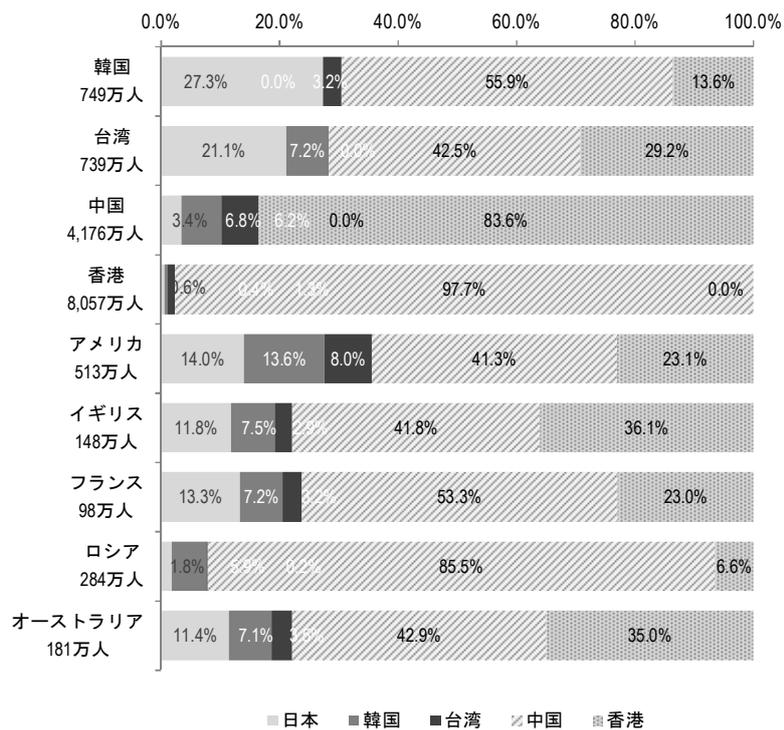


図 5-67 主要国・地域の東アジアへの旅行者の内訳（2012年）

出所：「旅行年報2013」（公財）日本交通公社、p.22

白馬村観光地経営計画策定委員会名簿

(敬称略)

区 分	氏 名	役職等
公募により選考された者	尾川 耕	
識見を有する者	下村 彰男	東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授
	十代田 朗	東京工業大学大学院 情報理工学研究科 准教授
	佐藤 博康	松本大学 名誉教授
	大野 正人	高崎経済大学 地域政策学部 教授
一般社団法人白馬村観光局	高梨 光	副代表理事 (白馬観光開発株式会社 代表取締役社長)
	北村 興二	局長 (事務局長)
観光に関する村内の団体	杉山 茂実	白馬商工会 会長
	中村 忠美	白馬さのさか観光協会 協会長
	矢口 健治	白馬五竜観光協会 協会長
	丸山 星郎	八方尾根観光協会 協会長
	松島 芳明	白馬岩岳観光協会 協会長
	太田 具英 (平成27年8月31日まで)	白馬村索道事業者協議会 会長 (株式会社大糸 代表取締役社長)
	駒谷 嘉宏 (平成27年9月1日から)	白馬村索道事業者協議会 会長 (株式会社五竜 代表取締役社長)
	松本 正信	白馬山案内人組合 組合長
関係行政機関、団体等	松沢 正猛	白馬村農業委員会 会長
	太谷 陽一	白馬村スキークラブ 会長
その他村長が必要と認める者	ケビン・モラード	Hakuba International Business Association 代表 (白馬パノラマホテル)
	岸 清美	オーブス株式会社 代表取締役
	塩島 和子	白馬リゾートホテル ラ・ネージュ東館 支配人
	宮坂 学	
	松沢 貞一	株式会社白馬館 代表取締役社長

白馬村観光地経営計画ワーキンググループ名簿

(敬称略)

氏名	所属
橋本 旅人	(株) さくら不動産 公募委員
藤田 直子	バターミルク 公募委員
渡辺 俊夫	あぜくら山荘 公募委員
丸山 俊郎	しろうま荘 公募委員
松沢 斉	(株) 白馬硝子店 公募委員
アダムソン スチュアート	(株) adamson communications
伊藤 英喜	(株) 五竜
野々山 美樹	ペンションクック
遠藤 孝	(有) 白馬交通
下川 浩紀	太田旅館
下川 洋司	白馬村索道事業者協議会 ((株) 大糸)
エンライト デビッド	エヴァーグリーンアウトドアセンター
稲永 健	(株) ポップ
ウィリアムス 三季世	白馬東急ホテル
石野 真	ペンションと〜がらし
丸山 智彦	山の郷ホテル白馬ひふみ
中村 ゆかり	ホテル五龍館
丸山 徹也	ホテル対岳館
丸山 和之	木彫家
松澤 幸靖	白馬山案内人組合
平瀬 久美子	白馬サンサン会
高木 律子	白馬山案内人組合
福島 洋次郎	白馬東急ホテル
山岸 千尋	八方インフォメーションセンター (白馬観光開発 (株))
北澤 節子	白馬モンビエ
宮田 康子	民宿はぼうえ
津滝 明子	(有) ティーエム
下川 充久	八方尾根開発 (株)
吉岡 豊彦	(株) 白馬館
吉沢 紘一	(一社) 白馬村観光局
武藤 慶太	白馬商工会
和田 寛	白馬観光開発 (株)
山岸 大祐	白馬村役場 税務課
渡邊 宏太	白馬村役場 総務課

白馬村観光地経営計画

平成28年3月

白馬村

<お問い合わせ先>

白馬村観光課

電話：0261-85-0722

メールアドレス：kanko@vill.hakuba.lg.jp